

### 3 主要農作物病害虫の発生状況と原因解析（令和2（2020）年確定）

#### 1) 普通作物

##### (1) 水稲

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
葉いもち	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：やや多	下位葉、上位葉の発生はともに平年より多かった。 箱施用剤による予防をしていないところや葉色の濃い水田で発生が多く見られた。	今年度の梅雨明けが8月1日と遅く、雨が多かったため、初期発生は平年より多かった。梅雨明け後は天候が回復し、病斑が止まっていたが、上位葉にまで発生が及んだ。
穂いもち	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：やや多	全般に発生は多かった。 感染源となる葉いもちの発生が多く、穂いもちの発生も平年より多かった。	8月以降は高温多照で経過したが、葉いもちの上位葉の発生は多く、その後の穂いもちの発生も多く見られた。
紋枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	高温多雨の影響で、7月～8月上旬の発生は多く、8月下旬は平年並であったが、発生が多い地点が多く見られた。	毎年発生し、菌密度が高まっていると思われる。かつ、高温多雨により本年も発生が見られたほ場が多かった。
ばか苗病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	定点調査のごく一部で発生が見られた。	概ね適切な種子消毒や育苗管理が行われた。
もみ枯細菌病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	定点調査での発生は見られなかった。	適切な防除が実施された。
縞葉枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：やや少	県全域で発生が見られたが、やや少なかった。	ヒメトビウンカの越冬世代成虫密度は平年よりも少なかった。7月の降雨により発生時期は遅くなり、8月上旬の成幼虫も昨年と比べ少なく推移した。
稲こうじ病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	全般に発生はやや多かった。	梅雨明けが遅かったこと等の気象条件が大きな要因であると推測した。発生程度が高いところは、ほ場の菌密度が高まっていると考えられた。
ニカメイガ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	フェロモントラップによるニカメイガの誘殺数は、地点によりばらつきはあったが、平年並みの地点が多かった。7月中旬の心枯茎の発生は少なく、8月下旬の白穂の発生はやや少なかった。	適切な防除が行われたため、心枯茎や白穂の発生が抑制された。
セジロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	予察灯における誘殺は7月から見られ、総誘殺数は平年に比べやや多かった。水田すくいとり調査では、8月に平年よりもやや多く発生が見られた。	本県への飛来は少なかった。
トビロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	予察灯における誘殺は見られなかった。	本県への飛来は少なかった。
ヒメトビウンカ	平年：並 前年：やや早	平年：やや少 前年：やや少	予察灯における総誘殺数は、平年よりやや多かった。黄色粘着板の誘殺数は、8月は平年並、9月は平年よりも多かった。水田すくい取り調査の発生量は、7月上旬・8月上旬ともにやや少なかった。	越冬世代の密度はやや少なかった。7月の気温が平年よりも低く推移したことや連続降雨により発生量は少なく推移した。8月は平年よりも気温が上がり、発生量は平年並～やや多くなった。
ツマグロヨコバイ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや少	5月から9月までの予察灯における総誘殺数は平年並であった。本田すくい取り調査の発生量は、7月上旬・8月上旬ともにやや少なかった。	箱施用剤施用や本田防除による適切な防除対策により発生が抑えられた。
斑点米カメムシ類（ホソヘリカメムシ、クモヘリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ）	平年：並 前年：やや早	平年：並 前年：やや少	水田すくい取り調査では7月上旬・8月上旬ともにクモヘリカメムシが平年よりも多く見られた。主要4種の合計は7月は平年よりも多く、8月は平年並であった。 フェロモントラップによるクモヘリカメムシの誘殺数は場所によりばらつきがあるが、やや多かった。	1月から3月にかけての冬期の気温は平年よりも高く推移し、大型カメムシの越冬に有利であった。
コブノメイガ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	予察灯及び水田すくい取り調査で本虫の誘殺は見られなかったが、ほ場調査で食害痕が見られた地点もあった。	本県への飛来は少なかった。
イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	令和元年2月の越冬密度調査では、成虫密度は平年に比べやや多かった。5月下旬のほ場調査では、平年に比べやや多い発生であった。	越冬世代成虫の越冬密度はやや多く、本田でもやや多く発生した。
イネツトムシ（イチモンジセセリ）	平年：－ 前年：－	平年：平年並 前年：やや多	水田すくいとり調査では、7月は少なく、8月は平年並であった。ほ場調査では、7月中旬の発生量はやや多く、8月上旬の発生量はやや少なかった。	適切な防除が行われたため、本県での発生は少なかった。
イナゴ類	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	水田すくいとり調査では、7月・8月ともにやや多かった。	
フタオビコヤガ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	予察灯における誘殺は見られなかった。7月の本田におけるすくいとり調査では、平年並の発生であった。	

## (2) 麦

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	定点調査での発生は見られなかった。	適切な防除により発生が抑えられた。
赤かび病	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	5月上旬、中旬調査では発生はほとんど見られなかったが、5月下旬調査では平年に比べ多い発生となった。	風雨等で感染が拡大するため、5月中旬からの曇雨天や気温が高かったことにより感染し、発病したと考えられる。

## (3) 大豆

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
アブラムシ類	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	ほ場における発生は、8月・9月ともにやや少なかった。	
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は、地点によりばらつきはあるが、平年並み～やや多い。ほ場における発生はやや少なかった。	適切な防除により、農作物被害はやや少なかった。
吸実性カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップによるホソヘリカメムシの誘殺数は、地点によりばらつきはあるが平年並～多い。ほ場における発生は、平年並みであった。	ほ場では主にホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシが観察された。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	定点調査での発生は見られなかった。	

2) 野菜

(1) いちご (親株・育苗床: 令和元(2019)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年: 並 前年: 並	平年: やや多 前年: 多	育苗期後半の8月に発生が増加し、やや多い発生であった。	育苗期前半に降水量が多く、8月に気温が高く経過したことが本病の発生に適していた。
萎黄病	平年: 並 前年: 並	平年: 少 前年: 並	全般に少ない発生であった。	無病苗を利用することにより、育苗期での発生は抑えられていた。
灰色かび病	平年: - 前年: -	平年: 並 前年: 多	6月に平年並の発生であった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
うどんこ病	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: 多	育苗期前半に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年: 並 前年: 並	平年: やや多 前年: やや多	7月にやや多い発生であった。	一部のほ場で発生が多く、防除が不十分であった。
ハダニ類	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: 並	全般に少ない~平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: 並	親株、育苗期間を通してやや少~平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

いちご (本ぼ: 令和元(2019)年10月~令和2(2020)年5月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年: 並 前年: 並	平年: やや多 前年: やや少	定植直後の発生は少なかったが、保温開始後に発生が増加しやや多い発生であった。	8、9月が高温であったことから、感染・発病が増加したと考えられる。
萎黄病	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: 少	定植後及び3月に発生した。	9月の高温と3月の気温上昇により感染・発病したと考えられる。
灰色かび病	平年: 並 前年: 並	平年: 少 前年: 少	全般に少ない発生であった。	冬期に降水量が少なく、気温が高く推移したため発生が抑えられた。
うどんこ病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 少	全般に少ない発生であった。	冬期に降水量が少なく、気温が高く推移したため発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: 並	全般に平年並の発生であった。	アブラムシ類は防除の優先順位が低く、後手に回りやすい傾向にある。また、ハダニ類の天敵の普及により薬剤散布の機会が減ったことにより、近年、増加傾向にある。
ハダニ類	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: 並	全般にやや少ない~平年並の発生であった。	薬剤感受性の低下が著しく、薬剤防除だけでは発生が抑制できない。一方、天敵を導入している施設では、年明け以降には発生が落ち着く傾向にあった。
コナジラミ類	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: 並	全般にやや少ない~平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年: 遅 前年: 遅	平年: やや多 前年: やや多	秋期の発生は少なかったが、冬~春先にかけて平年並の発生であった。2月にやや多い発生であった。	イチゴの開花期が平年より遅く、秋期の発生が少なかった。適切な防除により発生が抑えられた。
シロイチモジヨトウ	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(2) 夏秋トマト (令和2(2020)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
疫病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
灰色かび病	平年: - 前年: -	平年: 並 前年: 多	全般に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
葉かび病	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: やや少	全般にやや少ない発生であった。	平年に比べて7月に気温が低く、降水量が多かったため発生が見られたものの、8月に気温が高く降水量が少なかったため発生が抑えられた。
モザイク病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 並	全般に少ない発生であった。	発病が疑われる苗の早期除去や媒介虫の防除により、ほ場内での発生が抑えられた。
黄化葉巻病	平年: - 前年: -	平年: やや多 前年: やや少	全般に比べやや多い発生であった。	育苗期からコナジラミ類の適切な防除が行われた。冬春トマトの作終了時に本病の発生が平年よりやや多かったことから、夏秋トマトでの発生が増加した。
すすかび病	平年: 並 前年: 並	平年: やや多 前年: 多	全般にやや多い発生であった。	7月に降水量が多く多湿だったため、発生が増加した。
アブラムシ類	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: -	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年: 並 前年: 並	平年: 平年並 前年: 平年並	7~8月に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハモグリバエ類	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: -	全般に少ない発生であった。	実質的な被害はほとんど生じていない。

## (3) 冬春トマト (令和元(2019)年10月～令和2(2020)年5月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
疫病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により、発生が抑えられた。
灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	8月定植の長期どり作型では、11月から発生が見られ、やや少ない～平年並の発生であった。	11月以降、平年より降水量が少なく気温が高かったため、発生が抑えられた。
葉かび病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：多	12月から発生が見られており、1月には発生が増加し、平年より多く経過した。	12月～1月は気温が低い時期があり、施設内の湿度の上昇により発生が増加した。
モザイク病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	アブラムシ類(媒介虫)の発生が少なかつたため、発生が抑えられた。
黄化葉巻病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	生育初期の気温が高く、媒介虫の活動に適していたためやや多い発生となった。	主に、育苗期の感染や感染苗の持ち込み、生育初期の外部からの媒介虫の侵入による発生が考えられた。
すすかび病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	10～11月に気温が高く、多い発生であったが、12月以降は発生が減少した。	下葉かきの徹底や、ハウス内の通風などによって発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	全般にはやや少ない発生であったが、10～12月に平年並の発生であった。	発生ほ場では、施設周辺からの飛び込みがあったと考えられる。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般には少ない発生であったが、9～10月に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (4) 夏秋なす (令和元(2019)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	7月～8月に発生が増加し、やや多い発生であった。	7月に降水量が多く多湿だったため、発生が増加した。
灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：-	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
半身萎凋病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	一般的に少ない発生であった。	輪作、耐病性台木の普及により発生が少なかった。
青枯病	平年：やや遅い 前年：-	平年：多 前年：多	9月に一部のほ場で発生が見られ、多い発生であった。	7月に降水量が多かったことと、8月の高温が本病の発生に適していたため、一部のほ場で発生が多く見られた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	全般に平年並の発生であったが、9月にやや多い発生であった。	一部のほ場で発生が多く見られた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に少ない～平年並みの発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般にやや少ない～平年並みの発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シロイチモジヨトウ	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	全般にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (5) 夏秋きゅうり (令和2(2020)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	一般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
べと病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：並	7月に発生が増加し、多い発生であった。	7月に降水量が多く、発生が増加した。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	全般に平年並の発生であった。	7月に日照時間が少なく経過したため、発生が増加した。
褐斑病	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	7月に発生が見られたが、全般にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
疫病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：並	ほとんど発生は見られなかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
黄化えそ病	平年：並 前年：遅い	平年：多 前年：多	9月に発生が増加し、多い発生であった。	アザミウマ類の侵入により発生した。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	一般的にやや少ない発生であったが、8月に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	9、10月にやや多い発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：多 前年：並	一般的に少ない発生であったが、10月に多い発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (6) 冬春きゅうり (令和2(2020)年10月～令和3(2021)年5月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	1月までは少ない発生であったが、2月に発生が増加し、多い発生となった。	2月に降雨があり、気温が平年より高かったことから発生が増加した。
べと病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	生育前半に平年並の発生であったが12～1月に発生が減少し、1～3月に発生が増加した。	晴れの日が多く、湿度が低い時期は発生が抑えられていたが、温度の上昇と降水により発生が増加した。
うどんこ病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	生育前半に平年並の発生であったが12～1月に発生が減少し、1～3月に発生が増加した。	気温が低い時期は発生が抑えられていたが、温度の上昇とともに発生が増加した。
褐斑病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	冬期は発生が少なかったが、2～3月に発生が増加した。	2月以降の気温の上昇と降水により発生が増加した。
疫病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	ほとんど発生は見られなかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
黄化えそ病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	10、1、3月に平年並からやや多い発生であった。	主に、育苗期の感染や感染苗の持ち込み、外部からのアザミウマ類の侵入による感染により発生した。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	一部のほ場で発生が目立っていた。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	一部のほ場で発生が目立っていた。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	全般に平年並～多い発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	一部のほ場で発生が目立っていた。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (7) なら

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
乾腐病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：少	11、2月に発生した。	窒素過多の圃場や連作圃場で発生が見られた。
白斑葉枯病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：少	11、12月に発生した。	気温が低い時期に施設内の湿度が高くなったため発生した。
さび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや多	10月に平年並の発生であった。	株養成期の防除が適切に行われた。
ネダニ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	全般に少ない～やや少ない発生であった。	同一ほ場で長年にわたり作付されており、発生しやすい環境となっている。

## (8) 秋冬ねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	7～9月に発生が多く、その後減少した。	6～7月に降水量が多く7月に気温が低かったため発生が増加した。
べと病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	8月以降降水量が少なく、気温が高く推移したこととから発生が抑えられた。
黒斑病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	全般に平年並の発生であった。	8月以降降水量が少なく推移したこととから発生が抑えられた。
萎縮病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	アブラムシ類(媒介虫)の発生が少なかったため、発生が抑制された。
アブラムシ類	平年：並 前年：－	平年：少 前年：－	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に平年並の発生であった。	発生程度に応じた薬剤散布が行われた。
ハモグリバエ類	平年：並 前年：並	平年：多 前年：並	全般にやや多い～多いの発生であった。	ネギハモグリバエ別系統によるものと思われる被害が一部のほ場で確認された。
ネギコガ	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であったが、9月に多い発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (9) たまねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	5月の気温が高く推移したため、発生が少なかった。
べと病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや少	4～5月に発生が多かった。	3月に気温が高く、5月に降水量が多かったことから発生が増加した。
白色疫病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	5月の気温が高かったため、発生が少なかった。
黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	5月に発生が増加し、やや多い発生であった。	4月に降水量が多かったことから発生が増加した。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	4月に少ない発生、5月に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (10) 冬キャベツ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒腐病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
菌核病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (11) あぶらな科野菜

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナガ	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であったが、一部のほ場で発生が見られた。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (12) 冬レタス

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	9月から10月に降雨が多い時期があり、発生が増加した。
菌核病	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
軟腐病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	9月に一部のほ場で発生が見られた。	8～9月の気温が高く、発生に適していた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ヨトウガ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (13) 野菜共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	地点により誘殺数にばらつきはあったが、6、7、9月にやや多い発生であった。	発生程度に応じた薬剤散布が行われたが、一部の園芸作物で被害が確認された。
オオタバコガ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全般にやや少ない発生であった。	発生程度に応じた薬剤散布が行われ、農作物被害はやや少なかった。

3) 果樹  
(1) なし

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒斑病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：多	7月に発生が認められたが単発であり、全体的にはほとんど発生していない。	県内の主力品種は、耐病性のある幸水、豊水が作付けされている。
黒星病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	6月にやや多くのほ場で発生が認められ、8月にやや多い発生となった。	6月後半に多雨、梅雨明けの遅れで7月前半に多雨・少照であったため、果実を中心に8月の発生が増加した。
赤星病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	6月から発生が認められ、8月までに発生が増加した。	6月後半に多雨、梅雨明けの遅れで7月前半に多雨・少照であったため、発生の増加がみられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	6、8月に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般に少ない～やや少ない発生であったが、7月に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シンクイムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	フェロモントラップにおける発生時期は平年並み、発生量はやや多かった。ほ場においては被害は少なかった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(2) ぶどう

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
晚腐病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：少	8月に発生が多くみられた。	6月後半に多雨、梅雨明けの遅れで7月前半に多雨・少照であったため、8月に発生がみられた。
べと病	平年：並 前年：遅	平年：やや多 前年：少	7～8月に発生がやや多くみられた。	6月後半に多雨、梅雨明けの遅れで7月前半に多雨・少照であったため、8月に一部のほ場で発生がみられた。
灰色かび病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒とう病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(3) りんご

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
斑点落葉病	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：多	7月に発生が認められ、9月にかけて増加した。	昨年多発したため感染源が多く、梅雨明けが遅れたため増加した。
黒星病	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
赤星病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	産地周囲には、ビヤクシン類が少なく、飛散孢子量が少なかった。
輪紋病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
褐斑病	平年：やや早 前年：やや遅	平年：多 前年：多	7月に発生が認められたが、8～9月の増加が少なかった。	昨年多発したため感染源が多く、梅雨明けが遅れたため発生は早かったが、梅雨明け後の少雨とローテーション散布等の適切な防除により増加は少なかった。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：やや多	7、8月にやや多い発生であった。	梅雨の時期に薬剤散布が難しく、梅雨明け後は少雨と高温により、ハダニ類の発生が増えた。その後は適切な防除により、発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シンクイムシ類	平年：並 前年：－	平年：やや多 前年：やや多	全般的に少ない発生であったが、6月にやや多い発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(4) 果樹共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
カメムシ類	平年：早い 前年：並	平年：多 前年：多	フェロモントラップによる誘殺数は、5月～8月まで多い発生が続いた。ももやりんごの一部のほ場で被害があった。	昨年のスギ・ヒノキの球果量が多かったため、越冬世代が5～6月に多く発生した。今年の球果量が少なかったことから、7月以降も果樹園への飛来が多かった。

4) 花き  
(1) きく

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
白さび病	平年：並 前年：並	平年：多 前年：並	4月から8月まで発生が多く、9月はやや多かった。	品種によって発生が異なる傾向があり、需要に応え本病に強い品種が選択できなかった。梅雨明けの遅れで7月に多雨・少照であったため、発生の増加が抑えられなかった。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：多 前年：並	一部のほ場で発生が目立っていた。	発見の遅れにより、適切に防除ができなかった。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	一部のほ場で発生が目立っていた。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	全般に平年並の発生であったが、2月はやや多い発生となった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：多 前年：多	10月に多い発生であった。	ハスモンヨトウの飛来量が多かったことが発生要因と考えられる。
シロイチモジヨトウ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：並	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。



#### 4 主要農作物病害虫の発生状況と原因解析（令和3（2021）年速報）

##### 1) 普通作物

##### (1) 水稲

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
葉いもち	平年：－ 前年：－	平年：多 前年：並	下位葉、上位葉の発生はともに昨年と同様多かった。 箱施用剤による予防をしていないところや葉色の濃い水田で発生が多く見られた。	今年度は梅雨明けは平年並であったが、初期発生は昨年と同様多かった。梅雨明け後は天候が回復し、病斑が止まったが、上位葉にまで発生が及んだ。
穂いもち	平年：－ 前年：－	平年：やや多 前年：多	県内全域で発生が見られた。 感染源となる葉いもちの発生が昨年に引き続き多く、穂いもちの発生も平年より多かった。	梅雨明け後は、高温多湿で経過したが、8月中旬の停滞前線の影響により、穂ぞろい期後の断続的な降雨で、葉いもちが見られなかったほ場でも穂いもちの発生が見られた。
紋枯病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	7月～8月上旬の発生は平年並で推移したが、8月下旬の発生は多く、一部では上位まで病斑が進展しているものもあった。	菌密度が高まっているほ場は毎年発生が確認される。かつ、8月中旬の降雨により、高温多湿条件となり、本年も発生が見られたほ場が多かった。
ばか苗病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	定点調査での発生は見られなかった。	適切な種子消毒や育苗管理が行われた。
もみ枯細菌病	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	定点調査での発生は見られなかった。	適切な防除が実施された。
縞葉枯病	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：並	主に県中南部で発生が見られたが、やや少なかった。	ヒメトビウンカの越冬世代成虫密度は平年よりも少なかった。7月の気温低下や連続降雨、8月降雨により昨年に比べ少なく推移した。
稲こうじ病	平年：－ 前年：－	平年：並 前年：並	全般に発生は平年並であった。	8月以降、高温多湿で経過したため、昨年に比べ平年並となった。発生程度が高いところは、ほ場の菌密度が高まっていると考えられた。
ニカメイガ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：やや多	フェロモントラップによるニカメイガの誘殺数は、地点によりばらつきはあったが、平年並みの地点が多かった。7月中旬の心枯茎の発生はやや少なく、8月下旬の白穂の発生もやや少なかった。	適切な防除が行われたため、心枯茎や白穂の発生が抑制された。
セジロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：やや少 前年：少	予察灯における誘殺は8月から見られ、総誘殺数は平年に比べ少なかった。水田すくいとり調査では、7月は平年よりも多かったが、8月では少なかった。	本県への飛来は少なかった。
トビロウンカ	平年：－ 前年：－	平年：－ 前年：－	予察灯における誘殺は見られなかった。	本県への飛来は少なかった。
ヒメトビウンカ	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：並	予察灯における総誘殺数は、平年よりやや少なかった。黄色粘着板の誘殺数は、8月、9月ともに平年よりも少なかった。水田すくい取り調査の発生量は、7月上旬・8月上旬ともにやや少なかった。	越冬世代の密度は少なかった。7月の気温が平年よりも低く推移したことや連続降雨により発生量は少なく推移した。8月は気温は平年並であったが、降水量が多く、発生量はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	平年：－ 前年：－	平年：平年並 前年：やや多	5月から9月までの予察灯における総誘殺数は平年並であった。本田すくい取り調査の発生量は、7月上旬は平年並・8月上旬はやや少なかった。	箱施用剤施用や本田防除による適切な防除対策により発生が抑えられた。
斑点米カメムシ類（ホソヘリカメムシ、クモヘリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ）	平年：やや遅 前年：やや遅	平年：並 前年：並	水田すくい取り調査では8月上旬にクモヘリカメムシが平年よりもやや多く見られた。主要4種の合計は7月、8月ともに平年並であった。 フェロモントラップによるクモヘリカメムシの誘殺数は場所によりばらつきがあるが、やや少なかった。	1月から3月にかけての冬期の気温は平年よりも高く推移し、大型カメムシの越冬に有利であった。
コブノメイガ	平年：－ 前年：－	平年：少 前年：少	予察灯及び水田すくい取り調査で本虫の誘殺は見られなかった	本県への飛来は少なかった。

イネミズゾウムシ	平年：並 前年：並	平年：平年並 前年：平年並	令和2年2月の越冬密度調査では、成虫密度は平年に比べやや多かった。5月下旬のほ場調査では、平年並の発生であった。	越冬世代成虫の越冬密度はやや多かったが、本田でも平年並の発生となった。
イネツトムシ (イチモンジセセリ)	平年：- 前年：-	平年：少 前年：やや少	水田すくいとり調査では、7月は少なく、8月はやや少なかった。ほ場調査では、7月中旬、8月上旬の発生量はともに少なかった。	適切な防除が行われたため、本県での発生は少なかった。
イナゴ類	平年：- 前年：-	平年：やや多 前年：並	水田すくいとり調査では、7月はやや多く、8月は平年並であった。	

(2) 麦

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	定点調査での発生は見られなかった。	適切な防除により発生が抑えられた。
赤かび病	平年：- 前年：-	平年：多 前年：多	5月上旬、中旬調査では発生はほとんど見られなかったが、5月下旬調査では平年に比べ多い発生となった。	風雨等で感染が拡大するため、平年より7～10日程度生育が早かったこと、4月上旬の低温の影響による不稔粒、穂幼穂凍死が発生したこと、さらに5月中旬の断続的な降雨が重なり例年よりも多い発生であった。

(3) 大豆

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
コガネムシ類	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-		
アブラムシ類	平年：- 前年：-	平年：並 前年：多	ほ場における発生は、8月はやや少なく、9月はやや多かった。	
シロイチモジマダラメイガ	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-		
マメシンクイガ	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-		
ハスモンヨトウ	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数は、地点によりばらつきはあるが、やや少～平年並み。ほ場における発生は平年並みだった。	適切な防除により、農作物被害はやや少なかった。
吸実性カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	フェロモントラップによるホソヘリカメムシの誘殺数は、地点によりばらつきはあるがやや少～平年並み。ほ場における発生は、平年並みであった。	ほ場では主にイチモンジカメムシ、ホソヘリカメムシが観察された。
フタスジヒメハムシ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや少	ほ場における発生は、8月は平年並み、9月はやや少なかった。	

## 2) 野菜

## (1) いちご (親株・育苗床: 令和3(2021)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
炭疽病	平年: 並 前年: 並	平年: 平年並 前年: やや少	育苗期後半の9月に発生が増加し、平年並みの発生であった。	昨年発生がやや多く、分生子を持ちこしていると考えられるほ場が散見される。
萎黄病	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: やや多	7~8月に若干の発生がみられた。9月の発生は見られなかった。	無育苗を利用することにより、育苗期での発生は抑えられていた。
灰色かび病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 並	全般に少ない発生であった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
うどんこ病	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: 並	育苗期7~8月に平年並の発生であった。	一部の軟弱徒長、過密なっている親株で梅雨により多く発生した。
アブラムシ類	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: やや少	全般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: やや少	全般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: 並	全般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (2) トマト (夏秋: 令和3(2021)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
疫病	平年: - 前年: -	平年: やや多 前年: 多	7月に発生がみられた。	6月中下旬~7月上旬に降水量の多い日が続いた。
灰色かび病	平年: - 前年: -	平年: やや少 前年: やや少	全般にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
葉かび病	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: やや少	7月に発生がみられた。	梅雨による多湿により発生が増加した。
モザイク病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 並	全般に少ない発生であった。	発病が疑われる苗の早期除去や媒介虫の防除により、ほ場内での発生が抑えられた。
黄化葉巻病	平年: - 前年: -	平年: やや多 前年: 並	7月に多い、8月は平年並みの発生であった。	昨年の発生がやや多かったことからほ場周辺にはウイルス保毒タバココナジラミが常在していると考えられた。
すすかび病	平年: 並 前年: 並	平年: やや多 前年: 並	8月にやや多い発生であった。	7~8月に降水量が多く多湿だったため、発生が増加した。
アブラムシ類	平年: 並 前年: -	平年: やや少 前年: やや多	全般的にやや少ない発生であったが、6月に平年並の発生があった。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年: 並 前年: やや早い	平年: 並 前年: 並	全般的に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハモグリバエ類	平年: 並 前年: -	平年: やや少 前年: やや多	全般的にやや少ない発生であったが、6月に平年並の発生がみられた。	実質的な被害はほとんど生じていない。

## (3) なす (夏秋: 令和3(2021)年6~9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
うどんこ病	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: やや少	7月にやや多い発生、8~9月は平年並みの発生であった。	7~8月に降水量が多く多湿だったため、発生が増加した。
灰色かび病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
半身萎凋病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 並	全般的に少ない発生であった。	輪作、耐病性台木の普及により発生が少なかった。
青枯病	平年: 平年並 前年: やや早	平年: やや多 前年: やや多	8~9月に発生があった。	7~8月に降水量が多かったため、連作ほ場で発生が見られた。
ハダニ類	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: やや少	全般的にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年: やや遅い 前年: やや遅い	平年: やや少 前年: やや少	全般的にやや少ない発生であったが、例年発生が少ない9月にも発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: やや少	全般的にやや少ない発生であったが、6月に平年並の発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (4) きゅうり (夏秋: 令和3 (2021)年6～9月)

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
灰色かび病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
べと病	平年: 並 前年: 並	平年: やや多 前年: やや少	6～7月は平年並、8～9月は多い発生であった。	7～8月に降雨量が多く寡照が継続した期間があったため、発生が抑えられなかった。
うどんこ病	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: やや少	少ない～平年並みの発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
褐斑病	平年: 並 前年: 並	平年: 多 前年: 多	7～9月までやや多い～多い発生であった。	7～8月に降雨量が多く寡照が継続した期間があったため、発生が抑えられなかった。
疫病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 並	ほとんど発生は見られなかった。	適切な防除やほ場管理により発生が抑えられた。
黄化えそ病	平年: 並 前年: 遅い	平年: やや少 前年: 少	全般にやや少ない発生であった。	アザミウマ類の発生が確認されたほ場で発生している。
ハモグリバエ類	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: 並	全般的にやや少ない発生であったが、8月に平年並の発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
コナジラミ類	平年: やや早い 前年: 並	平年: 並 前年: やや少	6月にやや多い発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: 少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (5) ねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年: 並 前年: 並	平年: やや多 前年: やや多	7月に発生がやや多く、8月は少なくなったが9月に多くなった。	8月に気温が低く、降水量が多かったことから発生が多かった。
べと病	平年: - 前年: -	平年: やや多 前年: 多	7月に発生が多かった。	6月の降水により発生が増加した。
黒斑病	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: やや多	7～8月に平年並の発生、9月はやや多い発生であった。	8月の降水により発生が増加した。
萎縮病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 並	全般に少ない発生であった。	アブラムシ類(媒介虫)の発生が少なかったため、発生が抑制された。
アブラムシ類	平年: - 前年: -	平年: - 前年: -	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年: 並 前年: 並	平年: やや少 前年: やや少	全般にやや少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハモグリバエ類	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ネギコガ	平年: 並 前年: やや早い	平年: 並 前年: 並	全般的に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (6) たまねぎ

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
さび病	平年: - 前年: -	平年: 少 前年: 少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
べと病	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: やや少	全般的に平年並みの発生であった。	前年やや多く、潜在胞子による感染が懸念されたが、降雨量が少なく発生が抑えられた。
白色疫病	平年: - 前年: -	平年: - 前年: -	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒斑病	平年: - 前年: -	平年: やや多 前年: やや少	全般的にやや多い発生であった。	前年はやや多く、潜在胞子が多かったことが考えられる。
アザミウマ類	平年: 並 前年: やや早い	平年: 並 前年: やや多	4月にやや多い発生があった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## (7) 野菜共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
ハスモンヨトウ	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: やや少	全般的に平年並みの発生であった。県南部の一部地点において、8月及び9月にやや多い発生がみられた。	発生程度に応じた薬剤散布が行われ、農作物被害はやや少なかった。
オオタバコガ	平年: 並 前年: 並	平年: 並 前年: 並	地点により誘殺数にばらつきはあったが、全般的に平年並みの発生であった。	発生程度に応じた薬剤散布が行われ、農作物被害はやや少なかった。

3) 果樹  
(1) なし

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
黒斑病	平年：並 前年：並	平年：やや多 前年：並	7月に発生が見られた。	県内の主力品種は、耐病性のある幸水、豊水が作付けされているが、耐性を持たない品種で発生したものと考えられる。
黒星病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	葉の病斑はやや少ない発生であったが、7月に果実でやや多い発生が見られた。	梅雨明けからの天候不順で防除が遅れ、果実を中心に7月以降の発生が増加した。
赤星病	平年：やや早 前年：早	平年：並 前年：並	5月から早い発生となったが、発生量は少なかった。	春先の天候不順による防除の遅れで発生が早かったが、その後は抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	6、8月に平年並の発生がみられた。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	全般に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シンクイムシ類	平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：並	フェロモントラップにおける発生時期及び発生量は平年並みであった。ほ場における被害は少なかった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(2) ぶどう

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
晩腐病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
べと病	平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：並	7月からやや早く発生が見られたが、発生量は平年並であった。	梅雨の時期に薬剤散布が難しく、梅雨明け後も天候不良が続いたため、発生が見られた。
灰色かび病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
黒とう病	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
アザミウマ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(3) りんご

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
斑点落葉病	平年：早 前年：並	平年：多 前年：並	7月に発生が認められ、9月にかけて増加した。	昨年多発したため感染源が多く、断続的な天候不良のため増加した。
黒星病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	ほとんど発生していない。	適切な防除により発生が抑えられた。
赤星病	平年：- 前年：-	平年：- 前年：-	ほとんど発生していない。	適切な防除により発生が抑えられた。
輪紋病	平年：やや早 前年：やや早	平年：やや多 前年：やや多	8、9月に発生が見られた。	梅雨の時期に薬剤散布が難しく、梅雨明け後も天候不良が続いたため、発生が見られた。
褐斑病	平年：早 前年：並	平年：多 前年：並	7月に発生が認められ、9月にかけて増加した。	昨年多発したため感染源が多く、断続的な天候不良のため増加した。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般的にほとんど発生せず、9月にやや少なく発生した。	適切な防除により、発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：並	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であったが、9月に平年並の発生があった。	適切な防除により発生が抑えられた。
シンクイムシ類	平年：やや早 前年：並	平年：並 前年：並	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハマキムシ類	平年：- 前年：-	平年：少 前年：少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

(4) 果樹共通

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
カメムシ類	平年：並 前年：並	平年：やや少 前年：少	フェロモントラップによる誘殺数は全般的に少なかった。	昨年のスギ・ヒノキ球果量が少なかったため、今年にかけての越冬虫数が少なく、果樹園への飛来は限定的であった。

4) 花き  
(1) きく

病害虫名	発生時期	発生量	発生経過の概要	発生要因の解析
白さび病	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	4月から7月まで発生が見られたが、発生量は少なかった。	適切な防除により初期段階で発生が抑えられた。
アブラムシ類	平年：並 前年：やや早い	平年：やや多 前年：並	ほ場により発生量にばらつきはあったが、全般的にやや多い発生であった。	一部ほ場において、防除の合間に発生が見られたものの、被害は限定的であった。
アザミウマ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：やや少	全般的に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハダニ類	平年：並 前年：並	平年：並 前年：並	全般的に平年並の発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。
ハスモンヨトウ	平年：- 前年：-	平年：並 前年：やや少	全般的に少ない発生であった。	適切な防除により発生が抑えられた。

## 5 病害虫発生程度別面積

### 1) 令和2(2020)年病害虫発生程度別面積(確定) (ha)

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
普通期水稻	59,200	葉いもち	2230	1540	3200	31200	38,170
		穂いもち	0	0	0	9950	9,950
		紋枯病	1470	3100	3850	25500	33,920
		ばか苗病	0	0	0	1	1
		もみ枯細菌病(種子消毒)	0	0	0	0	0
		縞葉枯病	0	0	0	11100	11,100
		稲こうじ病	1530	2320	4460	7000	15,310
		ニカメイガI	0	0	0	1500	1,500
		ニカメイガII	0	0	0	3000	3,000
		セジロウンカ	0	0	0	31000	31,000
		トビイロウンカ	0	0	0	0	0
		ヒメトビウンカ	0	8300	24300	23500	56,100
		ツマグロヨコバイ	0	0	0	33400	33,400
		斑点米カメムシ類	760	1500	4500	6000	12,760
		フタオビコヤガ	0	0	0	10600	10,600
		コブノメイガ	0	0	0	0	0
		イネミズゾウムシ	0	0	10000	39500	49,500
麦	12,700	うどんこ病	0	0	0	0	0
		赤かび病	0	0	0	1,940	1,940
大豆	2,250	アブラムシ類	0	0	150	370	520
		ハスモンヨトウ	0	0	0	370	370
		吸実性カメムシ類	0	0	0	680	680
		フタスジヒメハムシ	0	0	370	680	1,050
りんご	147	斑点落葉病	0	0	0	147	147
		黒星病	0	0	0	0	0
		ナシヒメシンクイ	0	0	0	21	21
		ハマキムシ類	0	0	0	0	0
		ハダニ類	0	0	0	42	42
なし	743	黒斑病	0	0	0	27	27
		黒星病	0	0	0	381	381
		ナシヒメシンクイ	0	0	0	0	0
		ハマキムシ類	0	0	0	0	0
		ハダニ類	0	0	0	54	54
		カメムシ類	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	54	191	245
ぶどう	213	晩腐病	0	0	43	43	86
		べと病	0	0	21	107	128
		灰色かび病	0	0	0	0	0
夏秋トマト	127	疫病	0	0	0	0	0
		灰色かび病	0	0	16	16	32
		葉かび病	0	0	0	23	23
		コナジラミ類	0	0	14	64	78
		アブラムシ類	0	0	0	0	0
冬春トマト	212	疫病	0	0	0	0	0
		灰色かび病	0	0	0	87	87
		葉かび病	0	0	19	49	68
		コナジラミ類	0	0	20	82	102
		アブラムシ類	0	0	0	0	0

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
夏秋ナス	332	うどんこ病	0	0	0	148	148
		灰色かび病	0	0	0	37	37
		アザミウマ類	0	0	74	184	258
		オオタバコガ	0	0	0	74	74
		アブラムシ類	0	0	0	258	258
		ハダニ類	0	0	37	111	148
夏秋キュウリ	223	べと病	28	56	56	84	224
		うどんこ病	0	0	84	84	168
		灰色かび病	0	0	0	0	0
		褐斑病	0	0	0	28	28
		アザミウマ類	0	0	0	23	23
		アブラムシ類	0	0	0	61	61
		コナジラミ類	0	20	20	162	202
冬春キュウリ	49	べと病	0	0	10	15	25
		うどんこ病	0	0	10	20	30
		灰色かび病	0	0	0	5	5
		褐斑病	0	0	10	5	15
		アザミウマ類	0	0	0	5	5
		アブラムシ類	0	0	0	13	13
		コナジラミ類	0	0	0	22	22
冬キャベツ	84	黒腐病	0	0	0	0	0
		菌核病	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	21	21
		コナガ	0	0	0	21	21
タマネギ	265	白色疫病	0	0	0	0	0
		べと病	0	0	0	199	199
		ネギアザミウマ	0	0	0	265	265
秋冬ネギ	480	さび病	69	0	69	69	207
		黒斑病	0	0	69	411	480
		べと病	0	0	0	0	0
		ハスモンヨトウ	0	0	0	60	60
		アブラムシ類	0	0	0	0	0
		ネギハモグリバエ	0	0	60	240	300
		ネギアザミウマ	0	0	0	300	300
冬レタス	88	灰色かび病	0	0	0	0	0
		菌核病	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	0	0
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0
		オオタバコガ	0	0	0	0	0
イチゴ	533	灰色かび病	0	0	0	8	8
		うどんこ病	0	0	0	8	8
		炭そ病	0	8	8	48	64
		アブラムシ類	0	0	0	64	64
		アザミウマ類	0	16	56	48	120
		ハダニ類	0	16	40	183	239
		ハスモンヨトウ	0	0	0	58	58
きく	99	白さび病	0	0	22	22	44
		アザミウマ類	0	0	0	20	20
		アブラムシ類	0	0	0	20	20
		ハスモンヨトウ	0	0	0	10	10

※作付面積：農林水産省の統計データを参照。



2) 令和3(2021)年病害虫発生程度別面積(速報)(ha)

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
普通期水稲	59,200	葉いもち	0	2,300	1,500	30,600	34,400
		穂いもち	0	0	0	47,600	47,600
		紋枯病	0	0	4,400	35,800	40,200
		ばか苗病	0	0	0	0	0
		もみ枯細菌病(種子消毒)	0	0	0	0	0
		縞葉枯病	0	0	0	18,700	18,700
		稲こうじ病	0	0	1,530	14,800	16,330
		ニカメイガI	0	0	0	2,300	2,300
		ニカメイガII	0	0	0	3,000	3,000
		セジロウンカ	0	0	0	5,300	5,300
		トビイロウンカ	0	0	0	0	0
		ヒメトビウンカ	1,500	6,100	13,700	34,900	56,200
		ツマグロヨコバイ	0	0	2,300	34,200	36,500
		斑点米カメムシ類	0	1,500	3,000	9,900	14,400
		フタオビコヤガ	0	0	0	4,500	4,500
		コブノメイガ	0	0	0	0	0
イネミズゾウムシ	0	0	9,900	29,600	39,500		
麦	12,600	うどんこ病	0	0	0	0	0
		赤かび病	0	0	0	2,900	2,900
大豆	2,340	アブラムシ類	0	600	530	600	1,730
		ハスモンヨトウ	0	0	0	150	150
		吸実性カメムシ類	0	0	0	450	450
		フタスジヒメハムシ	0	0	80	230	310
りんご	147	斑点落葉病	0	0	0	140	140
		黒星病	0	0	0	0	0
		ナシヒメシンクイ	0	0	0	0	0
		リンゴコカクモンハマキ	0	0	0	0	0
		ハダニ類	0	0	0	20	20
なし	741	黒斑病	0	0	0	27	27
		黒星病	0	0	0	109	109
		ナシヒメシンクイ	0	0	0	0	0
		ハマキムシ類	0	0	0	0	0
		ハダニ類	0	0	0	27	27
		カメムシ類	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	27	190	217
ぶどう	212	晩腐病	0	0	0	0	0
		黒とう病	0	0	0	0	0
		べと病	0	0	0	107	107
		灰色かび病	0	0	0	0	0
夏秋トマト	127	疫病	0	0	0	11	11
		灰色かび病	0	0	0	11	11
		葉かび病	0	0	0	22	22
		コナジラミ類	0	0	0	104	104
		アブラムシ類	0	0	0	22	22
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0

作物名	作付面積	病害虫名	甚	多	中	少	計
夏秋ナス	332	うどんこ病	34	34	0	34	103
		灰色かび病	0	0	0	0	0
		アザミウマ類	0	34	0	172	207
		オオタバコガ	0	0	0	69	69
		アブラムシ類	0	0	34	69	103
		ハダニ類	0	0	0	103	103
夏秋キュウリ	223	べと病	0	0	47	94	141
		うどんこ病	0	0	0	90	90
		灰色かび病	0	0	0	0	0
		褐斑病	0	21	21	21	63
		アザミウマ類	0	0	23	47	70
		アブラムシ類	0	0	0	23	23
タマネギ	265	白色疫病	0	0	0	0	0
		べと病	0	0	0	97	97
		ネギアザミウマ	0	0	65	194	258
秋冬ネギ	480	さび病	0	0	59	296	355
		黒斑病	177	0	118	177	473
		べと病	0	0	0	118	118
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0
		アブラムシ類	0	0	0	59	59
		ネギハモグリバエ	0	0	0	0	0
		ネギアザミウマ	59	59	0	59	177
イチゴ	553	灰色かび病	0	0	0	0	0
		うどんこ病	26	52	17	104	199
		炭そ病	0	0	18	63	80
		アブラムシ類	0	27	27	89	143
		ハダニ類	0	0	9	170	179
		ハスモンヨトウ	0	0	0	9	9
きく	99	白さび病	0	0	0	11	11
		アザミウマ類	11	0	0	11	22
		アブラムシ類	10	0	0	10	20
		ハスモンヨトウ	0	0	0	0	0

※作付面積：農林水産省の統計データを参照。

## 6 病害虫診断結果

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
1月7日	上三川町	トマト	ハウスに点在して症状が見られる。症状は、地際部が黒変し、白い菌糸が見られる。また、導管が褐変し、生長点の萎れが見られる。	茎部の導管の褐変は茎上部では見られない。白い菌糸の部分に菌核が形成された。地際の茎部の組織分離でも同様に白色の菌叢と菌核が形成されたことから <b>菌核病</b> と診断した。
1月7日	さくら市	ハイブリッドスターチス	夏に生育の悪い(葉が小さい、芽ふきが悪い)が散見されたが、高温期にはよくあり、涼しくなると改善されるので様子を見ていた。しかしその後も改善されず、葉が赤褐色となる症状が出てきた。高温期の生育不良と現在の症状が直接関係あるかは不明だが、赤褐色の症状が出ていなくても萎凋症状のある株も見られる。症状の発生は連棟ハウス(5部屋)の5割程度で、点在。	葉脈に沿って赤褐色の病斑があり、地際部から上部の茎の内部が赤く染まっている。湿潤下で保持した葉から小黒点を生じ、検鏡により <i>Pestalotiopsis</i> 属の分生子が確認され、組織分離した結果、高確率で同属と考えられる菌が分離された。以上の結果から <b>ペスタロチアによる病害</b> と診断した。
1月8日	—	トマト	情報無し	葉に暗褐色の斑点、葉縁の枯れがある。検鏡では病原菌は見られなかった。組織分離を行ったが、病原菌は分離されなかった。
1月21日	鹿沼市	さといも	7月以降に、地上部の生育が不良になる株が、ほ場内で点在するとのこと。収穫すると、子芋が少なく、また子芋が崩壊している場合が多い。昨年度は気にするほどではなかったが、今年度は目立ち始めた。症状の軽いものは、割れのように見えるが、進行すると組織が崩壊している。中を割るとスポンジ状になっているものも見受けられる。	組織分離により <i>Fusarium solani</i> を分離した。症状と併せて <b>乾腐病</b> と診断した。
2月4日	真岡市	いちご	20~30株程度が展開する葉が連続して萎縮したような症状。生産者は被害株が増えているように感じている。	芯葉(下位葉を除く連続した展開葉)の萎縮(葉が波打ち、葉色に濃淡がある)と一部の葉に暗褐色の不定形の斑点が認められた。葉身にナミハダニの寄生が認められ、葉の萎縮の原因と考えられる。なお、展開葉をすべて除去し経過を観察したところ、新たに展開した葉及び花房(ナミハダニの寄生なし)に同様な症状は生じなかった。
2月22日	宇都宮市	トマト	情報無し	小葉の先が枯れており、かいよう病の可能性があった。Cmmイムノストリップ陰性であった。
2月24日	足利市	アスパラガス	立茎開始後にハウス全体で生育のばらつきが見られ始め、現在は約2割程度の株で生育不良(伸長が途中で止まる株、水が吸えていないような色の濃い株)が散見。地中の若茎には褐変が見られ、内部は異常なし。昨年は生育に異常は見られなかった。発生土壌はpH: 6.8、EC: 0.2 疫病イムノストリップ検査は陰性。	地下茎の一部が腐敗しており、地際部の茎部の表皮に褐変が認められた。各部位の組織分離により <i>Fusarium oxysporum</i> が分離されたため、本菌による <b>立枯病</b> と診断した。
2月25日	小山市	トマト	枯れる(多肥による障害の可能性が高いと思う)	地際部付近の根部でRsイムノストリップ陰性であった。根の褐変部分で組織分離を行ったところ、 <i>Pythium</i> 属菌が分離されたが枯死の主な原因か不明である。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
3月1日	栃木市	ばら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温室が3棟あるうち、一番西側の温室で発生が見られた。温室内のうち、一番西側の1ベッドで下葉が黄化する症状が見られ、広がりを見せている。</li> <li>・病気も考えられるが、灌水量が少なかったか、亜硝酸ガスの影響かとも考えている。</li> </ul>	根が黒色水浸状に黒化しており、地際から褐色の病斑が上がっている。イムノストリップ診断でphyt擬陽性、湿潤下2日保持でPythium属菌が認められた。葉の新鮮な部分は水浸状の小斑点を伴っており、組織培養で桿菌が分離され、湿潤下に保持したものは菌泥が噴出した。主な病害は不明。
3月4日	さくら市	ハイブリッドスターチス	生産者から「葉の整理をしていたら、株元にこぶのようなものがあるので見て欲しい」と依頼された。こぶはカルスのようで、バラ等の根頭ががんしゅ病と似ている。同一ハウスの同じ部屋（同一時期に切り戻しを行った）のほとんどの株で同じような症状が見られる。	がんしゅの内部は一部赤、褐色に変色し腐敗しており、組織分離で薄黄色のコロニーとなる運動性の桿菌を分離した。桿菌をAPIにより診断したところ該当するものがなかった。葉はうどんこ病菌、根部はピシウム菌等もあり雑菌に覆われており、病原の主なものは特定できなかった。
3月22日	栃木市	トマト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年内の黄化葉巻病は平年並みに発生した。</li> <li>・コナジラミ類は現在は見かけない。</li> <li>・葉かび病の発生が多い。</li> <li>・黄化病の疑いがある株は、AHK51で20株程度。同じハウスで入口から遠い方の半面にマイロックがあるが、そちらは無し。</li> <li>・発生箇所は入口側に多い。</li> </ul>	葉身に黄化症状があるが、RT-PCRの結果、ToCV陰性であった。
3月22日	壬生町	トマト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年内から散在しており、3月から急に増えた。</li> <li>・発生は通路付近、20株程度。</li> <li>・コナジラミ類は12月頭まで見かけていたが、今はいない。</li> <li>・黄化葉巻病の発生あり。</li> </ul>	葉身に黄化症状があるが、RT-PCRの結果、ToCV陰性であった。
3月22日	壬生町	トマト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年内から散在しており、3月から急に増えた。</li> <li>・コナジラミ類は11月まで見かけていたが、今はいない。</li> <li>・黄化葉巻病の発生はあった。</li> <li>・通路に近い位置に多い。</li> <li>・被害株は30株程度。上段まで黄化。</li> </ul>	葉身に黄化症状があるが、RT-PCRの結果、ToCV陰性であった。
4月7日	宇都宮市	りんどう	・3月下旬、30～50cmに生育時、葉に部分的なえそ症状（スレ症状）が発生。1aのハウス内に2カ所、それぞれ2～3株スポット的に発生がみられる。ハウス内はアザミウマ、アブラムシの発生が散見され、定期的な防除をおこなっている。	組織培養の結果、細菌類は分離されなかった。持ち込まれたサンプルを水差しにして1週間観察したところ、えそ症症状が広がる傾向になく、病害の可能性は低いと判断した。症状の悪化および拡大がないかどうかを注視。
4月15日	宇都宮市	水稻	4月15日に被覆資材をめくったところ、多くの苗箱表土にカビのようなものを見つけた。同様に播種した「あさひの夢」は出芽揃いが良いが、「コシヒカリ」については出芽がまばらで、根の伸びが悪い。	分離培養の結果、「青カビ（ペニシリウム）」によるものであると思われる。ペニシリウムは土中、空中、種々の有機物上など由来であるが、中には植物病原性を示すものも存在する。今回、植物体には症状が出ていなかったことから作業工程で菌が繁殖してしまったのではないかと考えられる。
4月19日	宇都宮市	なす	3月下旬からアブラムシの発生が部分的に見られ、4月になってハウス全体へ広がった。新葉に若干の萎縮が見られる株が多く散見される。品種間での差は見られず、全ての品種で同様の傾向が認められる。	アブラムシ媒介ウイルス病の可能性が心配とのことだったので、イムノストリップキットによる診断を実施し、CMV（モザイク病）陰性を確認。組織分離等行ったが病原となる菌類は分離されなかった。よって病害ではないと判断した。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
4月28日	高根沢町	けいとう	<ul style="list-style-type: none"> <li>発芽率はよかったが、発芽後に立ち枯れ症状がおこった。品種や場所、種の種類（購入か自家採取）による傾向は見られなかった。</li> <li>3月上旬播種の苗の中で、立ち枯れしていないものを定植したが、3日後に立ち枯れ症状がおこった。</li> </ul>	疫病の可能性もあったのでイムノストリップキットによる診断（ <i>Phytophthora</i> ）を実施したが陰性。組織培養により、ピシウム（ <i>Pythium</i> ）属菌を分離。本菌による <b>立枯病</b> と診断。
5月10日	真岡市	水稲	<ul style="list-style-type: none"> <li>坪状等の枯れた症状（苗立枯細菌病の疑い）</li> </ul>	PCRの結果、苗立枯細菌病、もみ枯細菌病陰性。なお、分離・培養したところ細菌の発生が見られたが、主要な細菌病ではないと判断した。
5月10日	真岡市	ジュンベリー	大量のフラスが排出される。成虫は確認できず。	寄主植物の種類及びフラスの形状から、 <b>カミキリムシ</b> の一種（クビアカツヤカミキリでない）と判断した。
5月13日	小山市	ブルーベリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>ここ数年、ほ場の一部で枯死する株が見られるようになった。</li> <li>昨年発生した株では、根を掘り返した際に白い菌糸が確認できたが、本年の株では確認できなかった。</li> <li>ハイブッシュ系の品種</li> </ul>	外観症状から白紋羽病を疑ったが、検鏡では特徴的な菌糸を確認できなかった。樹皮下組織に白い菌糸が見られること、湿潤状態で植物体から子実体（きのこ）が見られたこと、子実体の特徴、検鏡により担子菌類の菌糸が確認できたことから、 <b>ナラタケモドキ病</b> と診断。
5月13日	栃木市岩舟	ぶどう	<ul style="list-style-type: none"> <li>果粒が暗褐色になる。</li> <li>日焼けや縮果症のような症状も散見される。</li> <li>見つけ次第取り除いているが、数日たつとまた発生している。</li> <li>症状発生房の周辺の葉には病害の症状は見られていない。</li> </ul>	組織培養の結果、 <i>Rhizopus</i> 属菌が分離された（形成された黒色の胞子のうから同定）。文献では「菌糸の侵入後まもなく中毒症状部が生じ、果色は淡褐色を帯びる」とされており、持ち込まれた果実の症状と一致する。よって <b>黒かび病</b> と診断した。
5月18日	真岡市	いちご	<ol style="list-style-type: none"> <li>過去にセンチュウ害が確認されている圃場。土壤改良によりセンチュウ害が確認されなくなった。</li> <li>植物体が他より縮こまっている様子。花の上がりが悪い、毎年同じところで起こる。葉の色が薄い。</li> <li>新葉の萎縮症状。葉縁の枯れ。</li> </ol>	土壤及び根を48時間ベルマン法に供試。①の圃場サンプルから <i>Pratylenchus</i> 属の一種（ <b>ネグサレセンチュウ</b> ）が多数検出された。根の一部褐変（軽微）も見られた。②、③の圃場からは植食性センチュウが検出されなかった。
5月19日	宇都宮市	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>両品種において、芽枯れ症状が目立つ</li> <li>開花期においては、特に異常は確認されなかった。</li> <li>耕作者からは「開花期の異常は特に確認されず」とのことだったが、開花期の巡回時、数果そうに萎凋症状が確認されていた。</li> </ul>	持ち込み時にサンプル枝の断面を確認したが、内部に異常は見られなかった。枝を湿潤環境においたところ、分生子塊が見られた。これを検鏡したところ特徴的な胞子が確認され、 <i>Phomopsis</i> 属菌のβ胞子と同定した。よって <i>Phomopsis fukushii</i> による <b>胴枯病</b> と診断した。
5月19日	足利市	水稲	<ul style="list-style-type: none"> <li>苗立はそろっており、生育中後期位に、播種した箱のほぼ全てに坪枯れの症状が見られた。</li> <li>①坪枯れの症状、②育苗初期の低温、③葉先枯れ、④現状菌のようなものが見られないことから、ピシウム菌と見ている。また、ピシウム菌でなかったら、育苗管理に原因があると考えている。</li> </ul>	PCRの結果、苗立枯細菌病、もみ枯細菌病陰性。しかし、分離・培養したところ細菌の発生が見られたことから、主要な細菌病ではないと判断した。消毒済みでないところから菌が入り込んだ可能性が考えられる。
5月20日	宇都宮市	トマト	5月上旬より株の地際部が褐変し、葉の枯れこみが見られるようになった。ハウスの一部で数株に発生が見られる（同列に連続して数株）。根の一部でも褐変が認められる。	維管束が褐変、道管の根部は空洞、根は健全。かいよう病Cmm、青枯病RS陰性であった。組織分離を行ったところ高確率で運動性のある桿菌が分離された。湿潤下の保存で腐敗が進み、一部 <i>Fusarium oxysporum</i> と思われる糸状菌があったが、部位が限定的であった。細菌の分離株についてAPI診断した結果該当するものがなく特定できなかった。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
5月25日	塩谷町	きく	品種シュプールで発生が多い。	親株とほ場株をそれぞれPCR検定したところ、ほ場株はCSNV陽性となった。よってほ場株は <b>キク茎えそ病</b> と診断した。親株は今回は陰性となったが、引き続き様子を見ていただきたい。
5月28日	栃木市	いちご	令和3年5月中旬ランナー先端の萎れ発生、親株自体の萎れ症状無し。クラウン切断したところ、クラウン下部で外側からの褐変を確認。炭疽病、疫病の可能性があるため持ち帰り診断。疫病検査キットでは陰性。胞子の形状は炭疽病（シングラータ）とはやや異なる形状。	湿潤保持していたクラウンが銚色の銚色の分生子粘塊を形成、顕微鏡下で炭疽病菌の胞子を確認したため <b>炭疽病</b> と診断した。
5月28日	栃木市	いちご	令和3年5月28日親株の萎れ	根が水漬状に黒褐変し、断面は赤い。地際下の根部は黒化し実体顕微鏡で細かい菌糸が確認できる。イムノストリップキットで疫病（ <i>Phytophthora</i> ）陰性。検鏡により根の細胞に丸い卵胞子が確認できることから <b>Pythium</b> による <b>根腐病</b> と診断した。
5月31日	小山市	水稲	2枚のみ発生。小さい丸い褐色の物体が苗にくっついている。（苗箱の外側付近、2枚接し面の真ん中）。発芽前に白いカビが一面に発生、日が経つことに褐色から黒っぽい色に変色。乾燥するとばらばらと落ちるが、水に濡らすと粘着性がある。苗に黄化等の病害は認められない。	付着物の特定には至らなかったが、付着部位における稲への侵食、黄化等の障害は認められず、また、虫の孵化及び食害痕も認められないことから、病害虫ではないと判断した。
6月4日	上三川町	モロヘイヤ	2棟のうち1棟の半分以上の株で発生している。根の張りが極端に悪く、しおれから葉が黄化して枯死する。	根が黒褐色水漬状。イムノストリップキットによる診断で疫病（ <i>Phytophthora</i> ）が陽性であったため <b>疫病</b> と診断した。
6月14日	足利市	トルコギキョウ	生育は概ね良好であったが、5月中旬に続いた天候不順の後、株枯が発生した。根を抜いてみると、根のまだらな褐変症状が見られた。他の品種で、青かび根腐病が発生していたため、当病害を疑っているが、株枯症状が急激に発生したため、他の病害によるものも考えられる。	根にまだらの褐変症状が見られ、内部組織にも褐変が見られた。組織分離の結果、暗緑色のコロニーが形成され、検鏡によって <b>Penicillium</b> 属菌と同定した。よって <b>青かび根腐病</b> と診断した。
6月14日	栃木市大平	ぶどう	<ul style="list-style-type: none"> <li>果粒が褐色になる。</li> <li>日焼けや縮果症のような症状も散見される。</li> <li>摘粒が終了し、ハウスの中央部に発生が多く観察される。</li> <li>症状発生房の周辺の葉には病害の症状は見られていない。</li> </ul>	症状のみられる果実を組織分離したところ、小黑点が形成され、これを検鏡したところ、多数の分生子が確認できた。分生子の形態的特徴から、 <i>Pestalotiopsis</i> 属菌と同定した。 <b>ペスタロチア</b> つる <b>枯れ病</b> と診断した。ややへこみが見られるものの果皮色には異常がなかった果粒について、しばし常温にて静置したところ（約2週間）、へこみ部分の褐変が見られた。外見上、健全果であっても時間の経過とともに発病する可能性があるため、注意を喚起したい。
6月15日	益子町	きく	品種：セイパミエ、セイレウカ（イノチオ精興園）に葉の黄化（スポット状）。節位はばらばらベット全体に出ている。株当たり2～3枚程度	症状発生部位をPCR検定したところCSNV陰性となり、茎えそ病の可能性は否定された。根の外観は健全であり、内部にも褐変など異常はなかった。葉、根について組織分離を試みたが、菌類等が分離されなかった。よって病害ではないと診断した。何らかの生理障害もしくは薬害の可能性が疑われる。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
6月16日	宇都宮市	にら	捨て狩り後10日目に葉先の枯上りが出たためアザミウマの食害と思ひモスピランを散布した。症状の軽いところから収穫調整を開始したら、袴部分にアザミウマの幼虫が確認されたため廃棄とした。	イムノストリップキット診断、PCR診断でIYSV（えそ条斑病）陰性。組織培養したものの湿潤保持したものは雑菌のみ培養されたため、 <b>アザミウマ</b> の食害痕と診断した。
6月17日	高根沢町	水稲	赤褐色の病斑が散見され、下葉は脱色し、症状が重い葉は先端が萎縮していた。	培養したが、主要な病原菌の特定には至らなかった。新葉、根は健全であり、ほ場全体に症状が出ていることから生理障害による可能性が高い。
6月17日	高根沢町	水稲	ゴマ葉枯れ病らしき病斑が散見される。畦畔沿いの3列が症状が重く、中央では病斑が見られなかった。	培養したが、主要な病原菌の特定には至らなかった。畦畔沿いの3列が症状が重く、中央では病斑が見られなかったことから除草剤による薬害と判断した。
6月18日	塩谷町	水稲	下位葉の黄変。 ほ場全体に、軽重がなく、ほぼ均一に出ている。 上位葉での発生は少ない。 根はしっかり張っていて、伸長している。	培養したが、主要な病原菌の特定には至らなかった。新葉、根は健全であり、ほ場全体に症状が出ていることから生理障害による可能性が高い。
6月22日	益子町	きく	<ul style="list-style-type: none"> <li>生育（草丈15cm程度）が順調のもの（45～50cm程度）に比較して低い。</li> <li>品種の大半が生育不良</li> <li>生長点付近にアザミウマの痕跡あり</li> </ul>	<p>外観症状に褐変、萎凋症状などは見られなかった。葉の組織分離を実施したところ、運動性のある細菌類を確認。イムノストリップキット診断を行ったが、青枯れ病、疫病ともに陰性。</p> <p>キクわい化病原ウイロイド（CSVd）検出キットにて検定を実施したところ、擬陽性となった。症状と昨年度も同様の症状が出たという聞き取り内容から、<b>キクわい化病</b>と診断した。葉から分離された細菌については同定できなかったが、わい化症状には関わっていないものと考えられる。</p>
6月23日	足利市	トマト	<ul style="list-style-type: none"> <li>6月上旬に上位葉が黄化して萎れる症状有り。</li> <li>その1週間後に株元の褐変が現れた。</li> </ul>	れいよう、SC7-167共に根元の褐変部は検鏡により組織に細菌の繁殖を確認できた。イムノストリップキット診断でかいよう病が陽性であったため、 <b>かいよう病</b> と診断した。
6月24日	大田原市	なす	<ul style="list-style-type: none"> <li>6/16に全体的にポツリポツリと葉が黄色くなり枯れてきた。50～60株ほど抜いて植え替えた。</li> <li>1回目の苗は根が黒くなっており、根鉢もあまりまわってなかった。</li> </ul>	株元の組織からリゾクトニア属菌が高頻度で分離された。リゾクトニア属菌は <b>苗立枯病</b> を起こすことが知られているが、苗で寄生していたものが、定植後に発病したものと推察された。また、ベールマン法により根から多量の線虫が分離されたが、植物寄生性線虫でなく自活性線虫であった。
6月30日	宇都宮市	オクラ	20a程度作付けのうち5a程度で発生。2週間ほど前から葉枯れと生育停滞が発生。	茎は全体が水浸状に褐変、一部の葉も水漬状に枯れ、根量は少ない。イムノストリップキットによる診断で（ <i>Phytophthora</i> ）陰性。湿潤保持した葉、茎は水漬状に急速に枯れ、 <i>Pythium</i> 菌が繁殖した。組織培養では <i>Pythium</i> 菌と合わせ運動性のある桿菌が分離された。桿菌をAPIで診断したところ一致するものはなかった。 <i>Pythium</i> 菌と細菌のいずれか病害を特定することはできなかった。
6月30日	上三川町	トマト	ハウスの全体で葉の黄化症状が見られる。多くの株でコナジラミ類の寄生が認められた。5月頃より見られる。	PCR診断でToCV陽性のため <b>黄化病</b> と診断した。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
7月1日	足利市	シクラメン	昨年度も同一品種で同病徴発生。今年度、6月に入り病徴が発生。隣接するベンチに置いている他品種への感染は現在見受けられず、同一品種のみ病害の発生が見られる。	クラウン内部に褐変など異常なし。茎、クラウンを組織分離したところ、細菌性コロニーが形成された。これらをマルチプレックスPCRしたところ、複数のコロニーから軟腐病細菌を示す約300bpのバンドが検出された。よってこれらのコロニーを軟腐病細菌 <i>Pectobacterium carotovora</i> によるものとし、 <b>軟腐病</b> と診断した。
7月5日	真岡市	なす	6月上旬から花びら及び葉裏の焼けるような症状が続く。上部の葉や花により多く発生が見られる。症状のある株の収穫物は、ガク割れ、へた無し、へたのコルク化等品質の悪い割合が高い。	葉焼け症状に該当する病害がないため特定できなかった。葉の褐斑部分から細菌が分離されたが、衰えたところに感染したのと考えられた。
7月6日	高根沢町	トマト	急に枯れ始め全滅状態	黒色水浸状の病斑、白色菌糸あり。検鏡により卵形の卵胞子確認。イムノストリップ診断で疫病(Phyt)が陽性であったため <b>疫病</b> と診断した。
7月9日	真岡市	ミヤコソスレ	生育のムラ 生育不良、枯死、株のとりけ	根にとろけ症状が見られ、脱落していた。疫病を疑い、イムノストリップ診断(Phyt)を実施したが陰性。根を剃刀で薄く削ぎ、検鏡したところ、組織内に卵胞子が認められた。形態特徴から <i>Pythium</i> 属菌と同定し、 <i>Pythium</i> 属菌による立枯れ症状であると診断した。 キクには「 <b>ピシウム立枯病</b> 」の報告あり。
7月9日	真岡市	ユーカリ	特に施設内の湿度が高くなると発生する。主に下葉発生していたが、現在は上葉にも発生している。	葉裏の構造物について検鏡を試みたが、病害となるような菌類、細菌類等は見られなかった。組織分離を行ったが、病原菌類は分離されなかった。よって病害ではないと診断した。ユーカリの生理的なものと推察される。
7月13日	宇都宮市	ぶどう	・7月に入ってから、両品種において果粒果面を覆う白い病斑が確認された。	外観症状部を検鏡したところ、俵型の分生子が認められた。形態的特徴から <i>Uncinula necator</i> と同定し、 <b>うどんこ病</b> と診断した。
7月15日	足利市	アスパラガス	7月14日から水田に面する5棟のハウスで、若茎にとろけたような腐敗症状が出た(なめくじになめられたような跡あり)。コサイドで防除したが、7月15日に確認時には止まっておらず、若茎は曲がり腐敗で出荷できない状況。若茎の内部の褐変は見られず、立茎している地上部の生育は良好。	茎の中上部が透明に腐敗、萎れ、シワがあり糸状菌が付着。イムノストリップ診断で、疫病、青枯病が陰性。組織培養した結果、細菌が優勢で糸状菌糸は一部であり、株が弱った後に寄生したものと診断した。分離された運動性の白色及び黄色コロニーの桿菌についてAPI診断を行った結果、白色コロニーは <i>Erwinia rhapontici</i> (タマネギ軟腐病菌)に近い結果となったが、主な原因は特定できなかった。 ※既知のアスパラガス軟腐病菌( <i>Erwinia carotovora</i> )
7月15日	茂木町	なす	定植直後よりアリがほ場外縁部のなす数株の株元に発生。アブラムシの発生はない。 アリは地際から接ぎ木部分の周辺に土を盛り往来しており、土を取り除くと茎がかじられたように細くなっている。 発生株はしおれて生育が止まり、ひどい株は枯死する。 同じ畝の隣の株にも広がり、現在15株程度被害を受けている。	被害状況及び虫体の形態的特徴からトビロシワアリと判断。農林水産省横浜植物防疫所に診断依頼の結果、同じく <b>トビロシワアリ</b> と同定された。



受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
7月16日	さくら市	いちご	一本のみ発生。 一か月前ほどから奇形葉がみられるようになった。ランナーでの発生状況は切り離して処分してしまったため、不明。根黒い。	根が褐変し道管も褐変。イムノストリップ診断Phyt疫病陰性。組織培養で根から <i>Pythium</i> 菌が分離されたため、 <i>Pythium</i> 菌による <b>根腐病</b> と診断した。
7月20日	真岡市	シクラメン	7/上旬頃～ 葉の黄化が発生しはじめた。	塊茎内部は腐敗、維管束の褐変等が見られた。イムノストリップ診断は疫病 (Phyt) 陰性。茎、塊茎部を組織分離したところ、細菌性コロニーが形成された。これらをマルチプレックスPCRしたところ、複数のコロニーから <i>Erwinia</i> 属特異的な約500bpのバンドが検出された。よってこれらのコロニーを <i>Erwinia</i> によるものとし、 <b>シクラメン葉腐細菌病</b> と診断した。
7月21日	さくら市	いちご	葉柄や葉面に炭疽病の特徴的な病斑に似た症状が散見され始めた。	症状ができていない部分を分離し観察。PDA培地上で25℃で培養した結果、菌糸が伸長し数日後胞子が形成され、観察した結果 <b>炭疽病菌</b> が見られた。
8月3日	宇都宮市	りんどう	・4つのハウス同様の条件で栽培をおこなっているが、1つのハウスにおいて、スポット的に3～5株で、根に近い茎部で腐れ症状がでており、茎が倒れたり、萎れたりしている。虫の食害跡等はみつからない。 ・発生は7月梅雨明けから見られている。腐った株元には、ハエの幼虫のようなものが見られた。その他、目立った病虫害の発生はないが、隣の3年目株育成ハウスで7月下旬からコナジラミが発生し、防除を行った。	外観では、地際部の褐変が見られる。持ち込みサンプルに根がなかったため、根の状態は不明。イムノストリップ診断は疫病 ( <i>Phytophthora</i> 属菌) 陰性。地際部の表皮を薄く削ぎ、検鏡したところ <i>Fusarium</i> 属菌の分生子が確認できた。 <i>Fusarium</i> 属菌を病原とするリンドウの病害には茎枯病と立枯病が報告されている。どちらも立枯症状が報告されているが、地際部付近に褐変腐敗が見られることから、 <b>立枯病</b> の可能性が高いと考えられる。
8月3日	宇都宮市	ぶどう	(1) 粗皮下の微小昆虫 ・粗皮を剥いだところ、微小昆虫が大量に寄生していた。  (2) 果房上の病斑 ・果房上にカビと思われる病斑が散在している。特に、薬剤防除において薬液が届きにくいハウス周縁部の果房に確認され、果粒上部に目立つ印象 (耕作者達観)。	(1) 粗皮下の微小昆虫 検鏡の結果、 <b>ササラダニ類</b> (植物寄生性でない) と同定。ササラダニ類は基本的には腐食性であり、ブドウでの被害報告は無い。発見状況からして、古い剥離樹皮を摂食していたものと考えられ、農業生産上問題となりうる虫ではないと判断した。 (2) 果房上の病斑 組織分離の結果、 <i>Penicillium</i> 属菌が分離された。また、湿潤環境においた果粒上にも菌糸が見られ、同様に <i>Penicillium</i> 属菌と同定した。よって熟果に2次的に発生した <b>青かび病</b> と診断した。
8月4日	真岡市	カラコエ	梅雨明け頃より症状が発生している。	外観症状は基部の腐敗のほか、根の褐変と脱落があった。イムノストリップ診断では疫病 ( <i>Phytophthora</i> 属菌) 陰性。組織分離したところ、 <i>Pythium</i> 属菌が認められた。よって <i>Pythium</i> 属菌による立枯症状と判断し、「 <b>根腐病</b> 」と診断した。
8月4日	高根沢町	枝豆	数年前から莢のシミ? が問題になっており、今年発生が多くなっている。個人差はあるが、部会全体で発生している。	3件とも水浸状の小斑点になっており、組織培養したところ各々特徴の異なる細菌が確認された。風雨により傷口等から侵入されたものとみられる。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
8月5日	大田原市	トマト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほ場全体に点在して発生してる。</li> <li>・パイプハウスが10棟程度あるがどの棟も発生程度は異なるが発生している。</li> <li>・下葉から上葉に症状が進行している。</li> <li>・コナジラミ類が大量に発生していた。</li> <li>・ほ場の一部で黄化葉巻病が散見された。</li> <li>・写真の株の生長点は萎縮していなかった。</li> <li>・すすかび病も散見された。</li> </ul>	PCR診断によりT o C V陽性であったため <b>黄化病</b> と診断した。
8月5日	那須烏山市	バターナッツ	ほ場全体に発生はしておらず、1～2株から着果した果実のみに発生。葉は斑点細菌とみられる症状がでていますが、ツルや株元に病状は見られなかった。	大きな白斑の一部に黒斑が着生している。組織培養、果樹表皮を湿潤下においたものから <i>Alternaria</i> , <i>Pythium</i> 他複数種の糸状菌が確認された。果樹表皮組織の直接検鏡で <i>Pythium</i> 菌の卵胞子が確認できること、初期の病斑が白いことから、始めに <i>Pythium</i> 菌により <b>カボチャ綿腐病</b> になり、表皮が弱った後に日和見で <i>Alternaria</i> 等が寄生したものと推察された。
8月6日	壬生町	ピーマン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月中旬ぐらいから果実に斑点が見え始めた。</li> <li>・現在は、ほ場全面発生している。一部葉にも発生しているが、ほとんどの果実に被害がみられている。</li> <li>・昨年も発生があった。</li> </ul>	病斑部が小黒点を伴う輪紋状になっており、検鏡したところ炭疽病菌分生子が確認されたので <b>炭疽病</b> と診断した。
8月10日	宇都宮市	さつまいも	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定植1か月後でも株が小さく、葉が黄色や赤紫を帯びる</li> <li>・ほ場のうち北側半分でスポット的に罹病株が発生。連続した株で発症した箇所が1つあり</li> <li>・罹病株数は8月10日時点で約20株（外観）</li> </ul>	地下茎部にかいよう状の黒斑があり、組織培養で放線菌と運動性の短桿菌混合の菌泥が噴出したことにより病徴と併せて <b>立枯病</b> と診断した。
8月12日	宇都宮市	きく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月8日に1割程度立ち枯れ症状が見られ、10日頃には5割程度症状がみられるようになった。発生株は根張りおよび伸長がやや不良である。</li> <li>・京わらべは、昨年度も1割程度立ち枯れ症状が見られた。</li> <li>・隣接品種では、アザミウマ、タバコガの発生が一部で散見され、随時薬剤散布を行っている。</li> </ul>	根・茎表面に白い菌糸塊を確認。茎の地際部、根の一部に褐変が見られた。導管に褐変他、異常はなかった。イムノストリップ診断では疫病( <i>Phytophthora</i> 属菌)陰性。組織分離したところ、 <i>Pythium</i> 属菌を確認した。発生状況を踏まえ、 <i>Pythium</i> 属菌による立枯症状と判断し、 <b>ビシウム立枯病</b> と診断した。
8月17日	大田原市	きゅうり	7月下旬頃から発生が見られ、6～7年前から見られるようになった。症状は、花落ちから水浸状に腐り、白いカビが発生する。菌核は確認できなかった。ほ場では、灰色カビ病、炭疽病などの発生が見られる。	花落ちの黒色のシワの部分に分生胞子塊が付着しており、検鏡とPCR診断により <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> の分生胞子であることを確認した。病態が進んだものは組織に運動性の桿菌を伴い、急速に軟化が進み、 <i>Fusarium</i> 等の菌糸も着生している。主要因は特定できず複合的な感染が考えられる。
8月17日	大田原市	しょうが	収穫したショウガで腐れが見られる。茎部から枯れ込み塊茎部が犯されている。	直接検鏡及び組織培養により運動性や形態で複数種の細菌が確認された。細菌による <b>腐敗病</b> と診断した。
8月19日	宇都宮市	ネギ	夏どり栽培、現在収穫中。湿害対策のため持続型土壌酸素供給剤（オキソパワー5）を施用。	外皮に担子菌類が見られるが、内部には達しておらず、病原菌の可能性は低いと考えられた。根元から2～3cmに水浸状の腐敗部があり、組織分離の結果、複数種の細菌、 <i>Fusarium</i> 属菌が確認されたが、本症状の原因かは特定はできなかった。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
8月19日	宇都宮市	水稻	8月上旬、出穂期頃から葉の黄化が見られるようになった。	培養の結果、 <b>擬似紋枯症</b> を引き起こす原因である <i>Rhizoctonia</i> 属菌が分離され、検鏡により菌核も確認した。 また、葉の上部の黄変色は、ほ場の端が円状に発生している所を見ると、落雷による可能性も考えられる。
8月24日	下野市	きゅうり	<ul style="list-style-type: none"> <li>定植時から萎れる苗がいくつかあり、徐々に増えた印象。</li> <li>一週間前（天候が崩れる前後）頃から主枝のピンチと側枝の整理、葉かきを行ったところ、一気に萎れが進み、曇天日でも目立つようになった。</li> <li>発生はハウス入り口付近にまとまって多数、他に、ハウス内に5~10株程度まとまって発生している箇所がいくつかある状況。</li> </ul>	細根が脱落し、根の一部が帯状の黒褐色斑、先端部が黒褐変して切れている。地際から根にかけて微小黒点があり、台木接合部に多く腐敗も進んでいる。病斑部の直接検鏡により <i>Phomopsis</i> の分生子が確認されたため、 <b>ホモブシス根腐病</b> と診断した。
8月24日	上三川町	ばら	<ul style="list-style-type: none"> <li>7月上旬に枝の折倒しを実施した後から、徐々に株全体の黄化、立ち枯れ症状がみられるようになった。</li> <li>発生株はベンチ全体に転々とみられ、10株程度発生している。尚、1品種（1ベンチのみ）のみ発生している。</li> <li>管内他ほ場でも、定植後高温下で折り倒しを実施した際に、同症状が発生する事例が2件程度みられており、毎年数件の発生がある。</li> </ul>	茎の地際部および根に褐変腐敗が見られた。イムノストリップ診断 ( <i>Phytophthora</i> 属菌) で疫病陽性となった。よって <i>Phytophthora megasperma</i> による <b>疫病</b> と診断した。
8月26日	芳賀町	いちご	<ul style="list-style-type: none"> <li>1万5千本枯れており、主に梅雨あけ後に挿した物が多い。根が張っていない苗も多い。</li> <li>35穴のポットを使用しており、株が混んでいる。</li> </ul>	地上部が枯れていないものでも根の褐変や根量が少ないものがあつた。健全なものを含む10株についてクラウンを組織培養したところ4株から <i>Fusarium oxysporum</i> が確認されたため萎黄病と診断した。
8月26日	真岡市	きく	<ul style="list-style-type: none"> <li>立ち枯れ症状が出ている。</li> </ul>	根に褐変腐敗および根量減少を確認。イムノストリップ診断では疫病 ( <i>Phytophthora</i> 属菌) 陰性。 組織分離したところ、8/30に <i>Fusarium oxysporum</i> (キク萎凋病) と思われる <i>Fusarium</i> 属菌を確認した。 <i>Pythium</i> 属菌や <i>Rhizoctonia</i> 属菌は確認できなかった。6日後には紫色コロニーと黄色コロニーが形成された。検鏡の結果、紫色のコロニーは <i>Fusarium oxysporum</i> ( <b>キク萎凋病</b> )、黄色のコロニーは <i>Fusarium solani</i> ( <b>キクフザリウム立枯病</b> ) と同定した。よって <i>Fusarium</i> 属菌による立枯症状、キク萎凋病およびキクフザリウム立枯病と診断した。
8月29日	下野市	いちご	8/30 J A と巡回した際、萎れる株が見られた。葉柄の株元が赤くなっているのが特徴という。過日クラウンを切ってみたら、褐変も見られた。	根の一部が黒褐変しクラウン断面は赤褐変。イムノストリップ診断Phyt疫病陰性。根の組織に <i>Pythium</i> 菌の卵胞子が確認できる。クラウンから <i>Pythium</i> 菌が誘導されたため、 <i>Pythium</i> 菌による <b>根腐病</b> と診断した。
8月30日	下野市	いちご	とちあいかには炭疽病に大型斑点が見られやすいと説明した後、苗間を確認したら赤色に葉焼けした物の中に、黒色の大型病斑を発見した。また、通常の小斑点の病斑も見られた。	<i>Colletotrichum gloeosporioides</i> が確認されたため <b>炭疽病</b> と診断した。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
8月30日	下野市	いちご	8月30日にJA担当者として巡回した際、通常の小斑点病斑の他に、大型病斑も点在していることを確認した。 この大型病斑がシングラータによるものか、アキティータムによるものか、確認を依頼したい。	湿潤下保持で、クラウンに <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> が確認されたため炭疽病と診断した。
8月31日	那須塩原市	水稲	糊熟期を迎えてきているが、全体的に籾色が悪く、所々提供試料のように不稔が目立つ株が見られる	褐変部を培養したところ、細菌が見られた。種子伝染性病害（もみ枯細菌病、苗立枯細菌病）を確かめるため、PCRを行ったところ、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病は陰性であった。分離した細菌をAPI20NEで検定したところ、 <i>Erwinia</i> 属が分離されたため、 <b>内穎褐変病</b> と考えられる。強風や雨等で侵入したのではないかと考えられる。
9月1日	宇都宮市	なし	・豊水樹において、収穫直前に関わらず黄変が散見され、一部には落葉症状が激発している。 ・黄変落葉した葉、及び周辺の樹上にある葉には不整形の暗灰色様病斑が確認される。	炭疽病病原菌 <i>Colletotrichum fioriniae</i> 及び <i>Glomerella cingulata</i> の検出プライマーを用い、PCR診断したところ、 <i>G. cingulata</i> に特異的なバンドが検出された。よって両地点とも <i>G. cingulata</i> によるなし炭疽病と診断した。
9月3日	宇都宮市	いちご	・育苗苗の茎及びクラウンに黒い病斑 ・クラウンの付近から出ている根のうち発根部から数cm黒くなっているものがある ・一部の根は先端が黒くなっている ・育苗ほ場に似た症状の株あり（聞き取り）	クラウンを湿潤下保持し、 <i>Colletotrichum gloeosporioides</i> と考えられる分生子が確認されたため炭疽病と診断した。
9月7日	宇都宮市	トマト	発病確認日 令和3年9月7日 同一は種日の苗に点在 急激な増加は認められない 症状 ①接木部から褐変が始まり、次第に上部に褐変が進む 症状 ②下葉からしおれを伴い黄変し、褐色の斑点がある。	地際からえそ状の黒褐色病斑、茎に亀裂がみられる。検鏡により、亀裂からは菌泥が流失し、運動性の桿菌が確認できる。イムノストリップ診断ではかいよう病（Cmm）、青枯病（RS）陰性。細菌による病害と診断した。
9月7日	真岡市	いちご	8月頭から新芽が展開してこず、根っこが動いていない様子だったため、ポットから出して確認した。その結果根が伸びていなかった。 その後、培土が悪影響を及ぼしているのではと考え、根が伸びていないポットの下の方の土を入れ替えた。結果、根が伸び始めたものもあった。	根が黒色水浸状。クラウン部の組織分離により検鏡により卵孢子確認。イムノストリップ診断で疫病（Phyt）が陽性であったため疫病と診断した。
9月7日	真岡市	いちご	症状は広がる様子はない。虫はできるだけ近づけないようにしている。4トレイ（1トレイ25本）に1本ぐらいで発症。育苗初期から症状有り。親苗にもでていること有り。	新葉の黄化。PCR診断でファイトプラズマ（ML0）は陰性であった。
9月28日	芳賀町	トマト	下葉の黄化。圃場全体に発生。黄化病を懸念しており診断を依頼したい。	PCR診断したところ、T o C V陰性であったため、黄化病でなく別の要因と考えられた。
9月28日	宇都宮市	トマト	ポット鉢上げから7～10日以降、台木部分にひび割れを生じ、進行すると台木全体がかさぶた状になる。 また、台木部分には気根が多く認められる。	分離細菌をイムノストリップ診断したところ、RS（青枯病）陰性、Cmm（かいよう病）についてPCR診断したところ陰性であった。組織培養したところ、高確率で分離される菌は確認できなかったため特定できなかった。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
9月28日	益子町	セダム (鉢物)	8月下旬より症状が見られた。 初期は、葉が円心状に白くなり、やがて泥はねした様な黒斑が葉の両面に発生する。 ほ場全体に発生している。	根に褐変腐敗などの外観異常は見られなかった。葉の黒斑部分を組織分離したが、複数の菌類が分離され、病原菌の同定にはいたらなかった。 外観症状から、すす病が疑われる。カイガラムシやアブラムシ、コナジラミ類などの吸汁害虫の排泄物が葉に付着し、これにかびが二次的に発生したものである。
9月30日	芳賀町	トマト	下葉の黄化。圃場全体に発生。黄化病を懸念。	1. 症状：葉の黄化 2. 診断手法：PCR診断 3. 結果：ToCV陰性であったため、他の要因が考えられた。
10月7日	壬生町	トマト	<発生状況> 9月下旬～10月上旬付近から発生確認。 ハウス内に点在して1～2株/10a（発生数は少ない） 隣どうして連続しての発生は無し。 管内の農家で6戸程度発生を確認。いずれも同様の症状で発生数は少ない。 <症状> 定植後、しばらくして生育停滞と草勢低下が見られる。 植えた直後は活着したように見えるが、1～2段果房の肥大と3段開花頃から草勢が低下し細くなる。 維管束に目立った褐変は無し。 根の表面がコルク化または部分的に褐変。コルク化したようになった根の断面は白。	1. 症状：生育停滞と草勢低下。根のコルク化、褐変。 2. 診断手法：イムノストリップ診断、PCRで診断、組織培養。 3. 結果：根をイムノストリップ診断したところPhy(疫病)陰性、Cmm(かいよう病)が陽性を示したため、PCRで診断したところCmm(かいよう病)陰性であった。組織培養したところ高確率で生育するものがなかったため、病原性は特定できなかった。
10月7日	栃木市	トマト	前項と同じ	1. 症状：生育停滞と草勢低下。根のコルク化、褐変。 2. 診断手法：イムノストリップ診断、PCRで診断、組織培養。 3. 結果：根をイムノストリップ診断したところPhy(疫病)陰性、Cmm(かいよう病)が陽性を示したため、PCRで診断したところCmm(かいよう病)陰性であった。組織培養したところ高確率で生育するものがなかったため、病原性は特定できなかった。
10月7日	日光市	いちご	9月中旬から配布開始したが、展開葉の斑点があり、炭疽病でないかとの話があり現地確認したが判別がつかなかったため。	1. 症状：赤色病斑 2. 診断手法：組織培養 3. 結果： <i>Pestalotia</i> 属と考えられる分生子が確認されたため、ペスタロチアによる病斑と診断した。
10月11日	宇都宮市	たまねぎ	・10/7頃から症状あり ・苗床全体ではなくスポット的に症状あり	1. 症状：苗の枯れ、腐敗 2. 診断手法：イムノストリップ診断、検鏡、組織培養、API診断 3. 診断手法：イムノストリップ診断で疫病陰性。腐敗部から菌泥が流出し、検鏡により運動性の桿菌であることが確認された。組織分離した結果、コロニーは全て運動性の桿菌であった。単コロニーについてAPI診断をしたところ <i>Erwinia carotovora</i> subsp. <i>Carotovora</i> に近い結果が得られたためたまねぎ軟腐病と診断した。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
10月11日	宇都宮市	たまねぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>10/7頃から症状あり</li> <li>苗床全体で症状が見られる</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 症状：苗の枯れ、腐敗</li> <li>2. 診断手法：イムノストリップ診断、検鏡、組織培養、API診断</li> <li>3. 結果：イムノストリップ診断で疫病陰性。腐敗部から菌泥が流出し検鏡により運動性の桿菌であることが確認された。組織培養した結果、コロニーは全て運動性の桿菌であった。単コロニーについてAPI診断をしたところリストの病害菌に一致、近いものはなく特定できなかった。</li> </ol>
10月13日	宇都宮市	トマト	本葉が黄化し、しみ状の黒い斑点ができる	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 症状：葉に褐色、周辺が黄色の病斑。部分的に水漬状で穴有り。台木部茎断面は褐変なし。</li> <li>2. 診断手法：イムノストリップ診断、組織培養、API診断</li> <li>3. 診断手法：イムノストリップ診断Cmm(かいよう病)陰性。湿潤下で病斑はシミ状に拡大。組織培養した結果、運動性のある短桿菌が高確率に分離され、API診断を行ったが一致するものはなく特定できなかった。</li> </ol>
10月15日	那須烏山市	かんしょ	さつまいもの株元が褐変し、その周辺に白いカビが発生。芋の茎葉付け根付近から新芽が発生している。茎葉は健全である。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 症状：茎は筋状にくぼんで、進行している部分は裂け、導管に沿って黒変。いもは「なり首」に亀裂。</li> <li>2. 診断手法：検鏡、組織培養</li> <li>3. 結果：<i>Fusarium oxysporum</i> と考えられる三日月型大型分生子が確認されたため、<b>つる割病</b>と診断した。</li> </ol>
10月29日	真岡市東大島	いちご	10月上旬頃から、新葉が萎縮する症状が現れた。被害葉は1枚のみの場合や、2枚連続する場合があるが、これから展開する葉においては症状がなく、回復傾向にある。発生割合は50株/2万株。昨年同様の症状が発生しており、育苗ハウス内の予備苗でも発生したため、モベントによる薬害(育苗時に散布)を疑ったが、本年はモベントを散布していない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 症状 下位葉に部分的に縮れが見られた。</li> <li>2. 診断手法 (1)組織解剖 (2)24hベルマン法</li> <li>3. 結果 (1)(2)ともに植物寄生性線虫は確認されなかった。</li> </ol>
11月1日	高根沢町	トマト	生長点付近の萎凋症状 2から3本仕立てになっているが、そのうち1本だけ症状が出てそのほかは健全(目視では)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 症状：葉がこより状に萎縮</li> <li>2. 診断手法： (1)イムノストリップ診断。 (2)挿し芽による成長確認</li> <li>3. 結果： ウイルス病ではないと考えられた。 (1)TYLCV, TMV, CMV, TSWV陰性 (2)健全な新葉が展開</li> </ol>
11月2日	さくら市	ハイブリッドスターチス	萎縮のような生育不良株が多発している。被害株はハウス内に点在し、坪状に発生している。被害株の葉は赤褐色をしている。根の細根の張りが悪く、細根にこぶ状のものが見られる株もある。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 症状 株全体の萎縮、葉の変色、細根の脱落、根のこぶ、根内部の褐変を確認。</li> <li>2. 診断手法 イムノストリップ診断で疫病、青枯病を実施。PDA培地、WA培地、NA培地で根の組織分離を実施。</li> <li>3. 結果 疫病、青枯病陰性。PDA培地の複数のコロニーから<i>Fusarium</i>属菌を分離。NA培地ではコロニー見られず。<i>Fusarium</i>属菌による土壌病害の可能性はある。こぶについて発生原因不明。</li> </ol>

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
11月5日	足利市	トルコギキョウ	抽台後、4～6節目の葉身に大型斑点症状が発生した。害虫については、ヨトウムシ類、コナジラミ類が散見された。例年、数株出る症状ではあるが、今年度は、発生頻度が高い。	1. 症状 葉の一部にえそ症状 2. 診断手法 えそ症状が現れている周辺の葉を採取し、イムノストリップ診断を実施。 3. 結果 アイリス黄斑ウイルス (IYSV) で陽性反応。よってIYSVによるえそ輪紋病と診断した。
11月8日	那須町	トマト	10月中旬から1本枯れる株が発生、その後10月下旬から3割程度発生し、現在半分以上は枯れている状態。 去年は11月定植で大玉トマトのかれんと桃太郎ファイトを栽培して、2月にかれんのみ同じ症状が発生していた。調べて見るとかれんは根腐萎凋病の耐性がなかったのので、根腐萎凋病の可能性が高い。	1. 症状：枯れ、根と維管束が褐変 2. 診断方法：組織培養 3. 結果：高確率で <i>Fusarium oxysporum</i> が確認されたためトマト萎凋病と診断した。
11月9日	栃木市	大豆	アオクサもしくはミナミアオカメムシ幼虫が集団で加害、成虫も1匹確認。 その他にもイチモンジカメムシもほ場内で確認。 別生産者は場でも同様の発生を確認。 完全に乾いてない半青立ちのような大豆にて吸汁している。 近くに雑木林等は片方の生産者はあり、別の生産者は無し	1. 症状 大豆（莢）と共に幼虫が持ち込まれた。 2. 診断手法 室内で飼育し、成虫にして判定した。 3. 結果 形態的特徴から、 <b>ミナミアオカメムシ</b> と判断した。
11月10日	栃木市	かんしょ	7月、8月のつる返しでは異常がなく、収穫時期に判明。ただし、昨年度と比較し茎の太りが悪く、収量も少ない（昨年の半収程度）	1. 症状：内部の褐変・腐敗。外皮の大型黒斑 2. 診断手法：組織培養 3. 結果：放線菌、細菌が分離され、病徴から <b>立枯病</b> と診断した。
11月11日	那須烏山市	かんしょ	さつまいも収穫時にいもの腐敗を発見。症状は、いものなり首～いも上部にかけて、腐敗が起きている。	1. 症状：内部の褐変腐敗、表面の黒斑 2. 診断手法：組織培養 3. 結果： <i>Fusarium</i> 属と考えられる分生子形成。バックグラウンドは運動性のある桿菌。腐敗が進んでから糸状菌が繁殖したものか主要因は不明。
11月11日	真岡市	なす	定植後、生育するにつれて葉が変形し、生育も弱く、果実も変形が多い。ほ場内に数本見られる。広がっている様子はない。その他、定植前から9月にかけて、ハダニ、スリップス発生。	1. 症状：葉の変形、生育不良 2. 診断方法：検鏡、PCR診断、組織培養 3. 結果：ハダニ、チャノホコリダニは検鏡の結果確認されなかった。ファイトプラズマMLOについてPCR診断したところ葉、花とも陰性であった。
11月15日	那須市	きく	R1年にアザミウマの薬剤耐性を調査してもらい、ミカンキイロアザミウマの防除を徹底してきた。 神馬の方が茎えそ症状が早く表れる。 施設は4区画に別れ、周年で栽培。	1. 症状 茎、葉柄にえそ症状を確認。 2. 診断手法 トマト黄化葉巻病 (TYLCV)、キク茎えそ病 (CSNV) のPCR診断を実施。 3. 結果 TYLCV陰性。CSNV陽性。 <b>キク茎えそ病</b> と診断。 農振で実施されたTYLCV簡易検査キットでの陽性反応は、「かなり薄かった」との聞き取り結果から、偽陽性反応と考えられる。

受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
11月19日	塩谷町	トマト	育初期から根張りが悪く、しおれの症状が続く。導管が褐変。樹勢が弱いままで、太くならず、遮光しないとしおれ症状がでてしまう。 以前、かいよう病と診断され、一部の培地を交換した。症状はほ場全体に発生。 コナジラミが発生しており、黄化病の可能性もある。イムノストリップ：TYLCV、Cmm陰性	1. 症状：葉の黄化、導管の一部褐変（株元）、根の生育不良 2. 診断手法：組織培養、PCR診断 3. 結果：高確率に分離されるものはなかった。ToCV陽性陽性であったため <b>黄化病</b> と診断した。
11月26日	高根沢町	いちご	奇形葉の発生している苗（3株）が発生した。	1. 症状：新葉の奇形、黄化 2. 診断手法：クラウンの断面観察、エタノール浸漬簡易診断法 3. 結果：導管及び根の褐変は認められない。エタノール浸漬簡易診断したが菌糸の生育は認められなかった。萎黄病ではないと診断。
11月30日	宇都宮市	やまのいも	・50年ほど前から栽培しており、近年は同一ほ場での連作が続いている。 ・近年被害が増えてきていたが今作は特に被害が大きくなった。	1. 症状 水洗し土を除去すると、イモ部に多数のコブが生じており、部分的に腐敗していた。 2. 診断手法 組織分離及び検鏡 3. 結果 <b>ネコブセンチュウ</b> 属の線虫が多数寄生していた。雌成虫の会陰門の形状及び雄成虫の頭部形態からアレナリア本州型と推定される。
12月3日	塩谷町	トマト	今作、生育初期から根張りが悪く、しおれの症状が続く。導管が褐変。樹勢が弱いままで、太くならず、遮光しないとしおれ症状がでてしまう。 前作、かいよう病と診断され、一部の培地を交換した。症状はほ場全体に発生。 11月診断依頼で、黄化病陽性、褐変部から細菌がでた。再度褐変部から病原菌が出るか見てほしい。 イムノストリップ：TYLCV、Cmm陰性	1. 症状：しおれ、茎の空洞、根と茎導管の一部褐変。 2. 診断手法：イムノストリップ診断、分離株のPCR診断 3. 結果：イムノストリップ診断で茎、根がCmm（かいよう病）陽性であった。分離株のPCR診断でCmm陽性であったため、 <b>かいよう病</b> と診断した。
12月9日	さくら市	にら	・捨て刈り後伸びてきた葉が黄色く、生育が弱い ・東西ハウス内の一番南側の列に顕著 ・地下部にネダニ、ヤスデが見られ、やや腐敗臭がする ・ネダニ、ヤスデ以外に小さく白い幼虫が見られる	1. 症状 地際部や外葉の一部が水浸状に軟腐し、腐敗臭があり、腐敗部にヤスデや腐食性ダニ類が確認された。 2. 診断手法： 検鏡及び分離細菌のAPI診断 3. 結果： 検鏡の結果、害虫の生息状況から本症状の原因ではないと診断。株元の外から数枚の葉が水浸状に腐敗しており、検鏡で運動性のある桿菌の菌泥がみられた。単菌分離した株をAPI診断したところ、 <i>Erwinia rhapontici</i> に一致したものと <i>Erwinia carotovora subsp. Carotovora</i> に近いものが確認されたため、 <b>Erwinia属による腐敗</b> と診断した。
12月22日	日光市	にんじん	圃場の東側半分（上写真右側）で発症。東側で収穫したにんじんの9割に黒いくぼみがある。 西側半分では症状が見られない。	1. 症状：根部主に上部の水漬状褐変、くぼみ。地上部の枯れ。 2. 診断手法：組織培養、API診断 3. 結果：組織培養の結果、細菌が高率に分離された。単コロニーについてAPI診断を行ったところ、一致するものはかなく原因は不明。



受付日	発生場所	作物名	発生状況	結果詳細
12月23日	小山市	トマト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月上旬ぐらいから萎れるようになった。初期は、曇雨天後の晴天日に萎れ、徐々に葉が黄化していった。</li> <li>・症状が出ている株は、定植4,200株のうち、現在50株程度、ハウス内に点在している。萎れ株は生長点を摘除した。</li> <li>・地際部の褐変、一部根の褐変腐敗が見られる。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 症状：根の褐変（トラ縞模様）、脱落。</li> <li>2. 方法：イムノストリップ診断、組織培養、PCR診断、API診断</li> <li>3. 結果：イムノストリップ診断でRS(青枯病)、Phyt(疫病)：陰性。Cmm(かいよう病)陽性あり。組織培養した結果、茎、根の組織から高確率で細菌が分離された。分離株をPCR診断したところCmm陽性であったため、<b>かいよう病</b>と診断した。</li> </ol>

## 7 病害虫侵入警戒調査

### 1) チチュウカイミバエ・ミカンコミバエ種群・ウリミバエ・コドリング・アリモドキゾウムシ・アフリカマイマイ侵入警戒調査

我が国未発生害虫の発生を警戒するため、侵入の危険性が高いと推察される地点において、早期発見のため誘引トラップを設置して調査した。

#### (1) チチュウカイミバエの調査

フェロモン剤を取り付けたスタイナー型トラップを高さ約1mに設置し、4～11月にかけて調査したが、対象とする虫の誘殺はなかった。

表 チチュウカイミバエの調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
4～11月	大田原市戸野内	果樹栽培地	1	0
〃	芳賀町稲毛田	果樹栽培地	1	0
〃	宇都宮市築瀬町	宇都宮市中央卸売市場	1	0
〃	宇都宮市瓦谷町	農業試験場本場	1	0
〃	栃木市大塚町	いちご研究所	1	0
〃	小山市下河原田	栃木県南公設卸売市場	1	0
合計	6	6	6	0

#### (2) ミカンコミバエ種群・ウリミバエの調査

フェロモン剤を取り付けたスタイナー型トラップを高さ約1mに設置し、4～11月にかけて調査した。ミカンコミバエ種群とウリミバエはフェロモン剤が同一であるため両種を兼ねた調査とした。

調査期間を通じて対象とする虫の誘殺はなかった。

表 ミカンコミバエ種群・ウリミバエの調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
4～11月	宇都宮市瓦谷町	農業試験場本場	1	0

#### (3) コドリングの調査

フェロモン剤を取り付けたジャクソン型トラップを高さ約1mに水平に設置し、4～11月にかけて調査したが、対象とする虫の誘殺はなかった。

表 コドリングの調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
4～11月	宇都宮市瓦谷町	農業試験場本場	1	0

(4) アリモドキゾウムシの調査

フェロモン剤を取り付けたロート型トラップを設置し、5～10月にかけて調査したが、対象とする虫の誘殺はなかった。

表 アリモドキゾウムシの調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
5～10月	宇都宮市瓦谷町	農業試験場本場	1	0

(5) アフリカマイマイの調査

誘引剤を入れたペットボトルを地面に固定して設置し、6月と9月に調査したが、対象とする虫の誘殺はなかった。

表 アフリカマイマイの調査期間、調査場所及び誘引状況

設置期間	調査場所	トラップ設置場所	設置数	誘殺数
6・9月	宇都宮市竹林町	河内庁舎	1	0

## 2) りんご火傷病発生警戒調査

りんご及びなしの発生予察調査において、りんご火傷病を調査項目として加え、定期的に産地の発生警戒調査を行った。

表1 調査期間、調査場所及び誘引状況

調査期間	調査場所	調査樹種	調査地点数	発生葉率(%)
5~8月	矢板市長井	りんご	2	0
"	宇都宮市石那田町	りんご	2	0
"	大田原市湯津上	なし	2	0
"	那須烏山市中山	なし	1	0
"	高根沢町大谷	なし	1	0
"	市貝町続谷	なし	1	0
"	芳賀町稲毛田	なし	2	0
"	芳賀町上稲毛田	なし	1	0
"	宇都宮市平出町	なし	1	0
"	宇都宮市板戸町	なし	2	0
"	鹿沼市栃窪	なし	1	0
"	小山市荒井	なし	1	0
"	小山市南飯田	なし	1	0
"	佐野市下羽田町	なし	1	0
"	佐野市村上町	なし	1	0
合計	14	-	20	0

## 3) ウメ輪紋ウイルス発生警戒調査

うめの苗木等栽培園地（小山市）において、6月に現地調査を実施した結果、発生は認められなかった。

### 第3章 予察調査

#### 1 病害虫発生予察調査における地域区分図

##### 1) 市町と県地域区分図



##### 2) 農業振興事務所担当地域区分図



## 2 予察調査ほ場及び乾式予察灯等の設置状況

### 1) 普通作物病虫害発生予察ほ場

#### (1) 水 稲

地域名	調査地点	作型	作付品種	
県北部	那須	那須町沼野井	早植	コシヒカリ
		那須塩原市埼玉	早植	コシヒカリ
		那須塩原市東赤田	早植	コシヒカリ
		大田原市戸野内	早植	あきだわら
		大田原市桜木沢	早植	コシヒカリ
		大田原市実取	早植	なすひかり
		大田原市蛭畑	早植	コシヒカリ
	塩谷 南那須	那珂川町小川	早植	コシヒカリ
		那須烏山市滝田	早植	コシヒカリ
		那須烏山市福岡	早植	コシヒカリ・コシヒカリ(直播)
		塩谷町玉生	早植	コシヒカリ・あさひの夢
		矢板市矢板	早植	コシヒカリ
		さくら市上河戸	早植	コシヒカリ
		さくら市蒲須坂	早植	コシヒカリ
高根沢町花岡	早植	コシヒカリ		
県中部	芳賀	茂木町飯	早植	あさひの夢
		市貝町市塙	早植	コシヒカリ・とちぎの星
		益子町北中	早植	コシヒカリ・あさひの夢
		芳賀町祖母井	早植	コシヒカリ
		真岡市亀山	早植	コシヒカリ
		真岡市青田	早植	とちぎの星
	河内	宇都宮市逆面町	早植	コシヒカリ
		宇都宮市横山町	早植	コシヒカリ
		宇都宮市雀宮町	早植	コシヒカリ
		上三川町上三川	早植	コシヒカリ
	上都賀	日光市小林	早植	コシヒカリ
		日光市木和田島	早植	コシヒカリ
		鹿沼市酒野谷	早植	コシヒカリ
		鹿沼市久野	早植	コシヒカリ
県南部	下都賀	下野市小金井	早植・普通植	あさひの夢・とちぎの星
		小山市小薬	早植	とちぎの星
		小山市石ノ上	早植	コシヒカリ
		壬生町助谷	早植	コシヒカリ
		栃木市西方町本郷	早植	コシヒカリ
		栃木市惣社町	早植	あさひの夢
		栃木市大平町真弓	早植・普通植	コシヒカリ、あさひの夢
		栃木市藤岡町富吉	早植	コシヒカリ、あさひの夢
	安足	佐野市堀米町	早植	とちぎの星
		足利市県町	普通植	あさひの夢

## (2) 麦 類

(R3年産)

地域名		調査地点	作付品種	麦種
県北部	那須	大田原市南金丸	ニューサチホゴールド	二条大麦
		大田原市実取	ニューサチホゴールド	二条大麦
	塩谷 南那須	那須烏山市大桶	シュンライ	六条大麦
		塩谷町大久保	シュンライ	六条大麦
		さくら市松山新田	イワイノダイチ	小麦
		さくら市葛城	シュンライ	六条大麦
		高根沢町石末	ニューサチホゴールド	二条大麦
県中部	芳賀	芳賀町下高根沢	ニューサチホゴールド	二条大麦
		芳賀町西高橋	シュンライ	六条大麦
		真岡市根本	ニューサチホゴールド	二条大麦
	河内	宇都宮市上田町	ゆめかおり	小麦
		宇都宮市平出町	ニューサチホゴールド	二条大麦
	上都賀	鹿沼市楡木	シュンライ	六条大麦
県南部	下都賀	小山市卒島	ニューサチホゴールド	二条大麦
		小山市小袋	イワイノダイチ	小麦
		壬生町中泉	シュンライ	六条大麦
		栃木市大塚町	ニューサチホゴールド	二条大麦
		栃木市藤岡町蛭沼	さとのそら	小麦
	安足	佐野市並木町	もち絹香	二条大麦
		足利市 百頭町	ニューサチホゴールド	二条大麦

## (3) 大 豆

地域名		調査地点	作付品種
	那須	那須塩原市鍋掛	里のほほえみ
		大田原市寒井	里のほほえみ
		大田原市実取	里のほほえみ
	塩谷 南那須	那須烏山市三箇	里のほほえみ
		塩谷町大宮	里のほほえみ
		矢板市安沢	里のほほえみ
		高根沢町大谷	里のほほえみ
県中部	芳賀	益子町前沢	里のほほえみ
		芳賀町下延生	里のほほえみ
	河内	宇都宮市海道町	里のほほえみ
		宇都宮市下岡本	里のほほえみ
	上都賀	日光市木和田島	里のほほえみ
県南部	下都賀	小山市梁	里のほほえみ
		小山市小袋	里のほほえみ
		栃木市寄居町	里のほほえみ

2)野菜病害虫発生予察ほ場

(1)いちご 調査 1~4月、6~12月

地域名		調査地点	作付品種 (1~4月)	作付品種 (6~12月)
県北部	那須	大田原黒羽向町	とちおとめ・とちあいか	とちあいか
		大田原市実取	とちおとめ・とちあいか	とちおとめ・とちあいか
	塩谷 南那須	那珂川町小川	とちおとめ・とちあいか	とちおとめ・とちあいか
		さくら市富野岡	とちおとめ	とちおとめ
		高根沢町大字石末	とちおとめ	とちおとめ
	芳賀	真岡市大田和	とちおとめ	とちおとめ・とちあいか
		真岡市西沼	とちおとめ	とちおとめ
		真岡市田島	とちおとめ	とちおとめ・とちあいか
		真岡市物井	とちおとめ	とちおとめ
		真岡市大根田	とちおとめ	とちおとめ
		真岡市古山	とちおとめ	とちおとめ・とちあいか
		真岡市砂ヶ原	とちおとめ	とちおとめ・とちあいか
	真岡市長沼	とちおとめ	とちおとめ	
	河内	宇都宮市上小倉	スカイベリー	スカイベリー
		宇都宮市羽牛田	とちおとめ・スカイベリー・とちあいか	とちおとめ・スカイベリー・とちあいか
		上三川町上神主	とちおとめ	とちおとめ
	上都賀	鹿沼市塩山町	とちおとめ	とちおとめ
		鹿沼市亀和田町	とちおとめ	とちおとめ
		鹿沼市野沢町	とちおとめ	とちおとめ
	県南部	下都賀	下野市仁良川	とちおとめ・スカイベリー・とちあいか
小山市福良			とちおとめ・スカイベリー・とちあいか	とちおとめ・スカイベリー・とちあいか
小山市小葉			とちおとめ	とちおとめ・とちあいか
壬生町七ツ石			とちおとめ	とちおとめ
栃木市西方町元			とちおとめ	とちおとめ
栃木市西方町本城			とちおとめ	とちおとめ
栃木市国府町			とちおとめ	とちおとめ・とちあいか
栃木市寄居町			とちおとめ	とちおとめ
安足		栃木市大平町牛久	とちおとめ	とちおとめ
		佐野市小中町1	とちおとめ	とちおとめ・とちあいか
		佐野市小中町2	スカイベリー	スカイベリー
		足利市山川町	とちおとめ・スカイベリー	とちおとめ・スカイベリー
		足利市県町	とちおとめ	とちおとめ



## (2) トマト 調査 促成:9月～翌年5月、夏秋:6～8月

地域名		調査地点	作型
県北部	那須	大田原市湯津上蛭田	促成
		大田原市蜂巣	夏秋
		大田原市美原	夏秋
	塩谷南那須	那珂川町久那瀬	促成
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田	促成長期どり
		真岡市西田井	促成長期どり
	河内	宇都宮市新里町	夏秋
		宇都宮市下金井町	夏秋
		宇都宮市鑑山町	促成長期どり
		上三川町上郷	促成長期どり
		上三川町東蓼沼	促成
	上都賀	鹿沼市上日向	促成
		鹿沼市上日向	促成
県南部	下都賀	小山市武井	促成長期どり
		小山市南半田	促成長期どり
		小山市喜沢	夏秋
		小山市武井	夏秋
		壬生町安塚	促成
		栃木市大宮町	促成長期どり
	安足	足利市野田町	促成
		足利市県町	促成

## (3) きゅうり 調査 毎月

地域名		調査地点	備考
県中部	河内	宇都宮市柳田町	
		宇都宮市柳田町	
県南部	下都賀	下野市上古山	
		下野市薬師寺	
		下野市田中	
		小山市東黒田	
	小山市卒島		
安足	佐野市伊保内町		

## (4) にら 調査 1～3月、9～12月

地域名		調査地点	備考
県北部	那須	大田原市奥沢	
		大田原市蛭田	
	塩谷南那須	さくら市箱森新田	
県中部	芳賀	真岡市下籠谷	
		真岡市久下田	
	河内	上三川町上蒲生	
		上都賀	鹿沼市上日向
	鹿沼市塩山町		
県南部	下都賀	下野市薬師寺	
		栃木市惣社町	

## (5)なす 調査 6～9月

地域名		調査地点	作型
県北部	那須	大田原市荒井	夏秋
	塩谷 南那須	那珂川町恩田	夏秋
		さくら市下河戸	夏秋
県中部	芳賀	真岡市長田	夏秋
		真岡市中	夏秋
	河内	宇都宮市鑑山町	夏秋
	上都賀	鹿沼市下石川	夏秋
県南部	下都賀	下野市国分寺町	夏秋
	安足	佐野市小見町	夏秋

## (6)ねぎ 調査 7～10月

地域名		調査地点	調査ほ場数
県北部	那須	大田原市上奥沢	2圃場
県中部	河内	宇都宮市白沢	2圃場
県南部	下都賀	下野市川名子	2圃場
		小山市延島	2圃場

## (7)たまねぎ 調査 3～5月

地域名		調査地点	調査ほ場数
県中部	芳賀	真岡市長島	2圃場
	河内	宇都宮市下桑島	2圃場
		上三川町上三川	2圃場
県南部	下都賀	下野市薬師寺	2圃場

## (8)キャベツ 調査 9～10月

地域名		調査地点	調査ほ場数
県南部	下都賀	小山市東野田	2圃場
		野木町川田	2圃場

## (9)レタス 調査 9～10月

地域名		調査地点	調査ほ場数
県南部	下都賀	小山市田間	2圃場
		野木町川田	2圃場

3)果樹、花き病虫害発生予察ほ場

(1)なし 調査 5~8月

地域名		調査地点	備考
県北部	那須	大田原市湯津上	
		大田原市湯津上	
	塩谷 南那須	那須烏山市中山	
		高根沢町大谷	
県中部	芳賀	市貝町続谷	
		芳賀町稲毛田	
		芳賀町稲毛田	
		芳賀町上稲毛田	
	河内	宇都宮市平出町	
		宇都宮市板戸町	
		宇都宮市板戸町	
上都賀	鹿沼市栃窪		
県南部	下都賀	小山市荒井	
		栃木市岩舟町	
	安足	佐野市下羽田町	
		佐野市村上町	

(2)ぶどう 調査 6~8月

地域名		調査地点	備考
県中部	河内	宇都宮市満美穴町	
県南部	下都賀	栃木市大平町富田	
		栃木市大平町西山田	
		栃木市岩舟町静	
		栃木市岩舟町曲ヶ島	

(3)りんご 調査 6~9月

地域名		調査地点	備考
県北部	塩谷 南那須	矢板市長井	
		矢板市長井	
県中部	河内	宇都宮市石那田町	
		宇都宮市石那田町	

(4)きく 調査 毎月

地域名		調査地点	備考
県北部	那須	大田原市鹿畑	
		大田原市戸野内	
	塩谷 南那須	塩谷町大久保	
		塩谷町大宮	
県中部	芳賀	真岡市飯貝	
		真岡市飯貝	

4) 乾式予察灯設置状況

(1) 白熱予察灯(60W白熱灯)

地域名		調査地点	調査期間
県北部	那須	大田原市戸野内	5月～9月
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	
県南部	下都賀	小山市小葉	
		栃木市大塚町(いちご研究所)	
(調査対象害虫) セジロウンカ、トビイロウンカ、ヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイ、イナズマヨコバイ、ニカメイガ、コブノメイガ、イネミズゾウムシ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ、アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ、コガネムシ類			

5)フェロモントラップ設置状況

(1)ニカメイガ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県中部	芳賀	市貝町赤羽※	5月～8月	稲
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
		上三川町大字梁※		
県南部	下都賀	下野市田中※		
		小山市小葉		
(設置方法) フェロモン剤を取り付けたジャクソン型トラップを高さ約1mに水平に設置				

(2)クモヘリカメムシ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北	塩谷南那須	矢板市玉田※	6月～8月	稲
県中	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)	6月～9月	
		茂木町飯※	6月～8月	
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	6月～9月	
(設置方法) トラップ粘着シート背面を合わせた、両面粘着シート両面にフェロモン剤を1つずつ付け、高さ約1mに粘着面が垂直になるように設置				

(3)ホソヘリカメムシ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	那須塩原市沓掛※	5月～9月	大豆
	塩谷南那須	さくら市長久保※		
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)		
		益子町大字上山※		
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
	上都賀	日光市木和田島※		
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		
(設置方法) トラップ粘着シート背面を合わせた、両面粘着シート両面にフェロモン剤を1つずつ付け、高さ約1mに粘着面が垂直になるように設置				

## (4) チャバネアオカメムシ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	那須烏山市興野※	5月～9月	なし
	塩谷南那須	矢板市平野※		
県中部	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園)	4月～9月	
	河内	宇都宮市古賀志町※	5月～9月	
		宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～9月	
県南部	安足	佐野市上羽田※	5月～9月	

(設置方法)  
フェロモン剤を取り付けたコガネコール・マダラコール用誘引器(黄色)を高さ約1mになるように設置

## (5) ハスモンヨトウ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市実取※	6月～10月	大豆、トマト、きゅうり、なす、いちご、はくさい、きゃべつ、だいこん、レタス、さといも、ねぎ
	塩谷南那須	塩谷町大久保※		
県中部	芳賀	芳賀町下延生※	4月～11月	
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
	上都賀	鹿沼市佐目町※	6月～10月	
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)	4月～11月	
		栃木市大平町※	6月～10月	
		小山市小葉※		
	野木町佐川野※			
安足	足利市瑞穂野町※			

(設置方法)  
フェロモン剤を取り付けたファネルトラップを高さ約1mに設置

## (6) オオタバコガ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	那須町稲沢※	6月～10月	トマト、なす、レタス
	塩谷南那須	那珂川町久那瀬※		
県中部	芳賀	真岡市茅堤※	4月～11月	
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)		
		上三川町上三川※	6月～10月	
県南部	下都賀	壬生町壬生乙※	4月～11月	
		栃木市大塚町(いちご研究所)		

(設置方法)  
フェロモン剤を貼り付けたジャクソン型トラップを高さ約1mに水平に設置

## (7) コナガ

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～11月	はくさい、キャベツ、だいこん
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		

(設置方法)  
フェロモン剤を貼り付けたジャクソン型トラップを高さ約1mに水平に設置

(8) ナシヒメシンクイ、リンゴコカクモンハマキ(病害虫防除員(※)を含む)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	塩谷南那須	高根沢町亀梨※(ナシヒメシンクイのみ)	4月～10月	なし、りんご
		那須烏山市滝	3月～10月 (リンゴコカクモンハマキは5～10月)	
県中部	河内	宇都宮市下田原町		
	芳賀	芳賀町稲毛田(富士山自然公園) (ナシヒメシンクイのみ)		
(設置方法) フェロモン剤を貼り付けたジャクソン型トラップをなし園内の高さ約1mに水平に設置				

6) 粘着板設置状況

(1) 黄色粘着板(有翅アブラムシ類)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市戸野内	4月～10月	大豆、なし、りんご、トマト、きゅうり、なす、いちご、はくさい、きやべつ、だいこん、レタス、さといも、たまねぎ、ねぎ、ゆうがお、きく
県中部	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～11月	
県南部	下都賀	栃木市大塚町(いちご研究所)		
<p>(設置方法) 黄色粘着板を粘着面が高さ約1mになるように水平に設置</p>				

(2) 青色粘着板(アザミウマ類)

地域名		調査地点	調査期間	対象作物
県北部	那須	大田原市戸野内	4月～10月	ぶどう、きゅうり、なす、いちご、たまねぎ、ねぎ、きく
県中部	芳賀	真岡市飯貝		
	河内	宇都宮市瓦谷町(農試本場)	4月～11月	
県南部	下都賀	下野市上古山	4月～10月	
		栃木市大塚町(いちご研究所)	4月～11月	
<p>(設置方法) 青色粘着板を粘着面の中央が高さ約1mになるように垂直に設置</p>				



### 3 各種調査結果

#### 1) 水稻病虫害調査結果

##### (1) 病虫害発生予察ほ場における病虫害の発生状況

調査日：(6月下旬～7月上旬) 6月28日～7月7日 (7月上旬～中旬) 7月8日～12日  
 (7月下旬～8月上旬) 7月30日～8月5日 (8月下旬～9月上旬) 8月23日～9月2日

注) 平成23年10月1日の栃木市合併(旧西方町)により、24年から西方町データを県南部扱いとして平年値を再計算した。23年以前は上都賀郡のため県中部に含まれる。

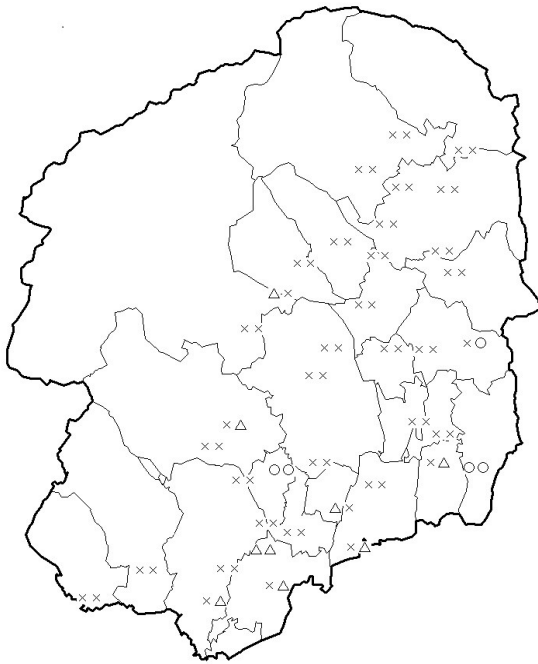
##### ① 葉いもち

(発生株率%)

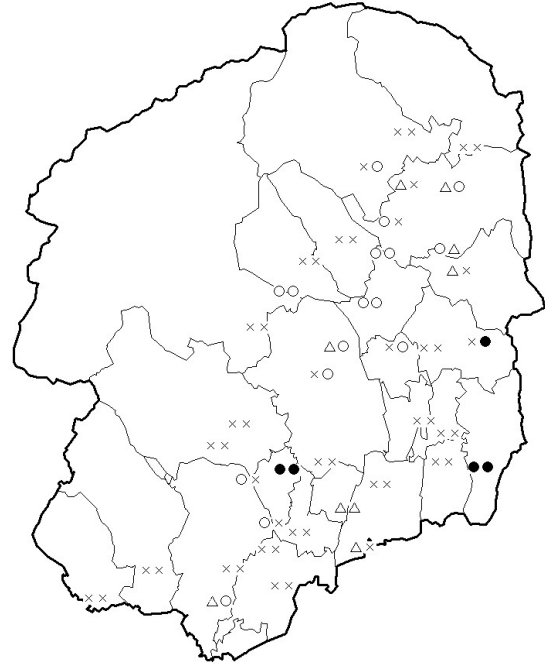
時 期	地 域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
7月上旬	平均	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中 部	0.2	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0
7月中旬	平均	4.4	0.4	0.7	0.7	1.1	0.4	2.1	0.3	0.3	0.2	0.0	0.3
	北 部	2.5	0.4	0.3	1.0	0.0	0.2	1.4	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0
	中 部	5.0	0.8	0.4	0.2	3.1	0.8	1.0	0.2	0.6	0.6	0.0	0.7
8月上旬	平均	5.4	2.5	8.4	2.3	0.5	0.7	5.3	4.3	1.7	1.4	0.1	0.4
	北 部	3.5	2.2	8.2	3.5	0.1	0.3	3.9	4.3	0.2	1.4	0.0	0.1
	中 部	2.5	0.9	0.9	1.8	1.1	1.6	0.6	0.2	0.6	2.0	0.0	0.5
	南 部	12.4	5.2	19.4	1.5	0.3	0.1	14.1	10.0	5.5	0.5	0.4	0.8

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

葉いもち (6月下旬～7月上旬)



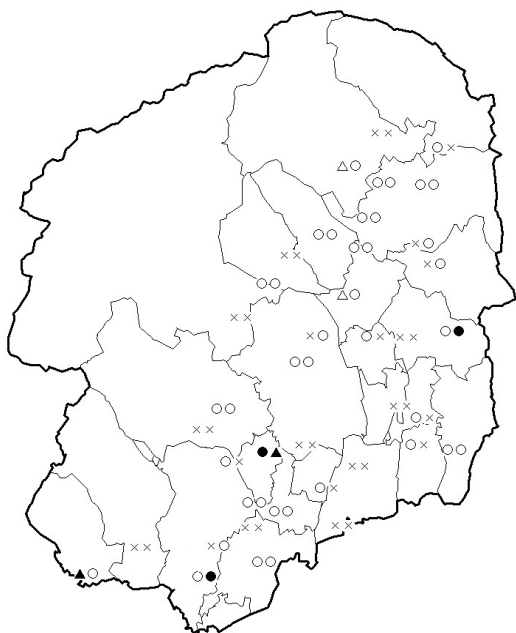
葉いもち (7月上旬～中旬)



国土地理院承認平14総複第149号

程度	無	散見	少	中	多・甚
発生株率(%)	0	1未満	1～20	21～40	41以上
記号	×	△	○	▲	●

葉いもち（7月下旬～8月上旬）



国土地理院承認平14総複第149号

程度	無	散見	少	中	多・甚
発生株率(%)	0	1未満	1～20	21～40	41以上
記号	×	△	○	▲	●

② 穂いもち（発病穂率）

（発生株率%）

時 期	地 域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
8月下旬 ～9月	平均	1.1	0.2	0.5	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	1.0	0.2	0.0	0.1
	北 部	0.9	0.5	0.5	0.1	0.0	0.1	0.3	0.3	3.6	0.5	0.0	0.0
	中 部	1.2	0.1	0.4	0.2	0.1	0.2	0.0	0.1	0.0	0.3	0.0	0.1
	南 部	1.3	0.1	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.1	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

③ 穂いもち（被害度）

（発生株率%）

時 期	地 域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
8月下旬 ～9月	平均	0.71	0.13	0.30	0.04	0.02	0.08	0.06	0.09	0.55	0.10	0.00	0.03
	北 部	0.54	0.30	0.34	0.02	0.01	0.06	0.14	0.21	2.01	0.22	0.00	0.01
	中 部	0.81	0.08	0.28	0.09	0.03	0.15	0.00	0.05	0.02	0.13	0.00	0.05
	南 部	0.77	0.05	0.25	0.01	0.00	0.00	0.00	0.02	0.11	0.02	0.09	0.00

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

$$\text{被害度} = a + 0.66b + 0.26c$$

a : 穂首いもち発病穂率  
 b : 1/3以上の枝梗発病穂率  
 c : 1/3未満の枝梗発病穂率

穂いもち（8月下旬～9月上旬）



国土地理院承認平14総検第149号

程度	無	散見	少	中	多・甚
発生穂率(%)	0	1未満	1~10	11~30	31以上
記号	x	△	○	▲	●

④ 紋枯病

(発生株率%)

時 期	地 域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
7月上旬	平均	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中南部	0.3	0.1	0.4	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0
7月中旬	平均	0.3	0.6	1.6	0.6	0.7	0.1	0.9	1.0	0.3	0.3	0.0	0.4
	北 部	0.2	0.3	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.4
	中南部	0.1	0.4	1.5	0.9	0.3	0.0	0.4	0.0	0.4	0.1	0.0	0.1
8月上旬	平均	2.9	2.3	5.0	3.3	2.3	2.2	2.4	2.9	0.2	1.8	0.8	2.3
	北 部	1.4	1.4	3.8	1.3	0.4	0.6	0.8	2.6	0.2	1.1	1.6	1.5
	中南部	2.0	1.5	0.5	3.4	1.0	4.5	1.1	1.4	0.0	1.6	0.0	1.2
8月下旬 ～9月	平均	5.4	7.7	8.8	15.0	10.4	15.4	4.9	6.6	3.3	3.1	3.7	5.8
	北 部	2.9	7.6	7.6	14.1	5.3	15.3	7.8	8.3	3.2	1.2	6.3	7.3
	中南部	7.3	7.1	7.4	12.3	14.5	17.2	0.2	1.4	1.6	8.2	2.2	6.1

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑤ 縞葉枯病

(発生株率%)

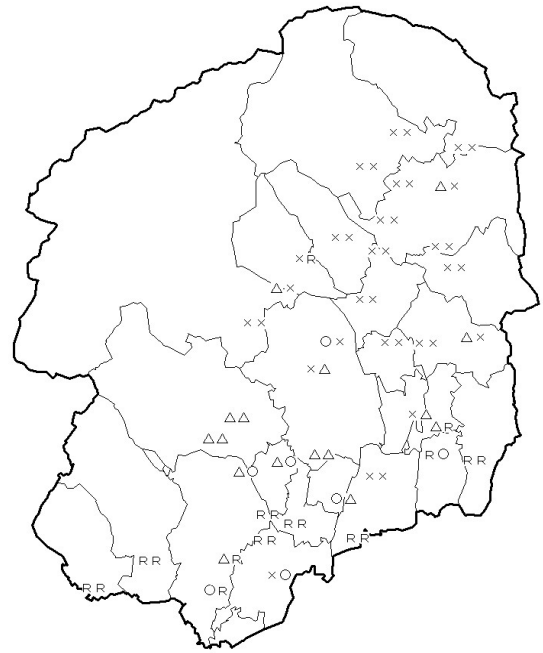
時 期	地 域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
7月上旬	平均	0.2	0.5	0.2	0.1	0.3	0.4	0.5	0.8	1.5	1.1	0.2	0.1
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.04	0.0	0.0
	中南部	0.3	0.4	0.2	0.0	0.2	0.3	0.5	1.0	1.4	0.8	0.0	0.0
7月中旬	平均	0.3	1.1	0.2	1.2	0.7	1.4	0.8	1.7	1.7	1.8	0.9	0.6
	北 部	0.0	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
	中南部	0.5	1.0	0.3	1.4	0.6	1.3	1.3	1.5	1.9	1.2	0.4	0.0
8月上旬	平均	0.4	2.5	0.5	2.2	2.6	1.7	1.6	2.5	4.5	5.6	1.5	2.0
	北 部	0.1	0.4	0.3	0.4	0.9	0.4	0.1	0.4	0.8	0.7	0.1	0.0
	中南部	0.5	2.3	0.7	2.0	3.1	2.5	1.1	2.4	4.0	5.4	1.1	0.3
8月下旬 ～9月	平均	0.2	3.5	0.5	4.1	2.9	2.2	3.1	3.3	5.2	7.5	3.4	3.0
	北 部	0.2	0.7	0.2	1.8	1.3	0.0	0.3	1.3	1.2	0.6	0.0	0.1
	中南部	0.2	3.0	0.8	4.1	2.8	1.4	2.9	3.5	7.7	4.8	1.6	0.8

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

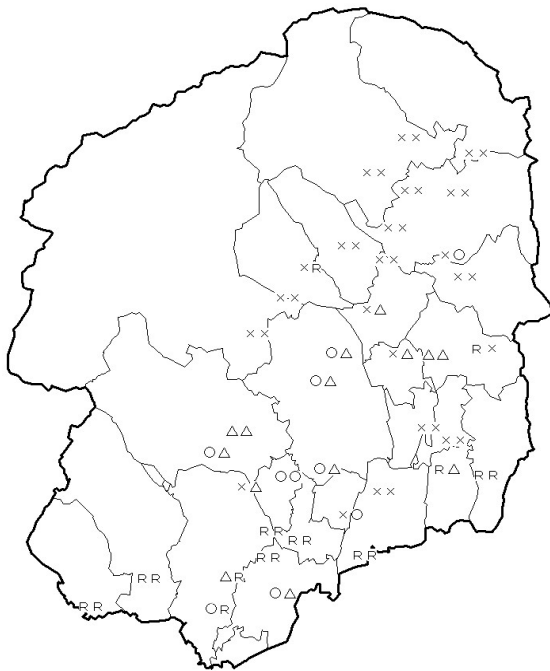
縞葉枯病（6月下旬～7月上旬）



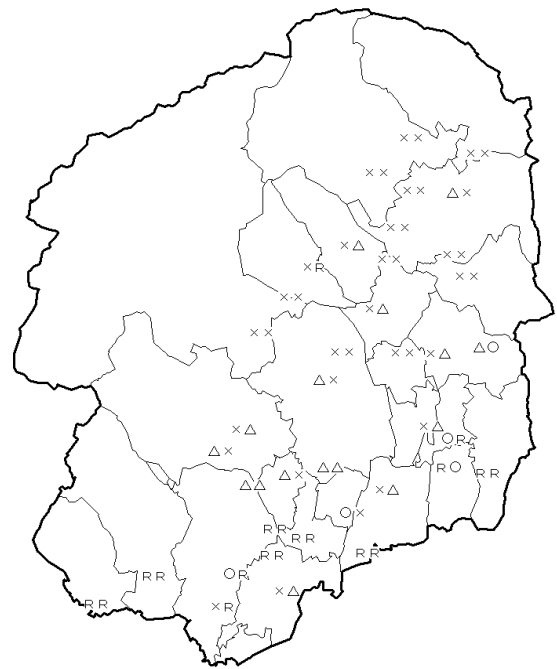
縞葉枯病（7月上旬～中旬）



縞葉枯病（7月下旬～8月上旬）



縞葉枯病（8月下旬～9月上旬）



程度	無	散見	少		中・多・甚
発生株率(%)	0	1未満	1～10	11～20	21以上
記号	x	△	○	▲	●

R：抵抗性品種の作付

⑥ 稲こうじ病 (発生株率%)

時 期	地 域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
8月下旬 ～9月	平均	0.5	1.5	3.6	0.8	0.8	2.8	1.6	0.1	0.5	1.6	0.3	2.6
	北 部	0.8	2.0	4.8	0.7	0.4	2.1	1.6	0.1	0.6	4.6	0.0	5.0
	中 部	0.5	1.9	4.6	1.6	1.6	4.6	1.9	0.0	1.4	1.6	0.3	1.7
	南 部	0.0	0.4	0.5	0.0	0.3	1.2	1.3	0.2	0.2	0.3	0.0	0.3

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑦ イネドロオイムシ (発生株率%)

時 期	地 域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
7月上旬	平均	0.7	0.5	0.3	0.6	0.2	0.6	0.3	0.5	0.2	0.9	0.4	0.6
	北 部	0.0	0.4	0.0	0.4	0.1	0.2	0.2	0.5	0.0	1.0	0.4	1.0
	中 部	1.8	0.9	0.8	1.1	0.5	1.5	0.5	0.8	0.6	1.4	0.7	0.6
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑧ イネツトムシ (発生株率%)

時 期	地 域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
7月上旬	平均	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
	北 部	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	中 部	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0
	南 部	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
7月中旬	平均	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	北 部	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	中 部	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
8月上旬	平均	0.0	0.2	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.4	0.2	1.1	0.1	0.2
	北 部	0.0	0.1	0.1	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0
	中 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	南 部	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.5	0.5	4.3	0.2	0.9

注) 平年値は過去10年間データの平均値

⑨ 心枯茎 (発生株率%)

時 期	地 域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
7月上旬	平均	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.0	0.1
	北 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1
	中 部	0.1	0.2	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.2	0.3	1.2	0.1	0.2
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7月中旬	平均	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.3	0.5	0.1	0.4
	北 部	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.3	0.1	0.4
	中 部	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	0.3	0.2	0.0	0.5	1.1	0.2	0.8
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
8月上旬	平均	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.4	0.5
	北 部	0.0	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.2	1.1
	中 部	0.0	0.2	0.3	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.8	0.2
	南 部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値

⑩ 白穂 (発生株率%)

時 期	地 域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
8月下旬 ～9月	平均	0.01	0.38	3.60	0.01	0.02	0.02	0.01	0.00	0.03	0.04	0.05	0.02
	北 部	0.02	0.50	4.80	0.02	0.01	0.03	0.02	0.02	0.05	0.04	0.01	0.02
	中 部	0.01	0.07	0.40	0.01	0.04	0.01	0.00	0.00	0.06	0.11	0.06	0.04
	南 部	0.01	0.08	0.70	0.01	0.02	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.01

(2) 育苗箱における病害の発生状況

(発生株率%)

病害名	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
苗立枯病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ムレ苗	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
細菌病	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ばか苗病	0.00	0.02	0.00	0.00	0.01	0.01	0.01	0.00	0.01	0.01	0.04	0.16

注1) 調査日：4月12～14日

注2) 平年値は過去10年間のデータの平均値

(3) 再生稲における黄萎病、縞葉枯病の発生状況

① 黄萎病 (再生稲)

(発生ほ場率%)

地域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
平均	0.0	4.2	0.03	5.3	3.6	2.7	1.8	2.8	3.5	10.5	5.0	6.7
北部	0.0	4.1	0.1	11.1	4.8	2.3	4.1	4.0	2.0	4.8	2.8	5.0
中部	0.0	6.5	0.0	2.3	4.8	4.3	1.3	3.3	7.0	19.2	9.8	12.7
南部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注1) 調査日：10月7～15日

注2) 平年値は過去10年間のデータの平均値

② 縞葉枯病 (再生稲)

(発生株率%)

地域	3年	平年	2年	R元年	H30年	29年	28年	27年	26年	25年	24年	23年
平均	1.4	7.9	2.7	5.4	5.6	7.5	9.8	6.9	13.5	14.1	6.4	6.6
北部	0.4	1.4	1.4	3.7	2.7	1.0	1.1	1.6	1.1	0.9	0.1	0.4
中部	1.8	6.1	2.2	5.9	5.4	5.2	11.4	4.8	8.7	11.8	3.4	2.1
南部	2.3	20.7	5.6	7.5	10.3	20.3	21.7	18.7	41.1	34.5	20.2	27.1

注1) 調査日：10月7～15日

注2) 平年値は過去10年間のデータの平均値

(4) アメダスデータによるいもち病感染好適日の出現状況

●: 感染好適条件 ○<sup>1~4</sup>: 準感染好適条件 - : 感染好適条件なし

● 感染好適条件: 湿潤時間中の平均気温が15~25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の平均値が20~25℃の範囲にある

○ 準感染好適条件: 好適条件に準ずる気象条件

準感染好適条件1: 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が20℃未満

準感染好適条件2: 湿潤時間は10時間以上であるが、前5日間の平均気温が25℃以上

準感染好適条件3: 湿潤時間は10時間以上であるが、湿潤時間中の平均気温が15~25℃の範囲外

準感染好適条件4: 湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間数より短い

※上記条件であっても、3mを越える風や時間雨量3mmを越える雨があると湿潤時間の継続が打ち切りとなり、感染好適条件でなくなる場合がある

感染好適条件が出現した日から7~10日後に発病する可能性があります。また、好適日が連続する時は多発条件となるので注意が必要です。ほ場をよく観察し、いもち病の発生状況に応じて、適期に防除を行いましょう。

①BLASTAMIによる葉いもち感染好適日の判定結果 (令和3(2021)年度)

日付	那須	黒磯	大田原	塩谷	真岡	宇都宮	今市	鹿沼	小山	佐野
6/01	○3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/02	-	-	-	-	-	-	○3	-	-	-
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/06	-	-	-	○1	-	-	-	-	-	-
6/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/09	-	-	-	-	○4	-	-	●	●	●
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	●	●	-	-	●	-	●
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	-	-	-	○4	○4	-	-	-	○4	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	●	-	●
6/19	○4	○1	●	●	●	-	○1	●	●	●
6/20	-	-	●	-	●	-	-	-	●	●
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	-	-	-	-	-	-	○4	-	-	-
6/24	-	○4	-	-	-	-	○4	-	○4	-
6/25	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
6/26	○4	○1	●	-	-	-	-	-	-	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/29	○1	○4	-	-	-	-	-	-	○4	○4
6/30	○4	-	●	-	○4	-	-	-	-	-
7/01	○1	●	●	●	-	-	●	○4	-	-
7/02	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-
7/03	○1	○1	●	●	-	-	○4	●	○4	-
7/04	○1	○1	●	●	-	●	○1	●	-	-
7/05	-	○4	●	○1	●	●	○1	●	●	●
7/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7/07	-	-	-	-	-	●	●	●	-	-
7/08	-	-	●	-	-	●	-	-	-	-
7/09	○1	●	●	●	-	●	●	●	●	●
7/10	○1	●	●	-	-	-	●	-	●	●
7/11	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
7/12	●	-	-	●	-	-	-	-	-	-
7/13	-	●	●	●	-	-	-	●	-	-

7/14	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/15	●	●	—	—	—	—	—	●	—	—	—
7/16	●	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—
7/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/21	—	○2	—	—	—	—	○2	—	—	—	—
7/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/23	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/24	○4	○2	—	—	○2	—	—	—	—	—	—
7/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/27	—	—	—	—	—	—	—	○2	○2	—	—
7/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7/29	—	—	○2	●	—	—	—	—	—	—	—
7/30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○2
7/31	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/01	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/02	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/03	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/04	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—
8/05	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/06	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/07	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/08	●	○2	○3	—	—	—	—	—	—	—	—
8/09	●	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/13	—	—	—	—	—	—	○4	—	—	—	—
8/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/15	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/16	—	—	—	●	●	—	●	●	—	●	●
8/17	○1	—	—	—	●	—	○1	—	●	●	●
8/18	—	—	—	—	—	—	○1	●	●	●	●
8/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/22	●	—	●	—	○2	—	—	●	○3	○3	○3
8/23	—	—	○2	—	—	—	—	○2	—	—	—
8/24	—	—	○2	—	—	—	—	○2	—	○2	○2
8/25	—	—	○2	○2	○2	○2	●	○2	○2	○2	○2
8/26	—	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—
8/27	—	—	—	—	○3	—	—	—	—	—	—
8/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8/29	—	—	—	—	—	—	○2	—	—	—	—
8/30	—	—	—	○2	—	—	○2	—	—	—	—
8/31	—	○2	—	—	—	—	○2	—	—	—	—

出典 一般社団法人 日本植物防疫協会

② BLASTAMによる葉いもち感染好適日の年次別発生状況（6月～8月）

年度	那須	黒磯	大田原	塩谷	真岡	宇都宮	今市	鹿沼	小山	佐野
R3(2021)	8	7	13	11	6	5	9	14	9	11
平年値	6.5	9.4	7.7	9	7.1	3.6	9.4	8.4	6.3	7.2
R2(2020)	8	15	16	13	15	9	20	14	16	19
R元(2019)	4	12	8	9	9	6	6	6	14	8
H30(2018)	5	2	3	5	2	2	6	5	2	4
H29(2017)	13	15	8	10	5	4	18	5	2	4
H28(2016)	9	8	8	11	8	2	9	13	4	6
H27(2015)	8	11	10	11	11	3	8	10	10	9
H26(2014)	9	11	11	13	9	4	6	11	4	6
H25(2013)	6	9	6	8	5	5	9	12	3	9
H24(2012)	1	4	3	5	3	1	3	1	5	2
H23(2011)	2	7	4	5	4	0	9	7	3	5

注) 平年値は過去10年間のデータの平均値



(5) 大麦におけるヒメトビウンカ生息密度

単位：％、10㎡あたりの頭数

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ短翅成 虫	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♀	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♂	ヒメトビウ ンカ成虫計	ヒメトビウ ンカ計	備考
発生ほ場数(か所)	15	0	0	0	0	15	令和3(2021)年5月11日～14日調査
ほ場率	本年平均値	83.3	0.0	0.0	0.0	83.3	総調査ほ場数：19ほ場 調査方法：背負型動力機を使用した吹き出し法で0.3m ×11mを吹き出しすくい取り調査した。 ※頭数合計は10㎡あたりの頭数に換算値(×3)。 発生密度は麦上部、下部の合計値(頭/10㎡) 平年値は2014～2020年の平均
	平年値	99.2	13.0	21.1	14.7	99.2	
発生頭数(頭)	561	0	0	0	0	561	
密 度	本年平均値	31.2	0.0	0.0	0.0	31.2	
	平年値	203.8	0.8	1.9	1.8	4.5	208.3
概 評	やや少	少	少	少	少	やや少	

発生ほ場率の推移

単位：％

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ短翅成 虫	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♀	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♂	ヒメトビウ ンカ成虫計	ヒメトビウ ンカ計	備考 (総調査ほ場数)
2020.5	94.7	0.0	0.0	0.0	0.0	94.7	19
2019.5	100.0	0.0	5.3	15.8	21.1	100.0	19
2018.5	100.0	0.0	21.1	10.5	26.3	100.0	19
2017.5	100.0	10.5	5.3	0.0	10.5	100.0	19
2016.5	100.0	10.5	26.3	31.6	36.8	100.0	19
2015.5	100.0	16.7	77.8	38.9	77.8	100.0	18
2014.5	100.0	52.9	11.8	5.9	58.8	100.0	17

第一世代密度の推移

単位：10㎡当たりの頭数

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ短翅成 虫	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♀	ヒメトビウ ンカ長翅成 虫♂	ヒメトビウ ンカ成虫計	ヒメトビウ ンカ計	備考(調査日の平均)
2020.5	90.5	0.0	0.0	0.0	0.0	90.5	5/17
2019.5	180.3	0.0	0.2	0.6	0.8	181.1	5/17
2018.5	76.3	0.0	0.6	0.5	1.1	77.4	5/18
2017.5	212.1	1.3	0.2	0.0	1.4	213.5	5/19
2016.5	256.3	0.5	1.7	3.2	5.4	261.6	5/20
2015.5	255.0	0.8	10.2	7.3	18.3	273.3	5/22
2014.5	356.5	3.2	0.5	0.9	4.6	361.1	5/20

(6) ウンカ類、ヨコバイ類の越冬前密度

単位：％、10㎡あたりの頭数

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ成虫	その他ウン カ類成虫	ヨコバイ類 幼虫	ツマグロヨ コバイ成虫	イナズマヨ コバイ成虫	その他のヨ コバイ類成 虫	備考
発生ほ場数	17	3	4	17	8	1	18	令和3(2021)年11月5日~17日調査 総調査ほ場数：19ほ場
ほ場率	89.5	15.8	21.1	89.5	42.1	5.3	94.7	
	89.2	9.2	1.9	63.8	28.3	2.3	63.2	調査方法：背負型動力機を使用した吹き 出し法で0.3m×11mを吹き出しすくい取り 調査した。 ※頭数合計は10㎡あたりの頭数に換算値 (×3)。 ※密度＝頭数/10㎡ 平年値は2011~2020年の平均
密度	1869	15	15	2517	153	12	3627	
	98.4	0.8	0.8	132.5	8.1	0.6	190.9	
	62.9	0.4	0.1	52.1	2.4	0.1	22.3	
概 評	やや多	やや多	多	やや多	やや多	多	やや多	

発生ほ場率の推移

単位：％

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ成虫	その他ウン カ類成虫	ヨコバイ類 幼虫	ツマグロヨ コバイ成虫	イナズマヨ コバイ成虫	その他のヨ コバイ類成 虫	備考 (総調査ほ場数)
2020.11	94.7	10.5	0.0	47.4	26.3	0.0	84.2	19
2019.11	95.2	9.5	0.0	57.1	14.3	0.0	81.0	21
2018.11	90.5	52.4	9.5	76.2	33.3	0.0	76.2	21
2017.11	76.2	4.8	0.0	47.6	9.5	0.0	38.1	21
2016.11	100.0	4.8	4.8	47.6	28.6	0.0	76.2	21
2015.11	100.0	4.8	4.8	57.1	19.0	4.8	71.4	21
2014.11	75.0	5.0	0.0	85.0	50.0	0.0	70.0	20
2013.11	85.0	0.0	0.0	75.0	30.0	0.0	25.0	20
2012.11	87.5	0.0	0.0	56.3	25.0	6.3	68.8	16
2011.11	88.2	0.0	0.0	88.2	47.1	11.8	41.2	17

越冬密度の推移

単位：10㎡あたりの頭数

	ウンカ類 幼虫	ヒメトビウ ンカ成虫	その他ウン カ類成虫	ヨコバイ類 幼虫	ツマグロヨ コバイ成虫	イナズマヨ コバイ成虫	その他のヨ コバイ類成 虫	備考 (調査日の平均)
2020.11	22.4	0.3	0.0	86.2	1.1	0.0	103.9	11/15
2019.11	34.4	0.3	0.0	17.0	1.4	0.0	10.3	11/18
2018.11	43.0	3.0	0.7	68.3	3.0	0.0	43.4	11/17
2017.11	12.0	0.1	0.0	5.1	0.3	0.0	2.6	11/18
2016.11	163.6	0.1	0.1	19.4	2.0	0.0	26.0	11/19
2015.11	99.3	0.1	0.4	86.7	4.6	0.3	9.4	11/21
2014.11	123.6	0.2	0.0	126.6	4.8	0.0	13.8	11/25
2013.11	37.4	0.0	0.0	24.8	1.8	0.0	2.1	11/25
2012.11	60.6	0.0	0.0	52.9	1.7	0.4	8.1	11/26
2011.11	33.0	0.0	0.0	34.2	2.8	0.7	3.0	11/26

## (7)ヒメビウンカの縞葉枯ウイルス保毒虫率の経年変化

第一世代幼虫

(単位:%)

年度		R元	R02	R03
地点名		2019	2020	2021
県北部	大田原市親園	8.3	1.0	3.1
	大田原市蛭畑	1.0	1.0	1.0
	さくら市松山新田	5.2	0.0	5.2
	高根沢町花岡	2.1	9.1	2.1
県中部	真岡市青田	10.4	17.7	1.0
	宇都宮市横山	10.4	6.3	8.3
	宇都宮市雀宮	9.4	8.3	3.1
	上三川町上三川	13.5	7.3	9.4
	鹿沼市酒野谷	7.3	6.3	1.0
県南部	下野市小金井	3.1	7.3	4.2
	小山市小葉	7.3	5.2	0.0
	小山市石ノ上	11.5	5.2	9.4
	壬生町助谷	7.3	3.1	6.3
	栃木市惣社	4.2	5.2	3.1
	栃木市大平町真弓	5.2	7.5	2.1
	栃木市藤岡町富吉	4.2	3.1	1.0
	佐野市堀米	5.2	9.4	4.2
	足利市上洪垂	2.1	5.2	1.0
県北部平均		4.2	2.8	2.9
県中部平均		10.2	9.2	4.6
県南部平均		5.6	5.7	3.5
県平均		6.5	6.0	3.6

注:検定サンプルは、令和3(2021)年5月中～下旬に、麦類ほ場から採取したヒメビウンカ第一世代幼虫

検定方法: DAS-ELISA法

検定数: 96頭/地点

越冬世代幼虫

(単位:%)

年度		R元	R2	R3
地点名		2019	2020	2021
県北部	大田原市蛭畑	3.9	2.5	2.1
	大田原市親園	3.3	1.0	1.0
	那須烏山市滝田	4.3	5.0	1.0
	さくら市蒲須坂	8.7	3.2	3.1
	高根沢町花岡	4.3	1.0	3.1
県中部	真岡市青田	16.7	7.1	3.1
	宇都宮市横山	7.1	2.1	1.0
	宇都宮市雀宮	6.3	7.3	3.1
	上三川町上三川	6.5	9.4	5.2
	鹿沼市酒野谷	0.0	3.1	2.1
県南部	下野市小金井	9.4	6.3	1.0
	小山市小葉	4.2	11.5	2.1
	小山市石ノ上	13.8	6.3	3.1
	壬生町助谷	5.4	7.3	4.2
	栃木市惣社	4.2	4.3	1.0
	栃木市大平町真弓	9.4	5.2	3.1
	栃木市藤岡町富吉	0.0	3.7	3.1
	佐野市堀米	12.5	4.2	2.1
	足利市上洪垂	3.1	4.2	0.0
県北部平均		4.9	2.5	2.1
県中部平均		7.3	5.8	2.9
県南部平均		6.9	5.9	2.2
県平均		6.5	5.0	2.4

注:検定サンプルは、令和3(2021)年11月中旬に、水田畦畔や休耕田のイネ科雑草等から採取したヒメビウンカ越冬世代幼虫

検定方法: DAS-ELISA法

検定数: 96頭/地点

(8) イネミズゾウムシの発生状況

① 越冬成虫密度

		平均	宇都宮市瓦谷町平均	さくら市蒲須坂平均	備考
成虫発生頭数		4.0	0.0	8.0	令和3(2021)年2月4日採集
密度	本年平均値	0.8	0.0	2.0	総採取地点数:10か所
	平年値	0.6	0.1	1.3	※密度=頭数/0.1㎡ 平年値は2011~2020年の平均
概 評		やや多			

発生密度の推移

単位: 0.1㎡当たりのイネミズゾウムシ成虫数

	平均	宇都宮市瓦谷町平均	さくら市蒲須坂平均	各調査地点数(宇都宮市瓦谷町・さくら市蒲須坂)
2020.2	40.0	0.0	100.0	6・4
2019.2	20.0	0.0	50.0	6・4
2018.2	10.0	0.0	25.0	6・4
2017.2	10.0	0.0	25.0	6・4
2016.2	10.0	16.7	0.0	6・4
2015.2	0.0	0.0	0.0	6・4
2014.2	10.0	16.7	0.0	6・4
2013.2	10.0	16.7	0.0	6・4
2012.2	10.0	16.7	0.0	6・4
2011.2	10.0	0.0	25.0	6・4

採集日: 令和3年2月4日

調査方法: 0.1㎡(すくい取り用の枠を使用)内の表土1~2cmを採取し、イネミズゾウムシ成虫数を調査した。

調査地点: 宇都宮市瓦谷町 60W予察灯周辺、さくら市蒲須坂 水稲病害虫発生予察ほ場の畦畔

② 本田発生状況

		被害株数	成虫数	備考
発生数(株・頭)		228	34	令和3(2021)年5月24~26調査
被害株率(%) ・成虫数 (頭/100株)	本年平均値	19.0	2.8	総調査ほ場数:12か所
	平年値	22.7	3.3	総調査株数:600株 調査株数:1ほ場50株 ※密度=株・頭数/100株 平年値は2011~2020年の平均
概 評		平年並	平年並	

発生密度の推移

単位: 100株当たりの株数・頭数

	発生株(株数)	成虫数	備考(総調査ほ場数・総調査株数)
2020.5	33.0	6.3	12・600
2019.5	2.0	1.5	12・600
2018.5	2.5	1.2	12・600
2017.5	12.5	1.7	12・600
2016.5	35.5	6.2	12・600
2015.5	29.8	4.7	12・600
2014.5	17.0	3.5	12・600
2013.5	49.0	5.7	12・600
2012.5	40.5	1.8	12・600
2011.5	5.0	0.5	8・400

調査方法: 畦畔から3~4m内側の50株における被害株率と、葉上に生育するイネミズゾウムシの成虫数を調査した。

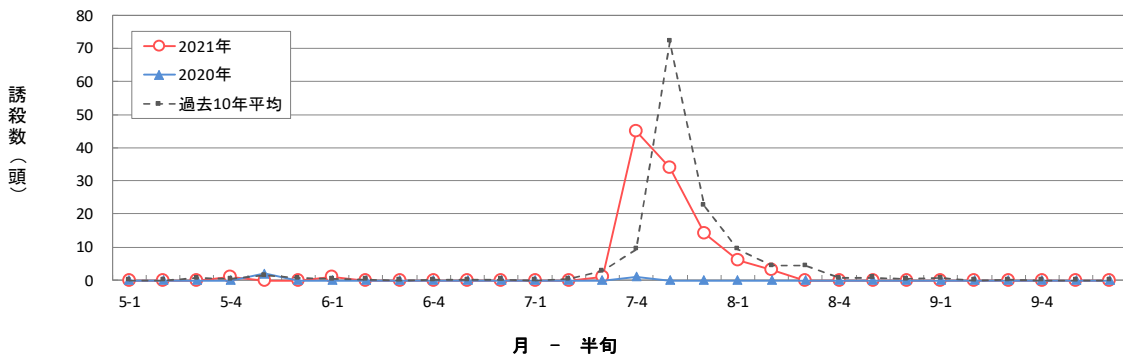
調査地点: 那須塩原市埼玉、大田原市親園、塩谷町玉生、さくら市蒲須坂、芳賀町祖母井、真岡市亀山の水稲病害虫発生予察ほ場(各地点2ほ場)

③ 誘殺数

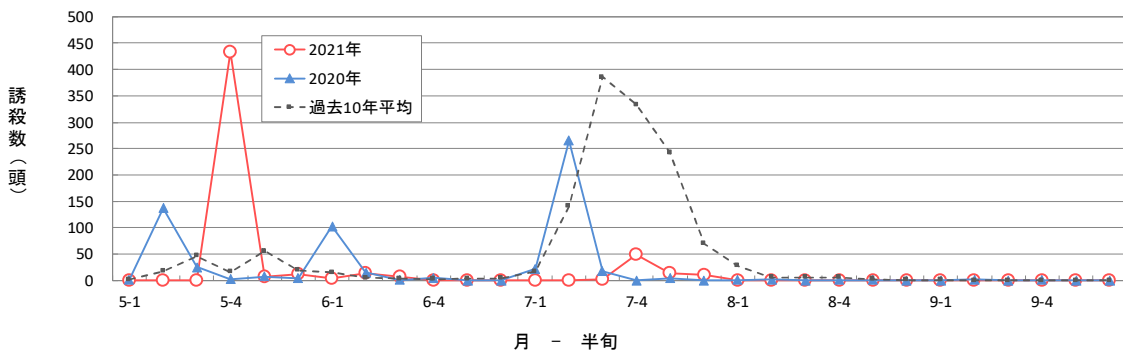
(60W予察灯)

月一半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3(2021)年	過去10年平均	R2(2020)年	R3(2021)年	過去10年平均	R2(2020)年	R3(2021)年	過去10年平均	R2(2020)年	R3(2021)年	過去10年平均	R2(2020)年
5-1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1
5-2	0	0	0	0	18	137	0	0	0	0	0	0
5-3	0	1	0	0	47	25	1	0	0	0	1	1
5-4	1	0	0	434	16	3	1	0	0	0	1	0
5-5	0	1	2	8	56	8	0	0	0	0	1	1
5-6	0	1	0	12	19	4	0	0	0	0	0	0
6-1	1	0	0	4	16	103	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	14	5	15	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	8	4	1	0	0	0	1	0	0
6-4	0	0	0	0	2	5	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	17	22	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	141	265	0	0	0	0	0	0
7-3	1	3	0	2	386	18	0	1	0	0	0	0
7-4	45	9	1	49	334	0	14	1	0	6	2	0
7-5	34	72	0	14	242	4	6	2	0	0	4	0
7-6	14	23	0	10	70	0	2	0	0	2	3	1
8-1	6	9	0	1	28	1	0	0	0	0	1	1
8-2	3	4	0	0	6	2	0	0	0	0	0	0
8-3	0	4	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	1	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0
8-5	0	1	0	0	3	1	1	0	0	0	1	1
8-6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
9-1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	1	3	2	454	157	179	2	1	0	0	2	3
6月計	1	1	0	26	35	124	0	0	0	1	1	0
7月計	94	107	1	75	1,188	309	22	5	0	8	9	1
8月計	9	20	0	1	50	5	1	1	0	0	2	3
9月計	0	1	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0
合計	105	131	3	556	1,431	620	25	7	0	9	14	7

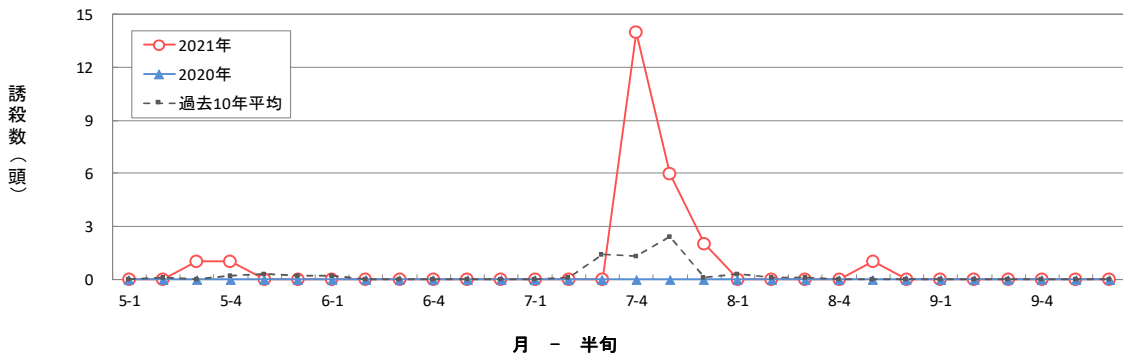
イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (大田原市)



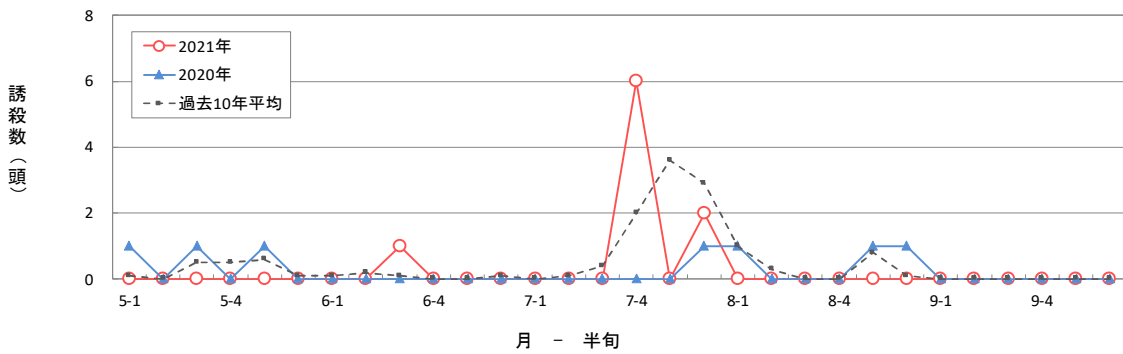
イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (小山市)



イネミズゾウムシの60W予察灯による誘殺数 (栃木市大塚町)



## (9) イネドロオイムシの発生状況

### ① 本田発生状況

		発生株 (株数)	成虫数	卵塊数	幼虫数	備考
発生ほ場数		2	2	0	0	令和3(2021)年5月24~26日調査
ほ場率	本年平均値	16.7	16.7	0.0	0.0	総調査地点数: 6 (1地点2ほ場調査, 計12ほ場) 総調査株数: 600株
	平年値	17.9	24.1	13.0	12.0	
発生数(株・頭)		3.0	3.0	0.0	0.0	調査株数: 1ほ場50株 平年値は2012~2020年の平均
密度	本年平均値	0.3	0.3	0.0	0.0	※密度=株・頭/50株
	平年値	0.3	0.6	0.7	1.8	
概 評		平年並				

調査方法: 畦畔から3~4m内側(10条付近)の50株における被害株率と、葉上に生育するイネドロオイムシの虫数を調査した。  
調査地点: 那須塩原市埼玉、大田原市親園、塩谷町玉生、さくら市蒲須坂、芳賀町祖母井、真岡市亀山の水稲病害虫発生予察ほ場(各地点2ほ場)

## (10) ニカメイガの発生状況

### ① 越冬幼虫密度

		幼虫寄生株	幼虫寄生茎	備考
発生ほ場数(か所)		1		令和3(2021)年2月4日採集
ほ場率	本年平均値	12.5		総調査ほ場数: 8か所 総調査株数: 400株
	平年値	27.9		
発生数(株・本)		1	2	総調査茎数: 9,850茎 (1ほ場稲株50株を採取し、ニカメイガ幼虫数を調査)
発生率	本年平均値	0.3	0.0	
	平年値	1.3	0.1	
概 評		やや少		平年値は2011~2020年の平均

#### 発生ほ場率の推移

年次	発生ほ場率 (%)	発生ほ場数	備考 (総調査ほ場数)
2020.2	37.5	3	8
2019.2	11.1	1	9
2018.2	12.5	1	8
2017.2	12.5	1	8
2016.2	25.0	2	8
2015.2	12.5	1	8
2014.2	37.5	3	8
2013.2	37.5	3	8
2012.2	37.5	3	8
2011.2	55.6	5	9

#### 発生株率・茎率の推移

年次	幼虫寄生株 (%)	幼虫寄生茎 (%)	備考 (総調査株数)
2020.2	0.8	0.0	400
2019.2	0.9	0.0	450
2018.2	0.3	0.0	400
2017.2	0.3	0.0	400
2016.2	1.8	0.1	400
2015.2	0.5	0.0	400
2014.2	1.3	0.1	400
2013.2	3.0	0.2	400
2012.2	0.8	0.0	400
2011.2	3.1	0.2	450

調査方法: 稲株を採集し、茎内に寄生しているニカメイガ幼虫数を調査した。

(10) ニカメイガの発生状況

② 誘殺数

(60W予察灯)

月一 半 旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
5-6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1	1	1
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
7月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	1	1	2	2	0	1	2	2	1

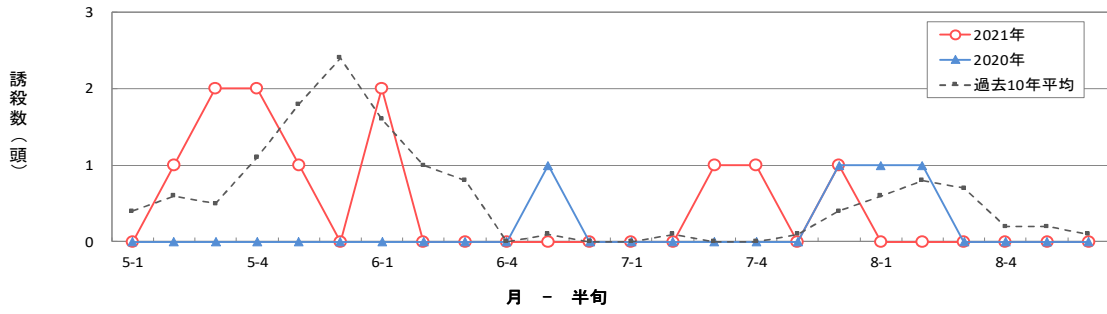
※) 四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(フェロモントラップ)

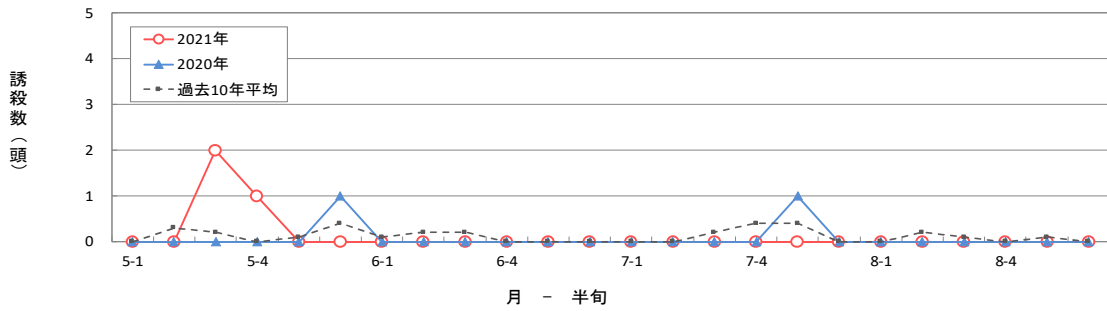
月一 半 旬	宇都宮市瓦谷町			上三川町※			小山市			市貝町※			下野市※		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	6	2	2	0	0	0	16	16	10	4	88	54
5-2	1	1	0	9	2	1	0	0	0	35	27	17	7	118	53
5-3	2	1	0	7	4	4	2	0	0	67	46	52	8	125	70
5-4	2	1	0	8	6	3	1	0	0	47	41	25	8	125	101
5-5	1	2	0	6	6	3	0	0	0	43	31	9	8	131	119
5-6	0	2	0	3	9	7	0	0	1	58	35	21	8	143	125
6-1	2	2	0	6	5	4	0	0	0	64	19	22	1	80	29
6-2	0	1	0	4	4	3	0	0	0	16	13	19	3	44	13
6-3	0	1	0	3	2	2	0	0	0	3	11	18	2	8	2
6-4	0	0	0	2	1	0	0	0	0	1	6	0	1	6	1
6-5	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	5	0	0	4	1
6-6	0	0	0	4	1	2	0	0	0	1	2	1	0	1	0
7-1	0	0	0	5	1	4	0	0	0	1	2	2	0	2	0
7-2	0	0	0	4	0	1	0	0	0	1	2	0	0	5	1
7-3	1	0	0	2	1	2	0	0	0	0	4	2	0	12	11
7-4	1	0	0	6	1	3	0	0	0	0	7	3	1	24	23
7-5	0	0	0	13	2	9	0	0	1	1	9	8	2	35	49
7-6	1	0	1	17	4	3	0	0	0	4	18	2	2	54	78
8-1	0	1	1	9	8	13	0	0	0	21	20	0	2	48	48
8-2	0	1	1	6	6	19	0	0	0	17	18	1	2	39	37
8-3	0	1	0	4	5	16	0	0	0	4	16	0	3	45	46
8-4	0	0	0	2	3	11	0	0	0	2	11	0	1	41	29
8-5	0	0	0	3	2	7	0	0	0	2	6	0	1	30	20
8-6	0	0	0	4	2	5	0	0	0	3	5	1	1	40	14
5月計	6	7	0	39	28	20	3	1	1	266	195	134	43	728	522
6月計	2	4	1	21	13	12	0	1	0	86	55	60	7	142	46
7月計	3	1	1	47	8	22	0	1	1	7	42	17	5	131	162
8月計	0	3	2	28	26	71	0	0	0	49	77	2	10	243	194
合計	11	14	4	135	76	125	3	3	2	408	370	213	65	1,244	924

※病害虫防除員による調査

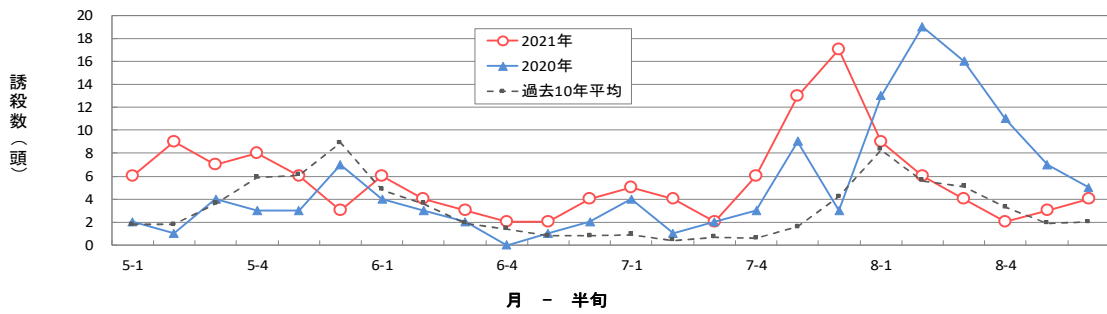
ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



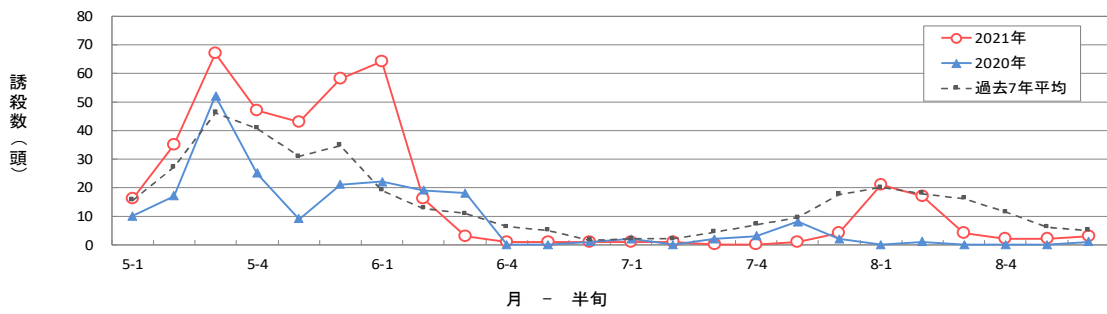
ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺数 (小山市)



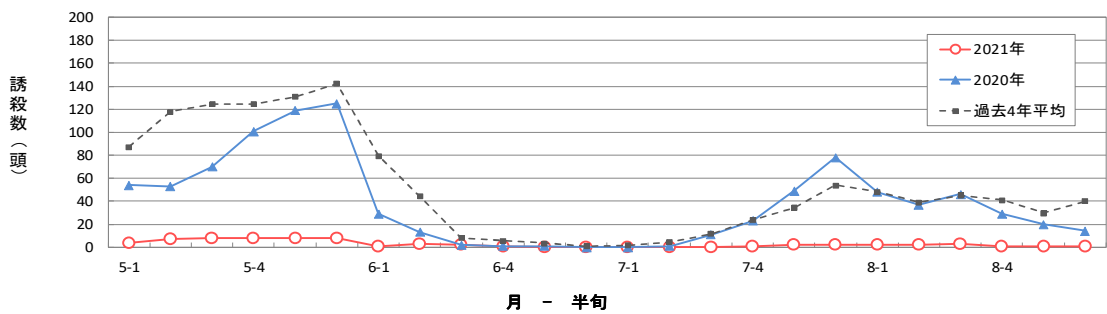
ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺数 (上三川町)



ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺数 (市貝町)



ニカメイガのフェロモントラップによる誘殺数 (下野市)





(11) 病害虫発生予察ほ場における害虫発生状況(すくいとり調査)

① 7月中旬(ウンカ・ヨコバイ類等)

		ウンカ類幼虫	ヒメトビウンカ成虫	セジロウンカ成虫	ヨコバイ類幼虫	ツマガロヨコバイ成	イナズマヨコバイ成	イナゴ	イネミズソウムシ	フタオビコヤガ幼虫	イチモンジセセリ幼	備考
発生ほ場数(か所)		29	34	5	1	18	0	27	3	3	0	令和3(2021)年7月8~12日調査 総調査ほ場数:39ほ場 (20回振りすくい取り) 平年値は2011~2020年の平均
ほ場率	本年平均値	74.4	87.2	12.8	2.6	46.2	0.0	69.2	7.7	7.7	0.0	
	平年値	67.9	85.3	3.3	12.9	36.0	2.1	58.6	3.3	15.1	1.3	
すくいとり頭数合計(頭)		227	381	6	1	41	0	422	3	4	0	
頭数	本年平均値	5.8	9.8	0.2	0.0	1.1	0.0	10.8	0.1	0.1	0.0	
	平年値	25.9	19.3	0.0	0.2	1.2	0.0	7.2	0.1	0.6	0.0	
概 評		並	並	多	やや少	並	少	やや多	多	やや少	少	

発生地点率の推移

	ウンカ類幼虫	ヒメトビウンカ成虫	セジロウンカ成虫	ヨコバイ類幼虫	ツマガロヨコバイ成	イナズマヨコバイ成	イナゴ	イネミズソウムシ	フタオビコヤガ幼虫	イチモンジセセリ幼	備考 (総調査地点数)
2020.7	69.2	74.4	0.0	7.7	17.9	0.0	74.4	0.0	17.9	0.0	39
2019.7	97.4	79.5	0.0	15.4	48.7	2.6	74.4	7.7	2.6	2.6	39
2018.7	56.4	92.3	0.0	0.0	17.9	2.6	64.1	7.7	5.1	0.0	39
2017.7	69.2	97.4	0.0	0.0	30.8	0.0	64.1	2.6	5.1	2.6	39
2016.7	23.1	87.2	20.5	2.6	33.3	2.6	41.0	2.6	20.5	2.6	39
2015.7	71.8	79.5	2.6	10.3	25.6	0.0	53.8	2.6	2.6	2.6	38
2014.7	68.4	81.6	0.0	31.6	34.2	0.0	55.3	0.0	2.6	0.0	39
2013.7	89.7	100.0	0.0	20.5	53.8	7.7	53.8	5.1	25.6	0.0	39
2012.7	64.1	69.2	10.3	15.4	51.3	0.0	59.0	2.6	28.2	0.0	39
2011.7	69.2	92.3	0.0	25.6	46.2	5.1	46.2	2.6	41.0	2.6	40

すくい取り頭数の推移

	ウンカ類幼虫	ヒメトビウンカ成虫	セジロウンカ成虫	ヨコバイ類幼虫	ツマガロヨコバイ成	イナズマヨコバイ成	イナゴ	イネミズソウムシ	フタオビコヤガ幼虫	イチモンジセセリ幼	備考 (調査日の平均)
2020.7	4.2	7.2	0.0	0.1	0.4	0.0	12.1	0.0	0.2	0.0	7/9
2019.7	39.3	23.4	0.0	0.2	2.9	0.0	11.8	0.1	0.0	0.0	7/8
2018.7	4.5	12.1	0.0	0.0	0.2	0.0	3.8	0.3	0.1	0.0	7/9
2017.7	3.5	18.5	0.0	0.0	0.7	0.0	7.4	0.0	0.1	0.0	7/12
2016.7	0.5	5.8	0.3	0.0	0.6	0.0	2.4	0.0	1.2	0.0	7/12
2015.7	14.5	8.7	0.0	0.3	0.6	0.0	4.6	0.0	0.0	0.0	7/10
2014.7	118.1	36.9	0.0	0.6	1.1	0.0	13.6	0.0	0.0	0.0	7/8
2013.7	37.9	28.2	0.0	0.3	1.3	0.1	8.2	0.1	1.2	0.0	7/10
2012.7	30.8	38.5	0.1	0.3	2.1	0.0	4.4	0.0	1.1	0.0	7/12
2011.7	5.8	14.0	0.0	0.5	1.8	0.2	4.0	0.1	2.0	0.0	7/13

② 7月中旬(斑点米カメムシ類)

		クモヘリカメムシ		ホソハリカメムシ		アカヒゲホソミドリカスミカメ		アサスジカスミカメ		斑点米カメムシ類成幼虫	うちカスミカメ類成幼虫	備考
		幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫			
発生ほ場数(か所)		0	1	0	0	1	1	0	0	3	2	令和3(2021)年7月8~12日調査 総調査ほ場数:39ほ場 (20回振りすくい取り) 平年値は2011~2020年の平均
ほ場率	本年平均値	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	7.7	5.1	
	平年値	0.0	5.1	0.0	1.0	0.0	4.6	0.3	1.5	11.8	6.2	
すくいとり頭数合計(頭)		0	1	0	0	1	1	0	0	3	2	
頭数	本年平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	
	平年値	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.1	
概 評		やや少		少		やや少		少		並	並	

発生地点率の推移

	クモヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アサスジカスミカメ	斑点米カメムシ類成幼虫	うちカスミカメ類成幼虫	備考 (総調査地点数)
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	
2020.7	0.0	20.5	0.0	0.0	0.0	5.1	39
2019.7	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	39
2018.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	10.3	39
2017.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	12.8	39
2016.7	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	5.1	39
2015.7	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0	7.7	39
2014.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	38
2013.7	0.0	0.0	0.0	5.1	0.0	0.0	39
2012.7	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	2.6	39
2011.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	39

すくい取り頭数の推移

	クモヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	アカヒゲホソミドリカスミカメ	アサスジカスミカメ	斑点米カメムシ類成幼虫	うちカスミカメ類成幼虫	備考 (調査日の平均)
	幼虫	成虫	幼虫	成虫	幼虫	成虫	
2020.7	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.1	7/9
2019.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	7/8
2018.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	7/9
2017.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	7/12
2016.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	7/12
2015.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	7/10
2014.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7/8
2013.7	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	7/10
2012.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7/12
2011.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	7/13



(12) 斑点米カメムシ類の発生状況  
①イネ科雑草地における発生状況(6月中旬)

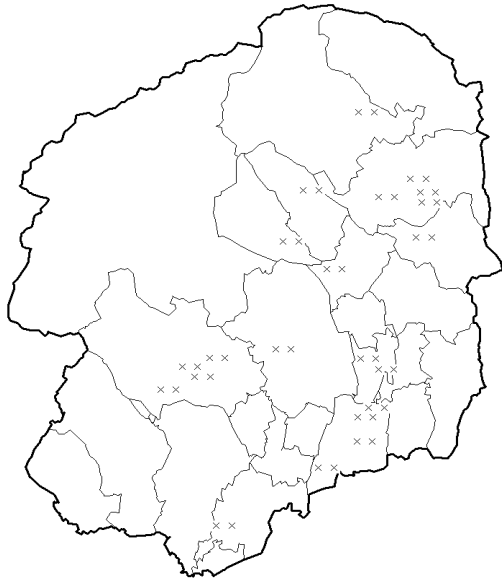
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼虫・アカ スジカス ミカメ幼 虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫		
発生ほ場数(か所)	0	0	0	3	19	20	23	32	32	41	令和3(2021)年6月21~22日調査
ほ場率	0.0	0.0	0.0	7.1	45.2	47.6	54.8	76.2	76.2	97.6	
	0.0	7.0	6.7	7.6	36.3	39.1	66.5	91.2	75.2	99.4	総調査地点数:42
すくいとり頭数合計(頭)	0	0	0	4	48	52	930	330	371	1,855	(イネ科雑草地、牧草地等における2 O回振りすくい取り)
頭数	0.0	0.0	0.0	0.1	1.1	1.2	22.1	7.9	8.8	44.2	
	0.0	0.2	0.2	0.1	0.8	1.0	52.4	20.1	14.7	93.6	平年値は2011~2020年の平均
概評	少			並			並			並	

発生地点率の推移

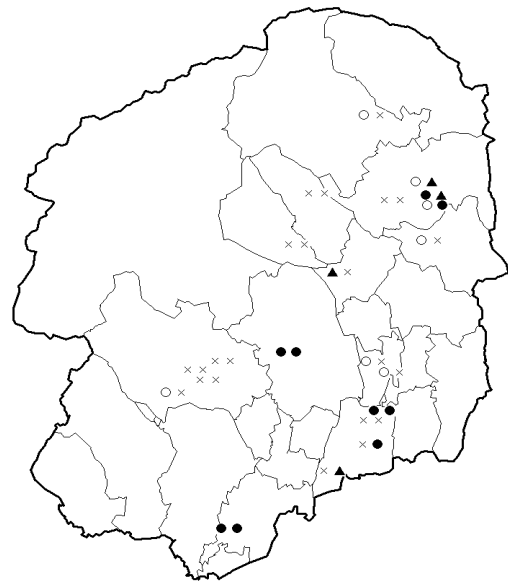
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考 (調査地点数)
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼虫・アカ スジカス ミカメ幼 虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫		
2020.6	0.0	9.5	9.5	4.8	40.5	40.5	78.6	83.3	85.7	100.0	42
2019.6	0.0	2.4	2.4	4.8	23.8	26.2	64.3	100.0	57.1	100.0	42
2018.6	0.0	2.6	0.0	10.3	23.1	28.2	61.5	82.1	64.1	97.4	39
2017.6	0.0	0.0	0.0	2.6	15.4	17.9	35.9	87.2	74.4	100.0	39
2016.6	0.0	7.9	7.9	13.2	42.1	47.4	60.5	94.7	63.2	100.0	38
2015.6	0.0	3.6	3.6	14.3	30.4	35.7	69.6	98.2	82.1	100.0	56
2014.6	0.0	4.2	4.2	4.2	39.6	41.7	72.9	100.0	85.4	100.0	48
2013.6	0.0	3.3	3.3	10.0	51.7	56.7	91.7	98.3	86.7	100.0	60
2012.6	0.0	5.3	5.3	3.5	29.8	29.8	47.4	78.9	75.4	96.5	57
2011.6	0.0	31.1	31.1	8.9	66.7	66.7	82.2	88.9	77.8	100.0	45

すくい取り頭数の推移

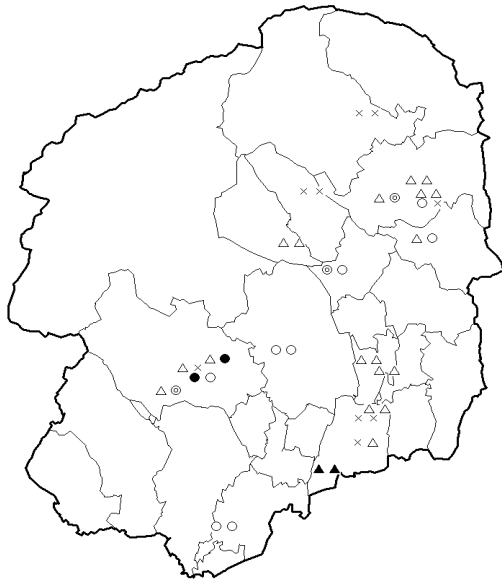
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考 (調査日の平均)
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼虫・アカ スジカス ミカメ幼 虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫		
2020.6	0.0	0.1	0.1	0.1	1.0	1.0	73.3	21.3	26.2	131.2	6/22
2019.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	16.2	24.4	5.2	58.0	6/17
2018.6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.4	0.5	7.5	27.5	3.9	44.0	6/18
2017.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	4.3	11.3	5.3	24.7	6/19
2016.6	0.0	0.2	0.2	0.2	1.4	1.6	8.9	20.3	13.0	46.6	6/20
2015.6	0.0	0.0	0.0	0.2	0.7	0.9	26.7	36.6	15.9	83.9	6/23
2014.6	0.0	0.0	0.0	0.1	0.8	0.8	26.0	22.1	28.2	84.5	6/23
2013.6	0.0	0.2	0.2	0.2	1.0	1.2	128.1	23.2	31.4	187.6	6/24
2012.6	0.0	0.1	0.1	0.2	0.8	1.0	18.5	4.2	5.8	32.0	6/26
2011.6	0.0	1.0	1.0	0.2	1.9	2.1	214.9	9.7	12.3	243.9	6/28



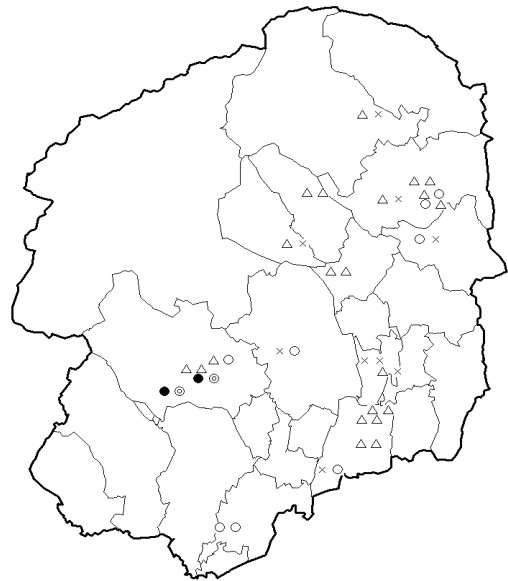
クモヘリカメムシのすくい取り頭数の状況  
(6月中旬調査)



ホソハリカメムシのすくい取り頭数の状況  
(6月中旬調査)



アカヒゲホソミドリカスミカメのすくい取り頭数の状況  
(6月中旬調査)



アカスジカスミカメのすくい取り頭数の状況  
(6月中旬調査)

程度	無	やや少	少	平年並	やや多	多
平年比(%)	0	1~19	20~59	60~140	141~180	181~
記号	×	△	○	◎	▲	●

② イネ科雑草地における発生状況（7月中旬）

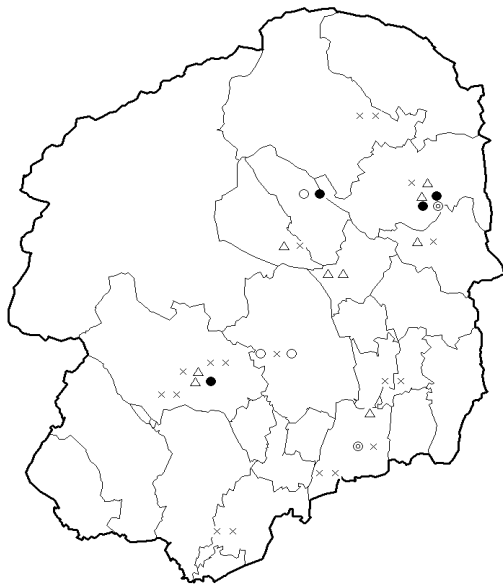
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考	
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼 虫・アカ スジカス ミカメ幼 虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫			
発生ほ場数(か所)	3	21	21	5	26	28	20	22	28	36	令和3(2021)年7月8~14日調査 総調査地点数:36 (イネ科雑草地、牧草地等における2 0回振りすくい取り) 平年値は2011~2020年の平均	
ほ場率	本年平均値	8.3	58.3	58.3	13.9	75.0	80.6	55.6	61.1	77.8		100.0
	平年値	0.3	39.4	39.4	39.0	69.6	72.8	91.5	94.7	92.0		100.0
すくいとり頭数合計(頭)	6	1,973	1,979	12	104	116	790	236	400	3,929		
頭数	本年平均値	0.2	54.8	55.0	0.4	2.9	3.3	21.9	6.6	11.1		111.0
	平年値	0.0	20.3	20.3	0.5	3.1	3.6	132.9	52.7	63.0	254.4	
概評	多			並			やや少			並		

発生地点率平年値計算表

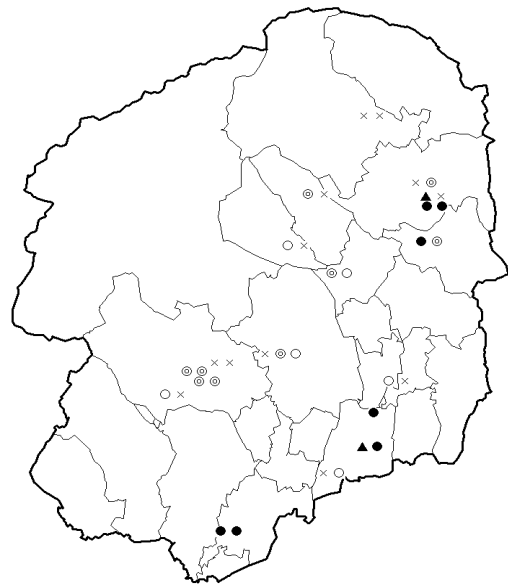
	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考 (調査地点数)
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼 虫・アカ スジカス ミカメ幼 虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫		
2020.7	0.0	41.7	41.7	30.6	77.8	80.6	88.9	86.1	91.7	100.0	36
2019.7	0.0	34.4	34.4	18.8	37.5	43.8	84.4	87.5	81.3	100.0	32
2018.7	3.1	56.3	56.3	34.4	75.0	75.0	96.9	90.6	75.0	100.0	32
2017.7	0.0	33.3	33.3	39.4	69.7	75.8	93.9	90.9	97.0	100.0	33
2016.7	0.0	38.7	38.7	9.7	83.9	87.1	100.0	100.0	87.1	100.0	31
2015.7	0.0	16.7	16.7	9.5	38.1	40.5	92.9	97.6	100.0	100.0	42
2014.7	0.0	22.9	22.9	11.4	54.3	62.9	94.3	100.0	100.0	100.0	35
2013.7	0.0	48.5	48.5	36.4	87.9	90.9	63.6	100.0	100.0	100.0	33
2012.7	0.0	38.2	38.2	100.0	82.4	82.4	100.0	94.1	88.2	100.0	34
2011.7	0.0	63.2	63.2	100.0	89.5	89.5	100.0	100.0	100.0	100.0	19

すくい取り頭数平年値計算表

	クモヘリカメムシ			ホソハリカメムシ			カスミカメ類			斑点米カメムシ類	備考 (調査日の平均)
	幼虫	成虫	成幼虫	幼虫	成虫	成幼虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ幼 虫・アカ スジカス ミカメ幼 虫	アカヒゲ ホソミド リカスミ カメ成虫	アカスジ カスミカ メ成虫		
2020.7	0.0	30.0	30.0	0.9	4.3	5.2	109.6	24.5	85.8	260.5	7/9
2019.7	0.0	3.3	3.3	0.4	0.9	1.3	81.9	13.2	31.2	139.2	7/9
2018.7	0.0	18.9	19.0	0.8	2.7	3.4	304.3	162.8	38.6	536.4	7/10
2017.7	0.0	25.4	25.4	1.3	2.8	4.2	111.7	74.0	51.3	275.1	7/11
2016.7	0.0	20.5	20.5	0.2	2.3	2.5	168.7	55.9	35.9	288.2	7/12
2015.7	0.0	0.4	0.4	0.3	0.7	1.0	76.4	25.3	30.6	137.4	7/9
2014.7	0.0	0.9	0.9	0.3	1.5	1.8	77.7	26.9	35.0	142.0	7/9
2013.7	0.0	12.0	12.0	1.0	6.1	7.1	—	65.0	126.8	380.0	7/10
2012.7	0.0	11.6	11.6	0.0	5.5	5.5	—	24.4	40.0	85.6	7/14
2011.7	0.0	79.6	79.6	0.0	4.4	4.4	—	55.5	154.5	300.1	7/13



クモヘリカメムシのすくい取り頭数の状況  
(7月中旬調査)



ホソハリカメムシのすくい取り頭数の状況  
(7月中旬調査)



アカヒゲホソミドリカスミカメのすくい取り頭数の状況  
(7月中旬調査)



アカスジカスミカメのすくい取り頭数の状況  
(7月中旬調査)

程度	無	やや少	少	平年並	やや多	多
平年比(%)	0	1~19	20~59	60~140	141~180	181~
記号	x	△	○	◎	▲	●

③ クモヘリカメムシの誘殺数  
(フェロモントラップ)

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			芳賀町稲毛田			茂木町※			矢板市※		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	1	0	7	33	0	0	0
7-1	0	0	0	0	1	3	0	21	80	0	2	0
7-2	0	0	0	1	0	1	0	27	120	0	3	1
7-3	0	0	1	0	0	0	0	19	87	0	4	1
7-4	0	1	1	0	0	0	1	11	53	0	5	2
7-5	0	0	1	0	0	0	3	3	9	0	2	3
7-6	0	1	0	0	0	0	0	6	3	2	4	2
8-1	0	1	0	0	0	0	0	4	3	0	1	1
8-2	0	0	0	0	0	1	0	1	4	0	0	0
8-3	0	0	2	0	1	7	0	1	3	1	0	0
8-4	1	0	3	0	1	4	0	1	3	0	0	0
8-5	2	1	2	3	1	4	1	3	3	0	0	0
8-6	2	2	0	5	2	6	2	3	5	0	0	0
9-1	0	1	0	1	1	2	-	0	0	-	0	0
9-2	0	0	1	0	0	0	-	0	0	-	0	0
9-3	0	0	0	1	1	0	-	0	0	-	0	0
9-4	0	0	0	1	1	1	-	0	0	-	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	-	0	0	-	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	-	0	0	-	0	0
5月計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月計	0	0	0	0	0	2	0	8	34	0	1	0
7月計	0	2	3	1	1	4	4	88	352	2	19	9
8月計	5	4	7	8	5	22	3	14	21	1	1	1
9月計	0	1	1	3	3	3	2	0	0	0	1	0
合計	5	7	11	12	9	31	9	110	407	3	21	10

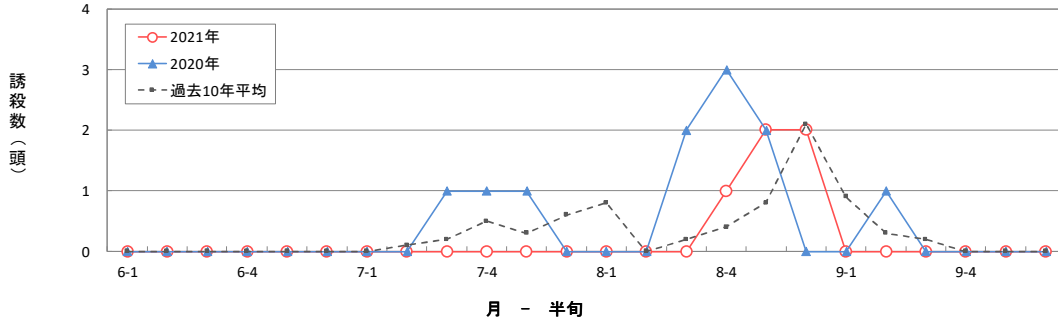
※病害虫防除員による調査

(60W予察灯)

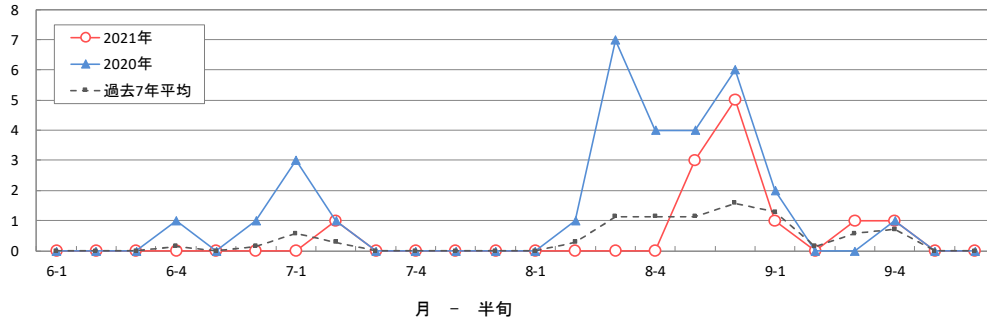
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
8月計	2	0	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0
合計	2	0	0	1	4	6	0	0	0	0	0	0

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

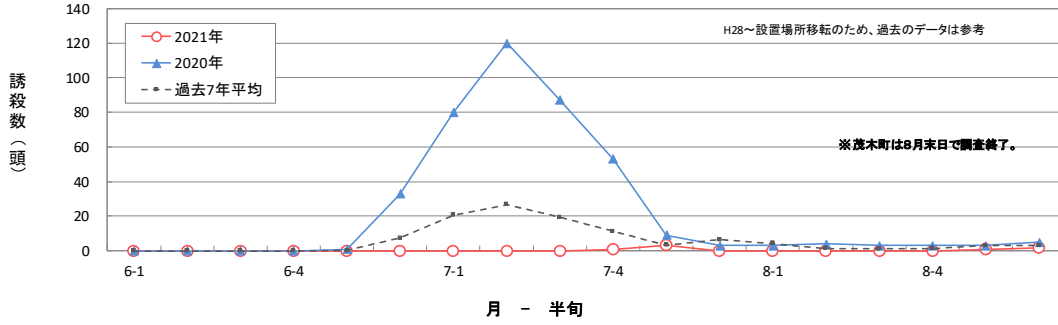
クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



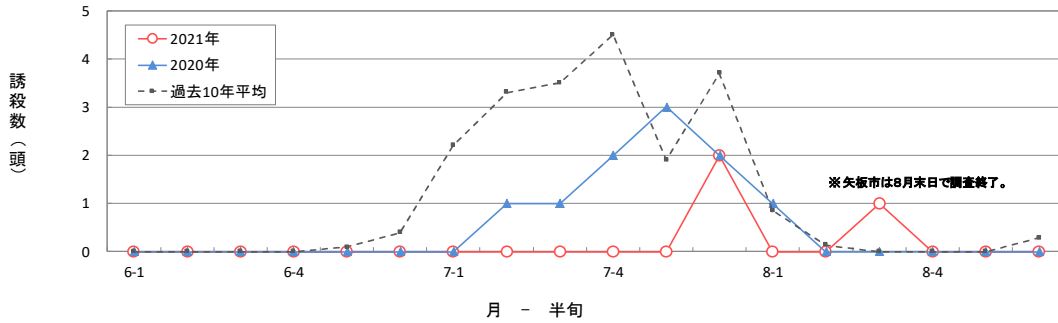
クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)



クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (茂木町)



クモヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (矢板市)





④ ホソハリカメムシの誘殺数  
(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8-6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
9月計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	2	1	7	0	0	0	0	1	1	0	1	3

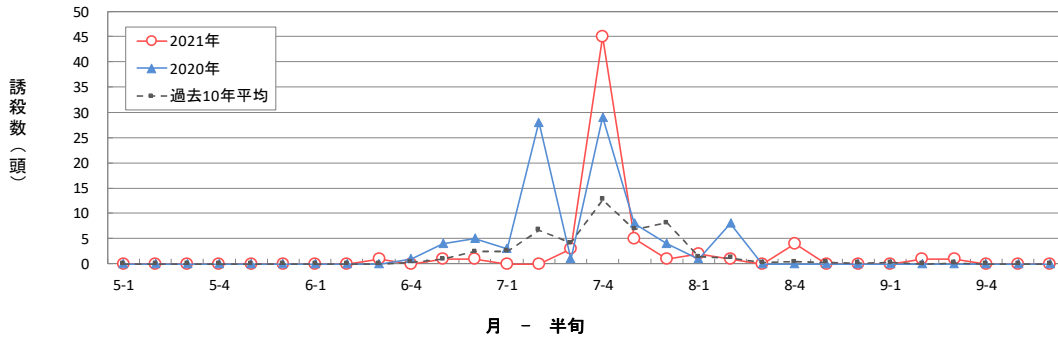
※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

⑤ アカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数  
(60W予察灯)

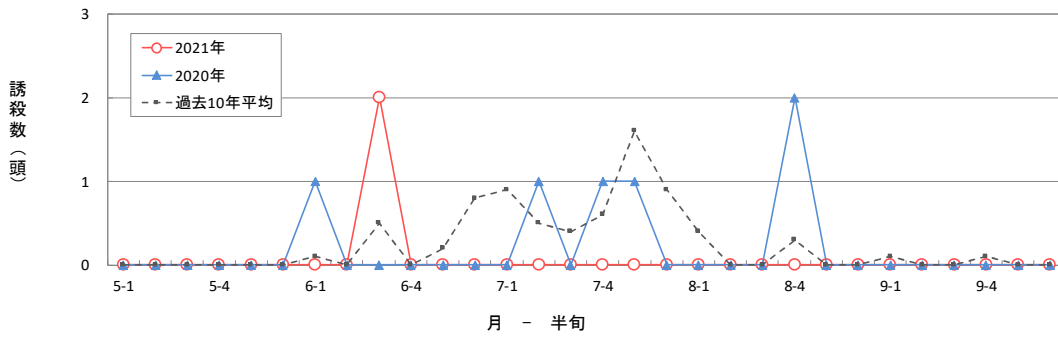
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
6-1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	7
6-3	1	0	0	2	1	0	0	4	1	4	2	20
6-4	0	0	1	0	0	0	0	1	0	4	0	2
6-5	1	1	4	0	0	0	0	1	0	0	1	0
6-6	1	2	5	0	1	0	0	1	0	0	1	2
7-1	0	3	3	0	1	0	0	1	0	1	1	0
7-2	0	7	28	0	1	1	0	0	0	0	0	0
7-3	3	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7-4	45	13	29	0	1	1	0	0	0	0	0	0
7-5	5	7	8	0	2	1	0	0	0	0	0	0
7-6	1	8	4	0	1	0	1	0	0	0	0	0
8-1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	0	0
8-2	1	1	8	0	0	0	0	0	0	3	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	4	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	4
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	18
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
9-2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
9-3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
6月計	3	4	10	2	2	1	0	7	2	11	5	31
7月計	54	41	73	0	5	3	1	1	0	2	1	0
8月計	7	4	9	0	1	2	0	0	0	10	3	23
9月計	2	0	0	0	0	0	0	1	0	2	2	6
合計	66	48	92	2	7	6	1	9	3	25	11	61

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

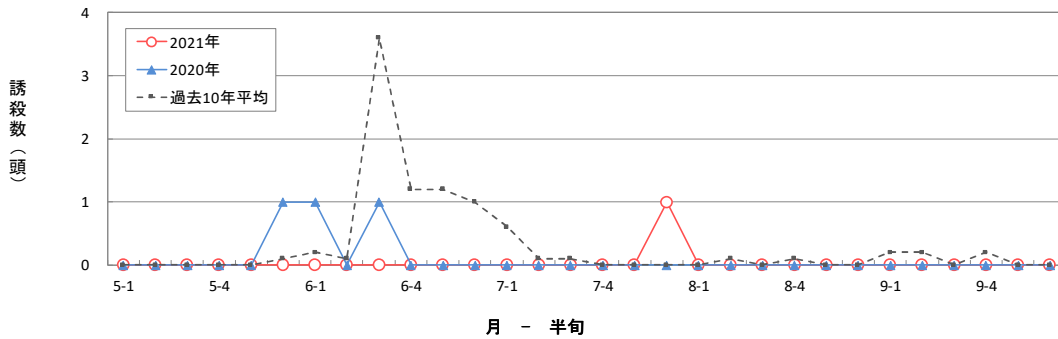
アカヒゲホソミドリカスミカメの6 OW予察灯による誘殺数 (大田原市)



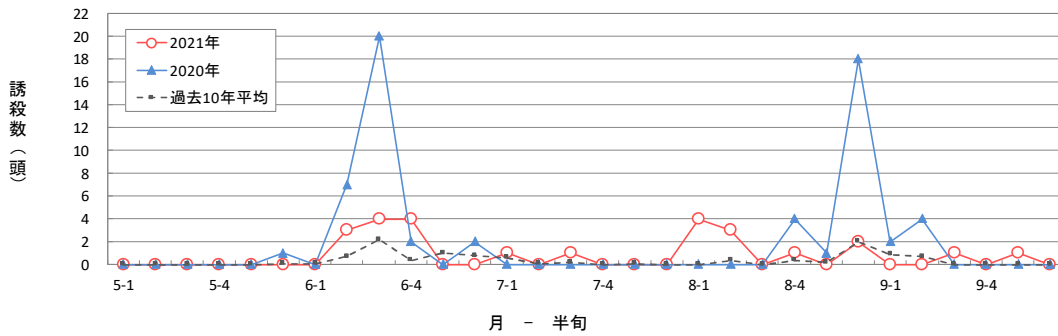
アカヒゲホソミドリカスミカメの6 OW予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



アカヒゲホソミドリカスミカメの6 OW予察灯による誘殺数 (小山市)



アカヒゲホソミドリカスミカメの6 OW予察灯による誘殺数 (栃木市大塚町)



⑥ アカスジカスミカメの誘殺数  
(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
6-3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1
7月計	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
8月計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	1

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(13) 水稻害虫の60W予察灯による誘殺数

① セジロウシカ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
8-1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
8-3	0	0	0	0	1	5	0	0	1	0	1	4
8-4	0	0	0	0	1	1	0	0	3	0	1	9
8-5	0	0	0	0	2	8	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
9-1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0
8月計	0	0	2	0	5	14	0	1	4	1	2	15
9月計	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	0	1	2	0	7	15	0	1	6	1	2	16

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

② トビイロウシカ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

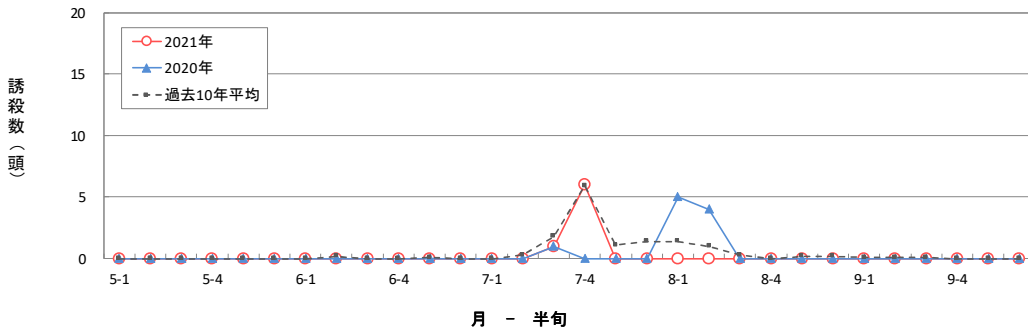
※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

③ ヒメトビウンカ

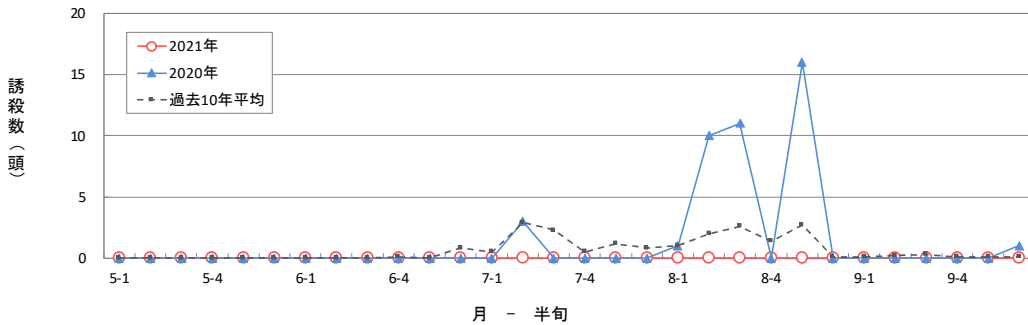
月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	3	3	1	1	0	0	3	0
7-3	1	2	1	0	2	0	0	1	0	0	1	0
7-4	6	6	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
7-5	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1
7-6	0	1	0	0	1	0	1	0	0	2	1	0
8-1	0	1	5	0	1	1	2	0	0	2	2	0
8-2	0	1	4	0	2	10	2	4	6	1	3	7
8-3	0	0	0	0	3	11	0	1	5	0	2	1
8-4	0	0	0	0	1	0	1	2	13	0	5	23
8-5	0	0	0	0	3	16	0	1	0	0	5	40
8-6	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	5	53
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	11
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	13
9-3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	17
9-4	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	1	0
7月計	7	11	1	0	8	3	2	3	0	2	7	1
8月計	0	3	9	0	10	38	5	9	24	3	23	124
9月計	0	0	0	0	1	1	0	5	0	0	8	41
合計	7	14	10	0	20	42	7	21	24	5	39	166

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

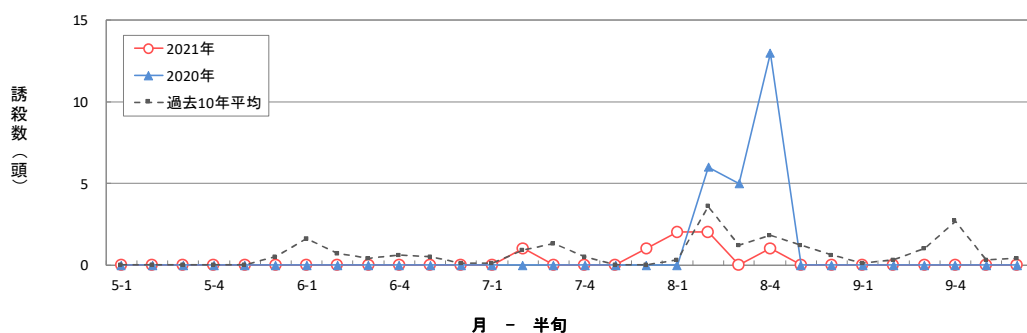
ヒメトビウンカの60W予察灯による誘殺数 (大田原市)



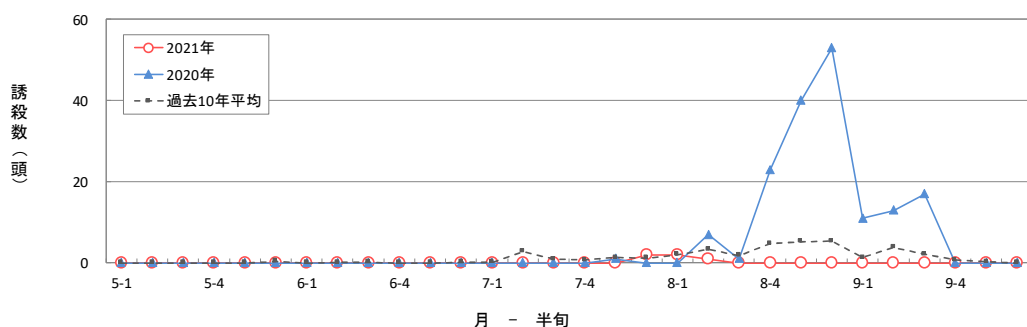
ヒメトビウンカの60W予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



ヒメトビウカの60W予察灯による誘殺数 (小山市)



ヒメトビウカの60W予察灯による誘殺数 (栃木市大塚町)

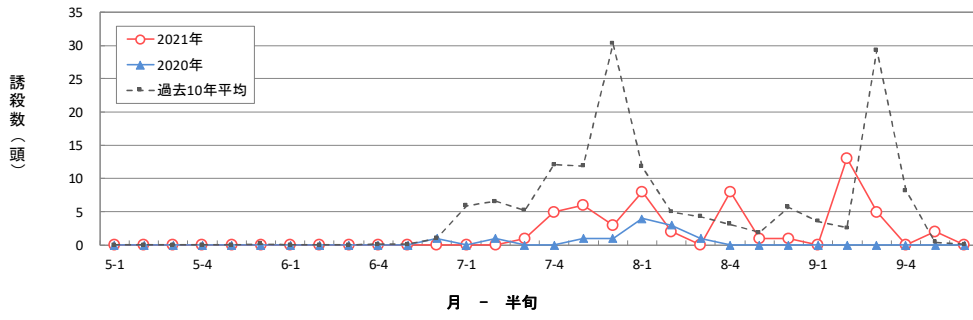


④ ツマグロヨコバイ

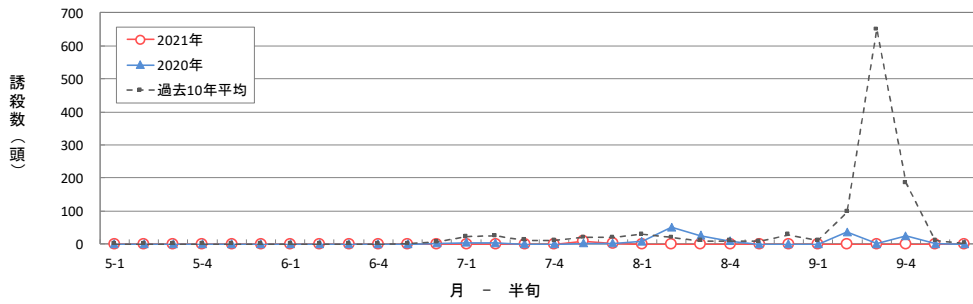
月一 半旬	天田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1
6-6	0	1	1	0	6	2	0	0	0	0	0	1
7-1	0	6	0	0	23	4	1	0	0	0	0	0
7-2	0	7	1	0	24	3	9	0	0	0	0	0
7-3	1	5	0	0	11	0	1	0	0	0	0	0
7-4	5	12	0	0	10	0	5	0	0	1	0	0
7-5	6	12	1	8	20	2	0	0	0	0	3	0
7-6	3	30	1	1	20	2	0	0	1	15	1	1
8-1	8	12	4	0	29	8	1	0	2	3	1	1
8-2	2	5	3	0	20	51	3	2	2	10	3	9
8-3	0	4	1	0	9	26	0	0	2	0	4	2
8-4	8	3	0	0	9	9	1	1	10	26	6	49
8-5	1	2	0	0	8	0	0	0	4	6	9	66
8-6	1	6	0	0	29	0	0	1	9	10	18	177
9-1	0	4	0	0	10	0	0	0	1	0	20	104
9-2	13	3	0	0	97	36	0	0	0	0	49	92
9-3	5	29	0	0	649	1	1	0	1	2	9	5
9-4	0	8	0	0	185	25	0	1	7	13	13	104
9-5	2	0	0	0	10	1	0	0	1	2	1	5
9-6	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6	0	1
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	1	1	0	7	2	2	0	0	0	1	2
7月計	15	72	3	9	108	11	16	0	1	16	5	1
8月計	20	32	8	0	103	94	5	5	29	55	41	304
9月計	20	44	0	0	952	63	1	2	10	23	93	311
合計	55	149	12	9	1,170	170	24	7	40	94	140	618

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

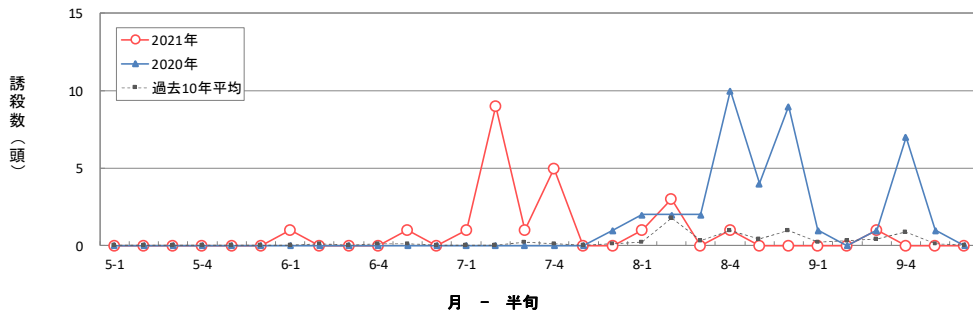
ツマグロヨコバイの60W予察灯による誘殺数 (大田原市)



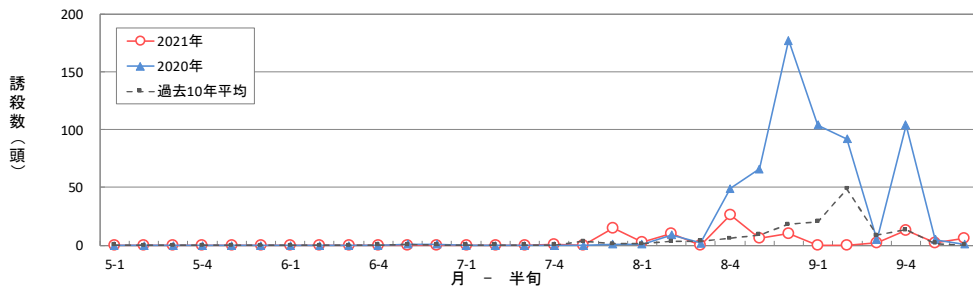
ツマグロヨコバイの60W予察灯による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



ツマグロヨコバイの60W予察灯による誘殺数 (小山市)



ツマグロヨコバイの60W予察灯による誘殺数 (栃木市大塚町)



⑤ イナズマヨコバイ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0
7-4	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	2	2	21	29	1	9
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	2	17
8-6	0	0	0	0	1	0	0	8	75	2	4	42
9-1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	12
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	3
9-3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	0
9-4	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	5	1
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	12	1	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	3	1	0	8	0	0	2	0	0
8月計	0	1	0	0	2	0	2	11	100	34	8	68
9月計	0	0	0	0	3	0	0	1	0	2	121	16
合計	0	1	0	3	5	0	10	13	101	50	129	84

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

⑥ コブノメイガ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。



⑦ フタオビコヤガ

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
7-4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7-5	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
7-6	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
8-1	0	3	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
8-2	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月計	0	3	0	1	2	0	0	1	0	0	3	1
8月計	0	4	0	0	2	0	1	1	0	1	1	1
9月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0
合計	0	7	0	1	4	0	1	2	0	3	4	2

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(14) ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数

調査年	宇都宮市瓦谷町						栃木市大塚町						小山市小葉		
	麦		水稻				麦		水稻				水稻		
	R3 (2021 )年	過去 7年 平均	R2 (2020 )年	R3 (2021 )年	過去 7年 平均	R2 (2020 )年	R3 (2021 )年	過去 7年 平均	R2 (2020 )年	R3 (2021 )年	過去 7年 平均	R2 (2020 )年	R3 (2021 )年	過去 7年 平均	R2 (2020 )年
5-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-3	0	0	0	-	-	-	0	0	0	-	-	-	0	1	0
5-4	0	0	0	1	0	0	0	1	0	-	-	-	0	3	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	3	0	-	-	-	1	14	0
5-6	1	1	0	0	1	0	1	8	0	-	-	-	2	25	3
6-1	0	1	0	0	1	1	-	7	6	-	-	-	2	13	2
6-2	0	1	1	1	1	1	-	3	3	1	8	4	1	7	2
6-3	0	1	2	0	1	1	-	3	-	1	4	3	0	2	1
6-4	-	1	-	0	1	0	-	0	-	1	1	0	0	1	0
6-5	-	0	-	0	1	1	-	0	-	0	1	0	2	2	0
6-6	-	1	-	0	1	2	-	-	-	0	3	0	3	16	2
7-1	-	0	-	0	2	3	-	-	-	0	8	1	3	31	11
7-2	-	0	-	1	3	1	-	-	-	0	18	4	1	43	9
7-3	-	1	-	0	4	1	-	-	-	3	22	2	0	35	5
7-4	-	1	-	0	6	2	-	-	-	3	21	2	0	24	2
7-5	-	0	-	0	5	2	-	-	-	0	11	4	1	12	1
7-6	-	0	-	1	3	2	-	-	-	0	13	3	1	13	3
8-1	-	1	-	1	3	4	-	-	-	0	25	7	0	19	8
8-2	-	1	-	1	5	6	-	-	-	1	42	15	0	16	15
8-3	-	1	-	2	6	10	-	-	-	0	35	38	0	16	17
8-4	-	1	-	5	6	9	-	-	-	0	24	32	2	12	15
8-5	-	1	-	3	4	7	-	-	-	1	16	23	2	9	10
8-6	-	0	-	2	3	5	-	-	-	1	12	13	1	7	4
9-1	-	0	-	1	2	3	-	-	-	0	15	33	1	10	30
9-2	-	1	-	0	2	5	-	-	-	1	18	44	1	12	37
9-3	-	1	-	0	2	8	-	-	-	6	17	34	3	7	25
9-4	-	1	-	0	2	11	-	-	-	9	11	17	4	4	8
9-5	-	0	-	0	1	5	-	-	-	4	7	10	3	2	3
9-6	-	0	-	0	0	1	-	-	-	1	4	5	1	0	0
5月計	1	2	0	1	1	0	1	13	0	-	-	-	3	42	3
6月計	0	5	3	1	6	6	0	13	9	3	18	7	8	40	7
7月計	-	3	0	2	23	11	0	0	0	6	93	16	6	157	31
8月計	-	6	0	14	27	41	0	0	0	3	154	128	5	79	69
9月計	-	3	0	1	9	33	0	0	0	21	72	143	13	36	103
合計	1	18	3	19	65	91	1	26	9	33	337	294	35	354	213

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

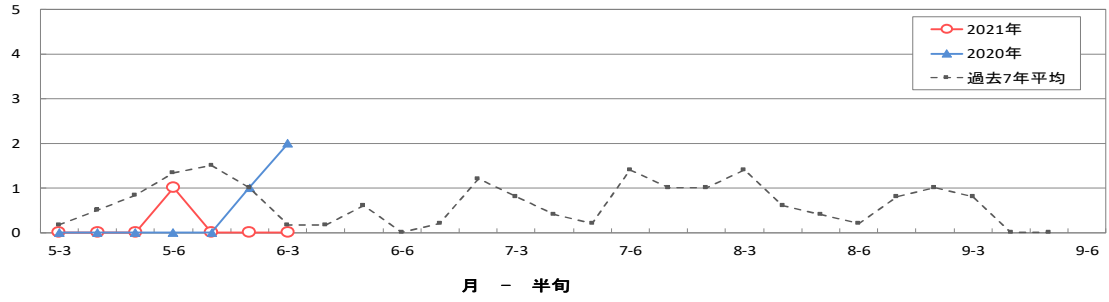
調査場所： 県中部：宇都宮市瓦谷町（農業試験場）の麦ほ場1か所、水稻ほ場1か所の計2か所  
 県南部：栃木市大塚町（いちご研究所）の麦ほ場1か所、水稻ほ場1か所の計2か所  
 小山市小葉（予察調査ほ定点）の水稻ほ場1か所  
 合計5か所

調査方法：黄色粘着板（ホリバー：長辺26cm×短辺10cm、アリストライフサイエンスK. K.）を長辺が縦になるように支柱に固定した。設置高は粘着板中央部がほ場土面より1.5mとなようにし、畦畔際に約1m間隔で5枚設置した。文字等の印刷面を南あるいは西向きとした。粘着板の回収間隔は概ね1週間毎とし、粘着板両面に付着したヒメトビウカ成虫数を計数した。

調査期間：令和3(2021)年5月中旬～9月下旬

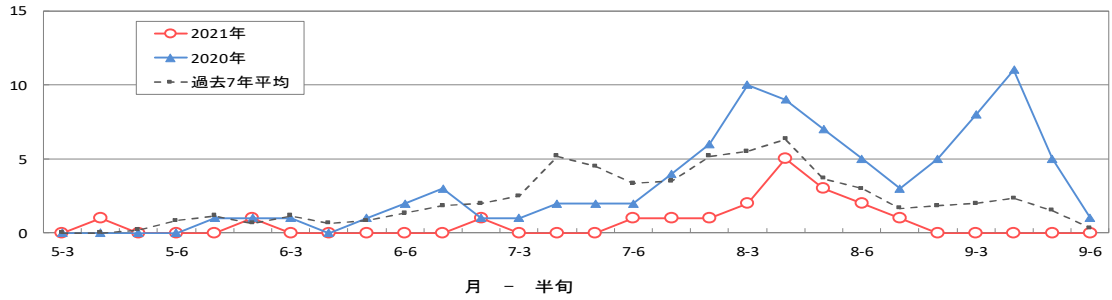
ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町(麦))

誘殺数(頭)



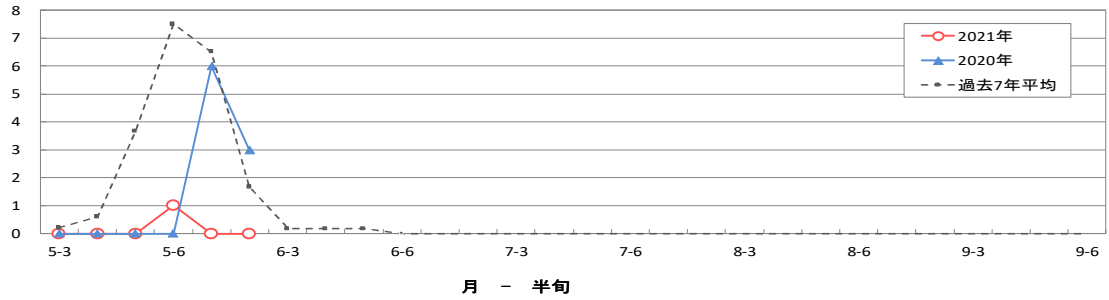
ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町(水稻))

誘殺数(頭)



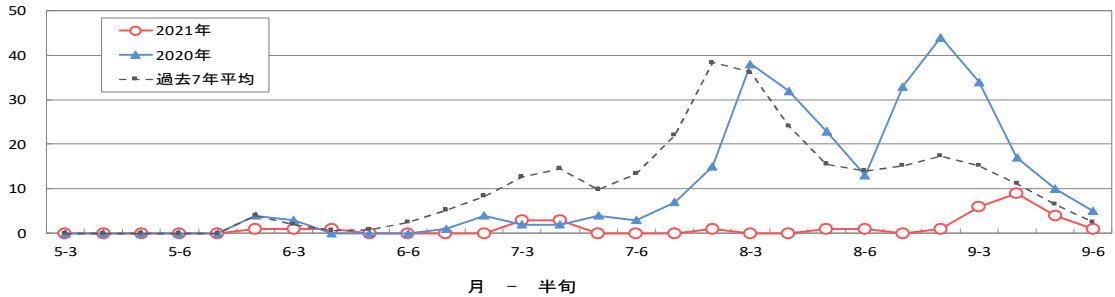
ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数 (栃木市大塚町(麦))

誘殺数(頭)



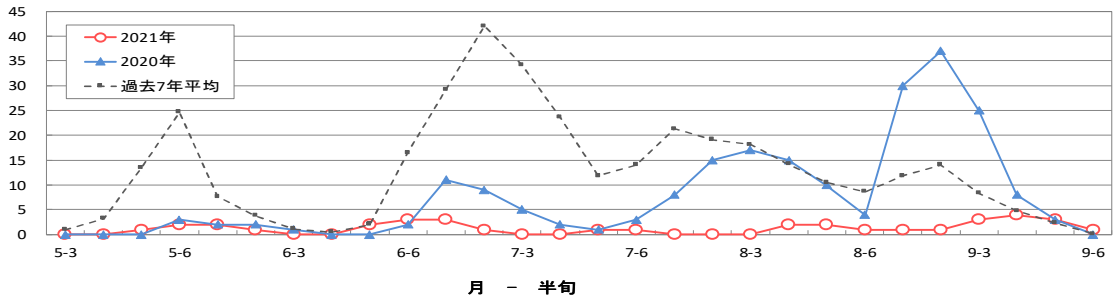
ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数 (栃木市大塚町(水稻))

誘殺数(頭)



ヒメトビウカの黄色粘着板による誘殺数 (小山市)

誘殺数(頭)



## 2) 麦類病害調査結果

### (1) 病害発生予察ほ場における病害年次別発生状況

① 4月中旬 (発生ほ場率 %)

麦種・年	調査月日	ほ場数	うどんこ病	赤かび病	斑葉病	黒節病
小麦	4/5~7	8	0.0	0.0	-	0.0
二条		20	0.0	0.0	40.0	25.0
六条		12	0.0	0.0	0.0	16.7
R3 (2021)	4/5~7	40	0.0	0.0	25.0	17.5
<b>平年値</b>		<b>40</b>	<b>1.3</b>	<b>0.0</b>	<b>13.3</b>	<b>31.1</b>
R2 (2020)	4/3~8	40	0.0	0.0	9.4	50.0
R元 (2019)	4/8~10	40	0.0	0.0	53.1	31.3
H30 (2018)	4/9~11	40	0.0	0.0	33.3	10.0
H29 (2017)	4/11~13	40	0.0	0.0	26.7	25.0
H28 (2016)	4/11~13	40	12.5	0.0	10.0	52.5
H27 (2015)	4/8~10	40	0.0	0.0	0.0	60.0
H26 (2014)	4/9~11	40	0.0	0.0	0.0	2.5
H25 (2013)	4/10, 12, 16	40	0.0	0.0	0.0	0.0
H24 (2012)	4/9~11	40	0.0	0.0	0.0	30.0
H23 (2011)	4/8, 11~13	40	0.0	0.0	0.0	50.0

\* 調査茎数: ほ場あたり50茎 斑葉病の発生ほ場率は大麦(二条十六条)のみで算出

② 5月上旬 (発生ほ場率 %)

麦種・年	調査月日	ほ場数	うどんこ病	赤かび病	斑葉病	黒節病
小麦	4/28, 30	8	0.0	0.0	-	0.0
二条		20	0.0	0.0	35.0	35.0
六条		12	0.0	0.0	0.0	16.7
R3 (2021)	4/28, 30	40	0.0	0.0	21.9	22.5
<b>平年値</b>		<b>40</b>	<b>4.5</b>	<b>0.0</b>	<b>15.2</b>	<b>15.9</b>
R2 (2020)	4/30, 5/1	39	0.0	0.0	9.4	41.0
R元 (2019)	5/1, 2	40	0.0	0.0	34.4	15.0
H30 (2018)	5/1, 2	40	10.0	0.0	46.7	0.0
H29 (2017)	5/1, 2	40	0.0	0.0	30.0	5.0
H28 (2016)	5/6	40	15.0	0.0	13.3	10.0
H27 (2015)	5/7, 8	40	0.0	0.0	17.9	15.0
H26 (2014)	5/7, 8	40	0.0	0.0	0.0	30.0
H25 (2013)	5/7, 8	40	12.5	0.0	0.0	0.0
H24 (2012)	5/6, 7, 9, 10	40	5.0	0.0	0.0	5.0
H23 (2011)	5/6, 9, 10	40	2.5	0.0	0.0	37.5

\* 調査茎数: ほ場あたり50茎 斑葉病の発生ほ場率は大麦(二条十六条)のみで算出

### (2) 麦類縮萎縮病発生状況

① 大麦縮萎縮病(車上調査)

年	調査月日	調査圃場数	発生ほ場率(%)
R3 (2021)	3/8, 9	1,468	1.0
<b>平年値</b>		<b>1,296</b>	<b>1.2</b>
R2 (2020)	3/6, 9	1,302	2.8
H31 (2019)	3/11, 12	1,120	1.7
H30 (2018)	3/8	1,310	1.6
H29 (2017)	3/1, 2	1,340	2.8
H28 (2016)	3/8, 9	1,388	0.9
H27 (2015)	3/9	1,302	0.7
H26 (2014)	3/10	1,314	0.8
H25 (2013)	3/8, 11	1,176	0.4
H24 (2012)	3/7, 12	1,406	0.4
H23 (2011)	3/9, 10, 11	1,302	0.0

② 小麦縮萎縮病(車上調査)

年	調査月日	調査圃場数	発生ほ場率(%)
R3 (2021)	4/5, 6	292	0.0
<b>平年値</b>		<b>412</b>	<b>7.5</b>
R2 (2020)	4/3~8	305	4.3
H31 (2019)	4/8~10	326	0.0
H30 (2018)	4/9~11	345	0.3
H29 (2017)	4/10, 11	397	11.1
H28 (2016)	4/11~13	420	11.0
H27 (2015)	4/9~11	425	6.4
H26 (2014)	4/9~11	461	5.0
H25 (2013)	4/10~12	589	0.8
H24 (2012)	4/9~11	392	13.3
H23 (2011)	4/8, 11~13	459	23.3

### (3) 赤かび病発生状況

麦種年	5月上旬				5月中旬				5月下旬			
	調査月日	ほ場数	発生ほ場率(%)	発生茎率(%)	調査月日	ほ場数	発生ほ場率(%)	発生茎率(%)	調査月日	ほ場数	発生ほ場率(%)	発生茎率(%)
小麦	4/28, 30	8	0.0	0.0	5/10~12	8	0.0	0.0	5/24~26	36	83.3	2.5
二条		20	0.0	0.0		20	0.0	0.0		未調査	未調査	未調査
六条		12	0.0	0.0		12	0.0	0.0		23	60.9	0.9
R3 (2021)	4/28, 30	40	0.0	0.0	5/10~12	40	0.0	0.0	5/24~26	59	74.6	1.9
<b>平年値</b>		<b>40</b>	<b>0.0</b>	<b>0.0</b>		<b>40</b>	<b>8.7</b>	<b>0.0</b>		<b>44</b>	<b>25.3</b>	<b>0.1</b>
R2 (2020)	4/30, 5/1	39	0.0	0.0	5/12, 15	46	4.3	0.0	5/25~27	45	48.9	0.6
R元 (2019)	5/1, 2	40	0.0	0.0	5/10	40	0.0	0.0	5/20~27	54	1.9	0.0
H30 (2018)	5/1, 2	40	0.0	0.0	5/10	40	5.0	0.0	5/22~25	55	45.5	0.2
H29 (2017)	5/1, 2	40	0.0	0.0	5/11	40	0.0	0.0	5/23, 24, 29, 30	43	16.3	0.0
H28 (2016)	5/6	40	0.0	0.0	5/14	40	12.5	0.0	5/24~30	40	22.5	0.0
H27 (2015)	5/6	40	0.0	0.0	5/12	40	2.5	0.0	5/26~28	26	7.7	0.0
H26 (2014)	5/7, 8	40	0.0	0.0	5/13, 14	34	0.0	0.0	5/26~29	26	15.4	0.0
H25 (2013)	5/7, 8	40	0.0	0.0	5/14, 15	40	0.0	0.0	5/29, 31	45	6.7	0.0
H24 (2012)	5/6, 7, 9, 10	40	0.0	0.0	5/17, 18, 21	38	63.2	0.1	5/28~30	64	82.8	0.5
H23 (2011)	5/6, 9, 10	40	0.0	0.0	5/16, 17	45	0.0	0.0	5/23, 24	39	5.1	0.1

\* 調査数 5月上旬: ほ場あたり50茎 5月中・下旬: 100穂

3) 大豆病害虫調査結果

(1) 病害虫発生予察ほ場における病害虫発生状況

① 8月

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考	
発生ほ場数(か所)	18	3	0	5	22	4	13	令和3(2021)年8月10・11日調査	
ほ場率	本年平均値	60.0	10.0	0.0	16.7	73.3	13.3	43.3	総調査ほ場数: 30か所 総調査株数: 750株
	平年値	70.4	19.2	2.0	25.4	65.3	13.7	42.3	
頭数又は株数合計(頭、株)		264	3	0	-	64	6	40	(調査株数: 1ほ場25株)
頭率 株率	本年平均値	8.8	0.1	0.0	-	2.1	0.2	1.3	平年値は2011~2020年の平均
	平年値	10.9	0.2	0.1	-	1.8	0.3	2.6	
概 評		平年並	やや少	少	平年並	平年並	平年並	平年並	

※ハスモンヨトウは卵塊、幼虫のいる白変葉、幼虫の有無を調査  
 ※べと病の平年値は、平成27(2015)年~令和2(2020)年の6か年平均  
 発生地点率の推移

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考 (調査日の平均・総調査地点数 ・その他)
2020.8	69.2	11.5	0.0	7.7	73.1	30.8	23.1	8/11・26・-里のほほえみ: 30ほ場
2019.8	53.3	10.0	0.0	13.3	43.3	16.7	0.0	8/14・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2018.8	50.0	23.3	0.0	20.0	60.0	0.0	16.7	8/13・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2017.8	93.3	40.0	0.0	26.7	76.7	6.7	40.0	8/15・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2016.8	86.7	16.7	0.0	43.3	63.3	3.3	56.7	8/15・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2015.8	70.0	3.3	0.0	23.3	53.3	16.7	33.3	8/12・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2014.8	30.0	10.0	0.0	26.7	60.0	10.0	26.7	8/12・30・-里のほほえみ: 22ほ場
2013.8	13.3	23.3	3.3	10.0	60.0	20.0	63.3	8/15・30・-里のほほえみ: 6ほ場
2012.8	3.3	43.3	10.0	36.7	83.3	26.7	63.3	8/15・30・-里のほほえみ: 2ほ場
2011.8	0.0	10.0	6.7	46.7	80.0	6.7	100.0	8/15・30・-

発生頭数の推移

	べと病 (発生株数)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ類 (発生株数)	備考(調査日の平均)
2020.8	8.7	0.1	0.0	-	1.7	1.0	0.6	8/11・
2019.8	6.1	0.1	0.0	-	1.0	0.4	0.0	8/14・
2018.8	8.1	0.4	0.0	-	2.1	0.0	0.4	8/13・
2017.8	14.9	0.5	0.0	-	2.4	0.2	1.0	8/15・
2016.8	16.3	0.1	0.0	-	1.7	0.0	1.8	8/15・
2015.8	11.6	0.1	0.0	-	1.6	0.4	0.4	8/12・
2014.8	2.6	0.1	0.0	-	0.7	0.2	0.7	8/12・
2013.8	0.9	0.1	0.0	-	1.7	0.2	2.3	8/15・
2012.8	0.0	1.0	0.5	-	1.1	0.6	4.1	8/15・
2011.8	0.0	0.1	0.4	-	4.2	0.1	14.4	8/15・

② 9月

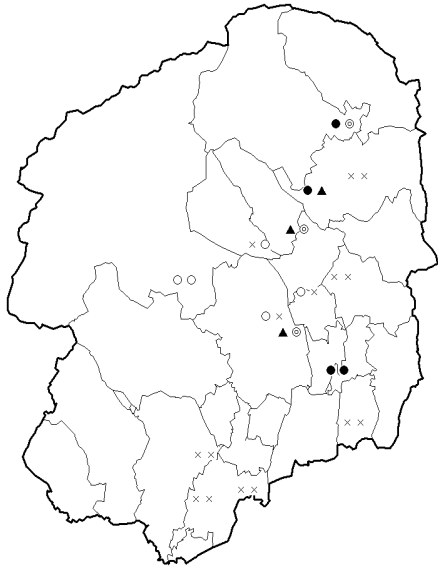
	べと病 (発生株数)	葉焼病 (株)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ 類 (発生株数)	備考	
発生ほ場数(か所)	23	8	6	2	8	10	4	23	令和3(2021)年8月31日~9月3日調査	
ほ場率	本年平均値	76.7	26.7	20.0	6.7	26.7	33.3	13.3	76.7	総調査ほ場数: 30か所 総調査株数: 750株
	平年値	86.1	39.0	30.3	6.0	44.3	39.0	25.7	63.0	
頭数又は株数合計(頭、株)		328	71	8	4	-	30	14	310	(調査株数: 1ほ場25株)
頭率 株率	本年平均値	10.9	2.4	0.3	0.1	-	1.0	0.5	10.3	平年値は2011~2020年の平均
	平年値	16.5	3.4	0.3	0.2	-	1.1	1.5	5.9	
概 評		平年並	(やや少)	平年並	平年並	平年並	平年並	やや少	平年並	

※ハスモンヨトウは卵塊、幼虫のいる白変葉、幼虫の有無を調査  
 ※べと病の平年値は、平成27(2015)年~令和2(2020)年の6か年平均  
 発生地点率の推移

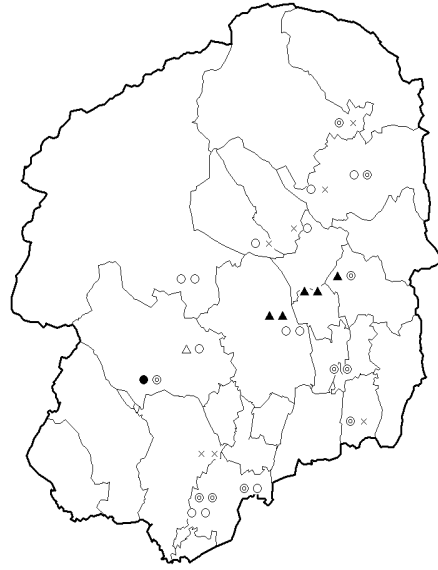
	べと病 (発生株数)	葉焼病 (株)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ 類 (発生株数)	備考 (調査日の平均・総調査地点数 ・その他)
2020.9	86.7	20.0	30.0	3.3	26.7	53.3	46.7	23.3	9/2・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2019.9	100.0	40.0	26.7	3.3	23.3	36.7	13.3	23.3	9/2・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2018.9	93.3	46.7	36.7	6.7	46.7	26.7	16.7	70.0	9/4・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2017.9	43.3	26.7	13.3	6.7	50.0	16.7	10.0	73.3	9/4・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2016.9	93.3	33.3	36.7	3.3	26.7	16.7	26.7	73.3	9/5・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2015.9	100.0	0.0	33.3	0.0	36.7	50.0	26.7	76.7	8/31・30・-里のほほえみ: 30ほ場
2014.9	73.3	20.0	23.3	3.3	43.3	40.0	13.3	96.7	9/1・30・-里のほほえみ: 22ほ場
2013.9	13.3	36.7	36.7	3.3	40.0	36.7	33.3	76.7	9/3・30・-里のほほえみ: 6ほ場
2012.9	6.7	66.7	40.0	23.3	66.7	56.7	46.7	63.3	9/4・30・-里のほほえみ: 2ほ場
2011.9	13.3	100.0	26.7	6.7	83.3	56.7	23.3	53.3	9/5・30・-

発生頭数の推移

	べと病 (発生株数)	葉焼病 (株)	カメムシ類 成虫 (頭数)	カメムシ類 幼虫 (頭数)	ハスモン ヨトウ (発生の有無)	その他 チョウ目幼虫 (頭数)	フタスジヒメ ハムシ (頭数)	アブラムシ 類 (発生株数)	備考(調査日の平均)
2020.9	12.8	0.8	0.4	0.0	-	1.5	3.2	1.3	9/2・
2019.9	23.0	2.2	0.2	0.0	-	0.7	0.8	2.6	9/2・
2018.9	15.7	4.5	0.5	0.0	-	3.6	0.4	5.2	9/4・
2017.9	10.0	4.9	0.0	0.4	-	0.3	0.7	7.0	9/4・
2016.9	12.7	1.7	0.1	0.7	-	0.2	0.6	5.7	9/5・
2015.9	24.9	0.0	0.4	0.0	-	1.5	1.4	6.7	8/31・
2014.9	18.3	1.9	0.1	0.0	-	0.6	0.4	11.3	9/1・
2013.9	1.6	3.8	0.1	0.0	-	0.5	4.2	11.1	9/3・
2012.9	1.7	7.4	0.6	0.4	-	1.2	2.3	5.1	9/4・
2011.9	0.7	6.9	0.2	0.0	-	1.1	1.3	3.0	9/5・



べと病の発生状況（8月調査）



べと病の発生状況（9月調査）

程度	無	やや少	少	平年並	やや多	多
平年比(%)	0	1~19	20~59	60~140	141~180	181~
記号	x	△	○	◎	▲	●

③ 8月 (ハスモンヨトウ)

	ハスモンヨトウ				備考	
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コ ロニ一 数	中老齢幼虫数		
発生ほ場数(か所)	0	0	0	5	令和3(2021)年8月10・11日調査	
ほ場率	本年平均値	0.0	0.0	0.0	16.7	総調査ほ場数: 30か所 総調査株数: 750株
	平年値	10.7	1.3	8.3	20.1	
頭数又は株数合計(頭、株)	0	0	0	15	(調査株数: 1ほ場25株)	
頭率 株率	本年平均値	0.0	0.0	0.0	0.5	平年値は2011~2020年の平均
	平年値	0.1	0.0	0.1	0.9	
概 評	少	少	少	平年並		

発生地点率の推移

	ハスモンヨトウ				備考 (調査日の平均・総調査地点数)
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コ ロニ一 数	中老齢幼虫数	
2020.8	0.0	0.0	0.0	7.7	8/11・26
2019.8	10.0	0.0	6.7	3.3	8/14・30
2018.8	6.7	0.0	0.0	20.0	8/13・30
2017.8	10.0	0.0	6.7	20.0	8/15・30
2016.8	13.3	3.3	13.3	40.0	8/15・30
2015.8	6.7	3.3	3.3	20.0	8/12・30
2014.8	26.7	3.3	6.7	26.7	8/12・30
2013.8	0.0	0.0	0.0	10.0	8/15・30
2012.8	6.7	0.0	13.3	26.7	8/15・30
2011.8	26.7	3.3	33.3	26.7	8/15・30

発生頭数・株数の推移

単位: 25株当たり頭数・株数

	ハスモンヨトウ				備考
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コ ロニ一 数	中老齢幼虫数	
2020.8	0.0	0.0	0.0	0.1	
2019.8	0.1	0.0	0.1	0.0	
2018.8	0.2	0.0	0.0	0.4	
2017.8	0.0	0.0	0.0	0.6	
2016.8	0.1	0.0	0.1	1.4	
2015.8	0.0	0.0	0.0	0.9	
2014.8	0.3	0.0	0.1	2.0	
2013.8	0.0	0.0	0.0	0.4	
2012.8	0.1	0.0	0.2	2.2	
2011.8	0.1	0.0	0.2	1.0	

④ 9月 (ハスモンヨトウ)

	ハスモンヨトウ				備考	
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コ ロニ一 数	中老齢幼虫数		
発生ほ場数(か所)	2	1	1	5	令和3(2021)年8月31日~9月3日調査	
ほ場率	本年平均値	6.7	3.3	3.3	16.7	総調査ほ場数: 30か所 総調査株数: 750株
	平年値	21.0	1.7	18.3	30.7	
頭数又は株数合計(頭、株)	2	1	1	14	(調査株数: 1ほ場25株)	
頭率 株率	本年平均値	0.1	0.0	0.0	0.5	平年値は2011~2020年の平均
	平年値	0.2	0.0	0.2	1.8	
概 評	やや少	やや多	少	やや少		

発生地点率の推移

	ハスモンヨトウ				備考 (調査日の平均・総調査地点数)
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コ ロニ一 数	中老齢幼虫数	
2020.9	16.7	0.0	16.7	0.0	9/2・30
2019.9	0.0	0.0	3.3	20.0	9/2・30
2018.9	16.7	0.0	3.3	40.0	9/4・30
2017.9	33.3	6.7	13.3	23.3	9/4・30
2016.9	3.3	0.0	0.0	26.7	9/5・30
2015.9	13.3	0.0	6.7	33.3	8/31・30
2014.9	26.7	3.3	26.7	23.3	9/1・30
2013.9	13.3	0.0	13.3	30.0	9/3・30
2012.9	36.7	3.3	46.7	56.7	9/4・30
2011.9	50.0	3.3	53.3	53.3	9/5・30

発生頭数・株数の推移

単位: 25株当たり頭数・株数

	ハスモンヨトウ				備考
	白変葉 (株数)	卵塊数	若齢幼虫コ ロニ一 数	中老齢幼虫数	
2020.9	0.1	0.0	0.2	0.0	
2019.9	0.0	0.0	0.0	0.2	
2018.9	0.0	0.0	0.0	3.2	
2017.9	0.5	0.1	0.1	1.2	
2016.9	0.2	0.0	0.0	2.8	
2015.9	0.1	0.0	0.1	0.6	
2014.9	0.2	0.1	0.2	0.3	
2013.9	0.0	0.0	0.0	1.8	
2012.9	0.2	0.0	0.4	5.9	
2011.9	0.3	0.0	0.9	2.5	

(2) 病害虫発生予察ほ場における被害粒発生状況

	健全粒	紫斑病	べと病	モザイク病		カメムシ類	マメシ ンクイ ガ	シロイ チモジ マダラ メイガ	サヤム シガ類	フタス ジヒメ ハムシ	腐敗粒 (フザリ ウム属 菌等)	その他 (汚粒 粒、皮切 れ等)	備考
				SMV	SSV								
発生ほ場数(か所)	15	13	15	8	0	15	12	2	0	15	15	15	令和3(2021)年10月26日~11月11日採取 総調査ほ場数:15か所 総調査株数:150株 総調査粒数:14,304粒 調査株数:10株
ほ場率 (%)	本年平均値	-	86.7	100.0	53.3	0.0	100.0	80.0	13.3	0.0	100.0	100.0	
	平年値	-	56.7	98.9	5.3	0.0	96.0	72.0	15.3	9.3	83.3	79.3	
発生粒数(粒)	7,381	966	2,293	210	0	604	501	15	0	233	309	1,768	
粒率 (%)	本年平均値	51.6	6.8	16.0	1.5	0.0	4.2	3.5	0.1	0.0	1.6	2.2	12.4
	平年値	77.1	0.5	10.8	0.1	0.0	5.1	1.5	0.0	0.0	1.8	0.9	5.7
概 評	-	やや多	やや多	多	少	平年並	やや多	平年並	少	平年並	やや多	やや多	平年値は2011~2020年の平均

※SMV：ダイズモザイクウイルス、SSV：ダイズ萎縮ウイルス

調査方法：1地点(1ほ場)から10株無作為に採取し室内で乾燥後、粒径5.5mm未満を除く全粒を調査した。

発生粒率は全粒(病害虫以外の被害粒等も含む)に対する比率。

発生地点率の推移

	健全粒	紫斑病	べと病	モザイク病		カメムシ類	マメシ ンクイ ガ	シロイ チモジ マダラ メイガ	サヤム シガ類	フタス ジヒメ ハムシ	腐敗粒 (フザリ ウム属 菌等)	その他 (汚粒 粒、皮切 れ等)	備考 (総調査地点数)
				SMV	SSV								
2020.10	-	53.3	100.0	13.3	0.0	100.0	86.7	53.3	0.0	93.3	100.0	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2019.10	-	80.0	100.0	6.7	0.0	100.0	86.7	33.3	20.0	86.7	93.3	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2018.10	-	46.7	100.0	0.0	0.0	100.0	66.7	0.0	6.7	73.3	80.0	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2017.10	-	93.3	100.0	6.7	0.0	100.0	73.3	0.0	0.0	80.0	100.0	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2016.10	-	40.0	100.0	13.3	0.0	86.7	80.0	13.3	6.7	86.7	93.3	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2015.10	-	13.3	93.3	0.0	0.0	100.0	80.0	0.0	0.0	86.7	66.7	100.0	15か所-里のほほえみ:15ほ場
2014.10	-	33.3	66.7	0.0	0.0	93.3	60.0	0.0	20.0	73.3	80.0	93.3	15か所-里のほほえみ:11ほ場
2013.10	-	66.7	26.7	0.0	0.0	86.7	66.7	13.3	26.7	73.3	53.3	100.0	15か所-里のほほえみ:3ほ場
2012.10	-	66.7	6.7	13.3	0.0	100.0	73.3	20.0	0.0	93.3	86.7	100.0	15か所-里のほほえみ:1ほ場
2011.10	-	73.3	0.0	0.0	0.0	93.3	46.7	20.0	13.3	86.7	40.0	100.0	15か所

発生粒率の推移

	健全粒	紫斑病	べと病	モザイク病		カメムシ類	マメシ ンクイ ガ	シロイ チモジ マダラ メイガ	サヤム シガ類	フタス ジヒメ ハムシ	腐敗粒 (フザリ ウム属 菌等)	その他 (汚粒 粒、皮切 れ等)	備考 (採取日の平均)
				SMV	SSV								
2020.10	77.6	0.2	7.8	0.7	0.0	6.3	2.3	0.2	0.0	1.4	1.3	2.2	10/20
2019.10	66.6	0.5	14.4	0.0	0.0	8.2	2.4	0.1	0.0	2.0	1.2	4.5	10/23
2018.10	71.6	0.1	5.5	0.0	0.0	7.9	0.8	0.0	0.1	0.7	0.7	12.6	10/23
2017.10	55.7	3.1	17.6	0.0	0.0	8.0	1.3	0.0	0.0	0.9	2.0	11.3	10/25
2016.10	69.9	0.1	13.1	0.2	0.0	2.2	2.4	0.0	0.0	2.2	2.1	7.7	10/21
2015.10	84.0	0.0	6.3	0.0	0.0	1.7	2.1	0.0	0.0	1.4	0.5	3.9	10/16
2014.10	90.2	0.1	4.8	0.0	0.0	1.8	0.5	0.0	0.1	1.0	0.4	1.0	10/20
2013.10	89.3	0.1	2.1	0.0	0.0	1.8	0.6	0.0	0.1	3.3	0.5	2.3	10/18
2012.10	78.0	0.2	0.3	0.2	0.0	9.8	1.0	0.1	0.0	2.5	0.4	7.4	10/15
2011.10	88.2	0.4	0.0	0.0	0.0	3.9	1.3	0.1	0.0	2.2	0.2	3.6	10/18



(3) 吸毒性カメムシ類のフェロモントラップによる誘殺数  
 ホソヘリカメムシ  
 (フェロモントラップ)

月一 半旬	芳賀町稲毛田			宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 8年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	2	7	22	5	3	6	4	4	12
5-2	2	5	16	2	2	3	6	2	4
5-3	1	2	7	2	3	5	0	1	1
5-4	1	1	2	2	2	5	1	1	1
5-5	4	1	1	1	1	3	1	0	1
5-6	10	1	2	1	3	4	1	1	1
6-1	6	1	1	0	3	2	1	1	2
6-2	3	1	1	3	1	2	0	1	2
6-3	2	1	1	3	2	2	0	1	3
6-4	3	1	2	1	2	0	0	1	3
6-5	1	2	0	0	2	0	0	1	1
6-6	3	5	3	0	3	0	0	2	2
7-1	4	3	8	0	4	1	2	2	5
7-2	9	4	12	0	5	3	5	3	9
7-3	19	9	12	2	4	2	10	3	6
7-4	17	8	10	2	4	1	9	3	3
7-5	3	7	6	0	5	1	3	2	3
7-6	11	6	7	4	7	4	4	5	20
8-1	3	2	3	1	4	2	2	5	10
8-2	2	3	2	0	3	1	2	5	4
8-3	0	2	2	0	2	4	3	12	50
8-4	2	1	4	0	3	2	5	15	44
8-5	2	2	4	2	4	3	9	11	28
8-6	1	2	4	4	6	7	13	9	9
9-1	2	2	3	1	6	1	4	6	8
9-2	6	4	4	4	5	3	14	7	16
9-3	3	7	3	3	4	3	6	6	13
9-4	2	5	2	1	3	2	1	4	6
9-5	1	5	1	0	2	1	1	3	4
9-6	1	8	0	0	1	0	1	3	3
5月計	20	17	50	13	15	26	13	9	20
6月計	18	12	8	7	13	6	1	6	13
7月計	63	36	55	8	30	12	33	17	46
8月計	10	12	19	7	20	19	34	58	145
9月計	15	31	13	9	21	10	27	29	50
合計	126	108	145	44	99	73	108	119	274

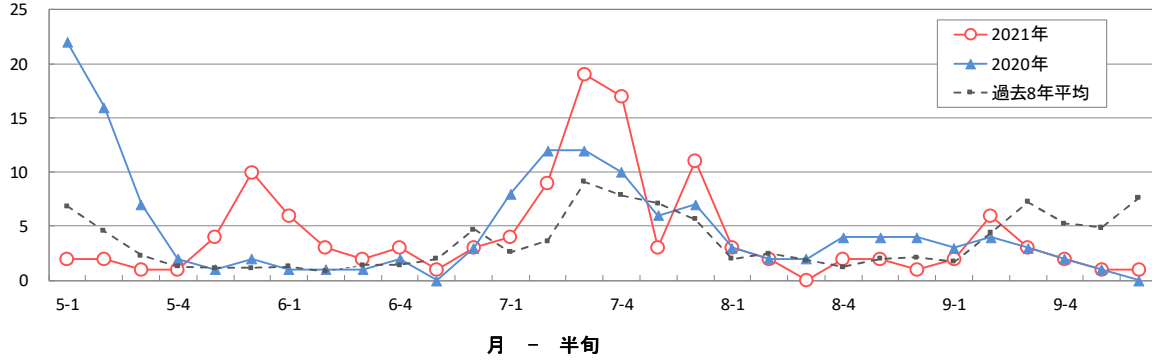
※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(フェロモントラップ ※)

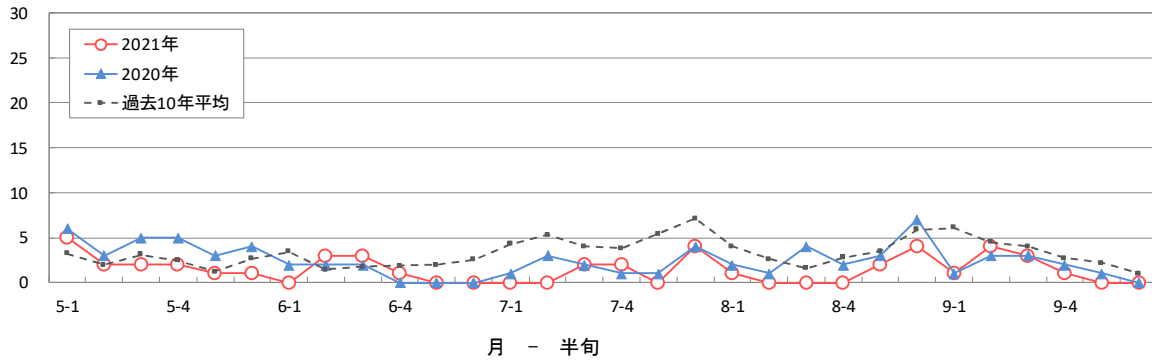
月一 半旬	日光市			益子町			さくら市			那須塩原市		
	R3 (2021)年	過去 8年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年
5-1	1	1	0	0	0	0	2	1	1	5	3	2
5-2	3	0	1	0	0	0	1	0	0	3	3	11
5-3	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	2	7
5-4	3	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	5
5-5	4	1	0	0	0	0	0	0	0	3	1	3
5-6	9	1	0	0	0	0	0	1	1	3	1	2
6-1	7	1	0	0	0	0	0	0	1	2	1	5
6-2	6	1	1	0	0	0	0	1	0	3	1	4
6-3	4	1	1	0	0	0	0	0	0	2	1	4
6-4	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	5
6-5	2	2	2	0	0	0	1	0	0	2	0	1
6-6	4	3	3	1	0	0	1	0	0	2	1	1
7-1	6	3	3	1	0	0	1	1	1	2	1	1
7-2	10	3	6	7	0	0	2	0	0	4	1	2
7-3	8	5	9	4	0	1	2	0	0	3	0	1
7-4	7	10	14	2	0	2	1	0	1	4	1	1
7-5	5	9	7	0	1	4	0	0	2	5	1	2
7-6	5	13	20	0	1	3	0	0	0	3	1	3
8-1	4	11	19	0	1	1	2	1	1	2	2	4
8-2	4	11	19	0	0	1	2	1	1	2	2	4
8-3	4	11	19	0	0	1	0	1	1	2	2	4
8-4	1	6	6	3	0	2	0	1	3	1	3	2
8-5	1	5	5	2	0	2	0	1	2	1	2	3
8-6	1	3	2	0	1	2	0	0	2	3	1	4
9-1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	4	2	3
9-2	2	3	1	1	0	0	0	0	1	6	2	3
9-3	2	2	1	1	0	0	0	0	1	4	3	4
9-4	1	2	2	1	0	0	1	0	0	3	2	4
9-5	1	2	2	0	0	0	0	0	0	5	1	1
9-6	1	2	2	0	0	1	0	0	0	3	1	2
5月計	21	3	3	0	0	0	5	2	3	17	12	30
6月計	25	10	8	1	1	0	2	2	1	12	6	20
7月計	41	43	59	14	4	10	6	2	4	21	5	10
8月計	15	48	70	5	3	9	4	5	10	11	13	21
9月計	7	12	8	3	1	2	1	0	3	25	12	17
合計	109	117	148	23	8	21	18	11	21	86	47	98

※病害虫防除員による調査

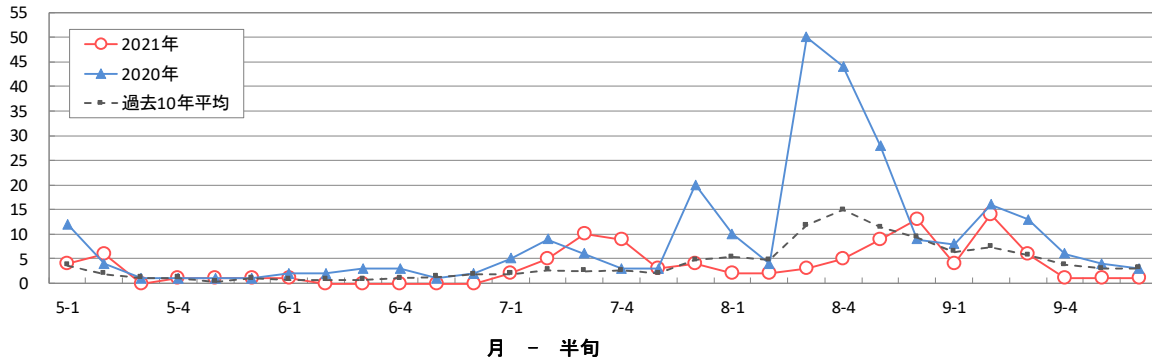
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)



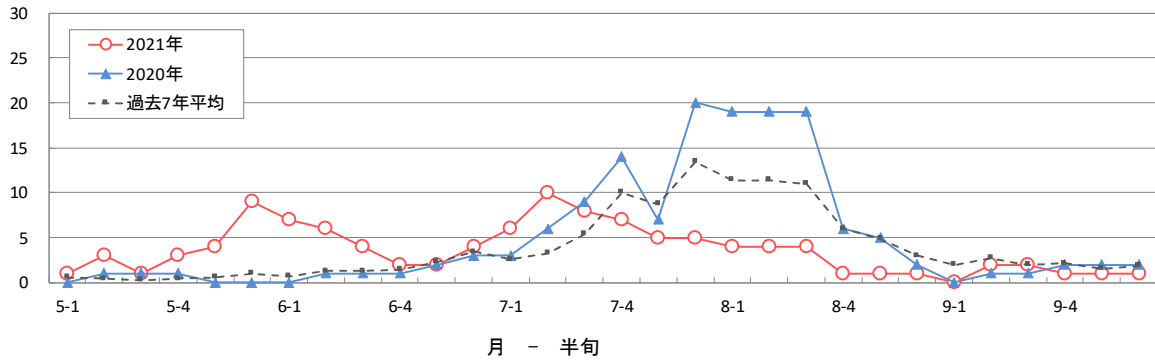
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



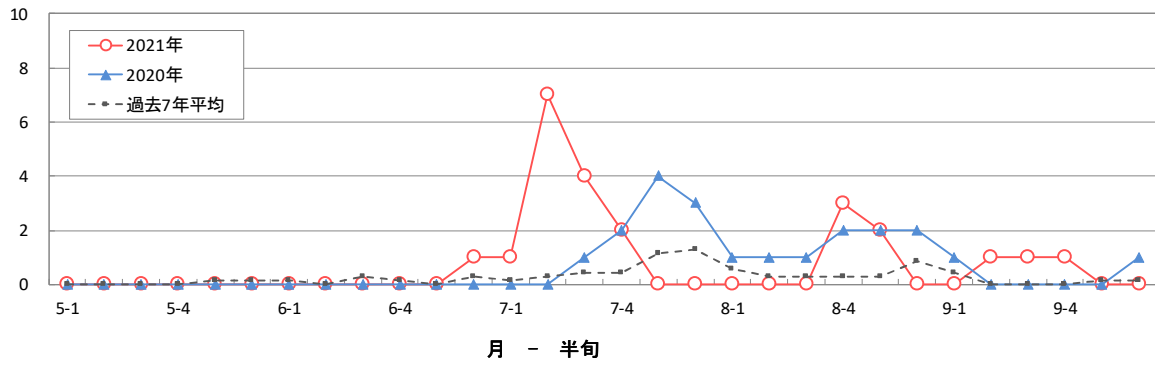
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市大塚町)



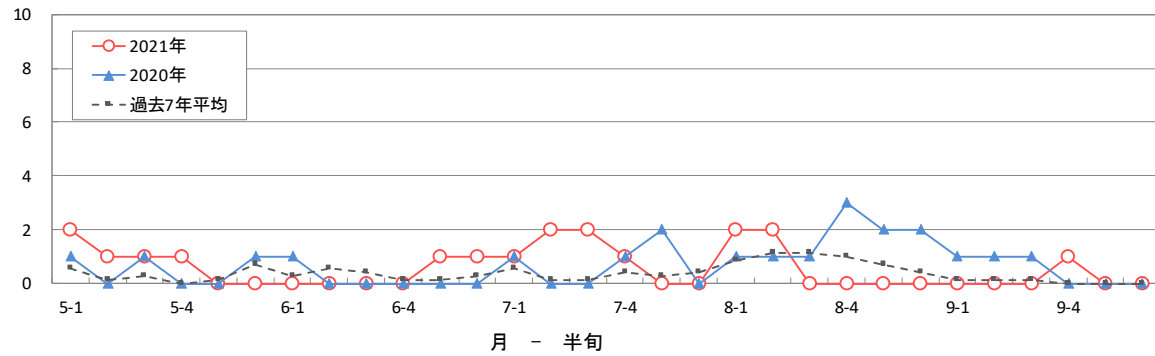
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (日光市)



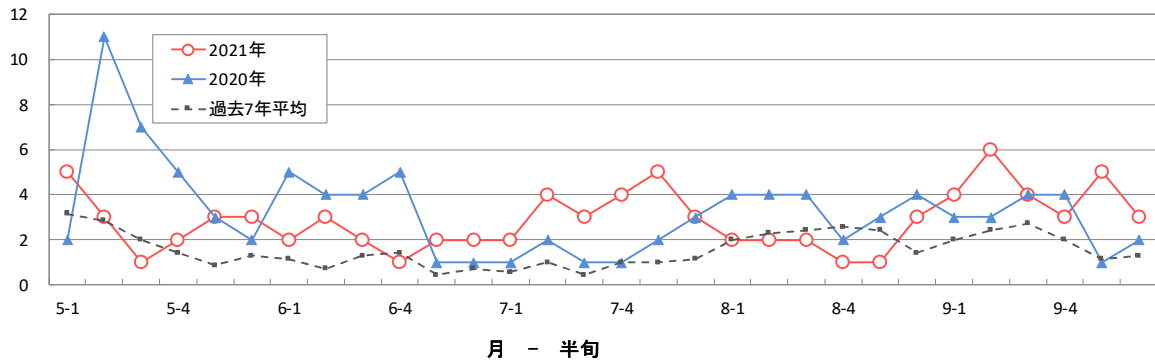
ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (益子町)



ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (さくら市)



ホソヘリカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (那須塩原市)



(4) コガネムシ類の予察灯による誘殺数

① オオクロコガネ

(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
5-4	3	0	2	0	0	0	2	0	0	1	0	0
5-5	5	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1
5-6	3	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0
6-1	5	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
6-2	5	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0
6-3	3	3	10	0	1	0	1	1	3	0	0	0
6-4	3	5	9	0	1	0	0	0	0	0	0	1
6-5	17	11	19	4	2	1	0	0	0	0	1	0
6-6	5	16	42	0	3	2	0	0	0	0	0	0
7-1	16	10	28	1	2	1	3	1	3	1	1	1
7-2	9	9	31	0	2	0	0	0	2	0	0	0
7-3	7	6	8	2	4	0	1	1	0	0	0	0
7-4	5	8	29	2	2	1	1	1	0	1	0	0
7-5	16	6	25	2	2	0	0	0	0	0	1	2
7-6	2	11	25	3	2	3	0	1	0	0	0	0
8-1	0	6	18	0	1	1	0	1	0	1	0	0
8-2	0	7	28	0	2	10	0	0	0	0	0	0
8-3	0	3	18	0	1	0	0	1	0	0	0	0
8-4	2	3	13	0	2	3	1	0	0	0	0	0
8-5	2	1	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0
8-6	3	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0
9-1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
9-2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	13	3	3	0	1	0	4	1	0	4	2	1
6月計	38	37	80	4	7	3	2	2	4	0	3	2
7月計	55	50	146	10	14	5	5	4	5	2	3	3
8月計	7	21	80	0	9	14	1	2	1	1	0	0
9月計	0	2	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0
合計	113	112	311	14	31	22	13	9	11	7	8	6

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

② ヒメコガネ

(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-3	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-4	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6-5	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
7-2	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
7-3	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0
7-4	2	1	1	0	1	4	1	2	0	0	0	0
7-5	3	1	1	3	2	11	0	4	0	0	3	4
7-6	6	3	1	1	3	10	1	3	2	4	8	1
8-1	4	3	5	3	2	6	1	2	0	7	11	5
8-2	3	4	14	3	3	11	0	2	1	7	9	17
8-3	0	3	14	2	2	7	1	1	3	4	5	11
8-4	3	2	5	1	2	7	1	1	2	2	3	9
8-5	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	3	3
8-6	2	1	2	0	0	0	0	0	0	3	1	2
9-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
7月計	12	5	3	5	7	26	3	11	2	6	12	5
8月計	14	14	42	11	11	32	4	7	7	24	31	47
9月計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	26	24	45	16	19	58	7	18	9	30	44	53

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

③ ドウガネブイブイ  
(60W予察灯)

月一 半旬	大田原市			宇都宮市瓦谷町			小山市			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6-2	0	0	0	1	0	0	1	1	4	4	0	1
6-3	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0
6-4	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0
6-5	0	0	0	1	0	0	1	2	6	0	2	1
6-6	0	1	0	1	1	4	4	2	1	0	2	4
7-1	0	1	0	0	1	0	2	3	3	1	1	2
7-2	1	1	0	4	2	0	1	3	4	1	2	0
7-3	0	1	2	4	1	1	5	3	0	5	1	0
7-4	1	1	0	15	1	2	6	4	2	4	2	0
7-5	2	1	1	4	2	8	0	3	0	0	2	0
7-6	0	1	0	4	1	1	1	3	2	5	2	3
8-1	1	1	1	12	2	6	7	5	3	5	5	4
8-2	1	1	3	3	1	3	8	2	2	6	4	6
8-3	0	1	3	2	1	5	2	2	4	1	3	9
8-4	0	0	0	0	1	8	5	1	0	10	2	10
8-5	2	1	2	4	1	8	4	1	2	2	2	5
8-6	3	0	1	5	1	3	3	0	0	10	1	6
9-1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
9-3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5月計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6月計	0	1	1	4	1	4	6	5	14	4	5	6
7月計	4	5	3	31	8	12	15	19	11	16	10	5
8月計	7	4	10	26	8	33	29	11	11	34	18	40
9月計	0	1	2	2	1	2	0	1	1	0	1	1
合計	11	11	16	63	18	51	50	36	37	54	34	52

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。





(3) なす

		うどんこ病	灰色かび病 (葉率)	青枯病	半身萎凋病	輪紋病	すすかび病 (葉率)	アブラムシ類	ハダニ類 (葉率)	アザミウマ類 (葉率)	ハスモンヨトウ幼虫 (葉率)	タバコガ類幼虫被害 (果率)	ハモグリバエ類幼虫	コナジラミ類成幼虫 (葉率)	備考	
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	3	1	6	1	0	0	3	1～8日調査 総調査ほ場数：9か所 総調査株数：450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1	66.7	11.1	0.0	0.0		33.3
		発生ほ場率平年値(%)	10.9	0.0	0.0	1.1	0.0	1.8	66.4	47.4	69.4	0.0	8.1	36.3		31.2
	発生株・葉数(株・葉)		0	0	0	0	0	0	7	3	63	1	0	0		4
	発生株率	発生株・葉率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.3	7.0	0.1	0.0	0.0		0.4
		平年値(%)	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	6.5	3.6	19.0	0.0	0.1	6.0		1.3
概評		少	少	少	少	(少)	少	やや少	やや少	平年並(平年並)	少	少	やや少			
7月	発生ほ場数(か所)	3	0	0	0	0	0	1	3	4	1	0	0	7	1～8日調査 総調査ほ場数：9か所 総調査株数：450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	33.3	44.4	11.1	0.0	0.0		77.8
		発生ほ場率平年値(%)	20.0	1.1	0.0	4.2	0.0	2.2	32.6	52.0	82.2	0.0	6.7	7.3		61.0
	発生株・葉数(株・葉)		47	0	0	0	0	0	5	3	10	1	0	0		16
	発生株率	発生株・葉率(%)	10.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.3	1.1	0.1	0.0	0.0		1.8
		平年値(%)	5.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	1.6	4.9	20.0	0.0	0.2	0.2		2.7
概評		やや多	少	少	少	(少)	少	やや少	やや少	平年並(やや多)	少	少	平年並			
8月	発生ほ場数(か所)	2	0	1	0	0	1	1	1	2	1	2	0	5	3～11日調査 総調査ほ場数：9か所 総調査株数：450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	22.2	11.1	22.2	0.0		55.6
		発生ほ場率平年値(%)	31.5	0.0	2.2	4.4	1.1	3.6	43.6	47.0	76.0	5.6	14.6	5.6		82.1
	発生株・葉数(株・葉)		7	0	4	0	0	3	1	2	6	0	2	0		27
	発生株率	発生株・葉率(%)	1.6	0.0	0.9	0.0	0.0	0.3	0.2	0.2	0.7	0.0	0.2	0.0		3.0
		平年値(%)	4.5	0.0	0.1	0.1	0.0	0.5	3.8	7.9	18.8	0.0	0.4	0.3		8.0
概評		平年並	少	やや多	少	(少)	やや多	やや少	やや少	やや少(やや多)	平年並	少	平年並			
9月	発生ほ場数(か所)	3	0	2	0	0	3	3	3	2	0	0	0	8	1～8日調査 総調査ほ場数：9か所 総調査株数：450株 (調査株数 50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	22.2	0.0	0.0	0.0		88.9
		発生ほ場率平年値(%)	54.2	0.0	5.7	3.3	2.2	27.9	19.3	39.0	68.2	15.7	20.1	6.8		77.5
	発生株・葉数(株・葉)		73	0	3	0	0	96	12	4	2	0	0	0		42
	発生株率	発生株・葉率(%)	16.2	0.0	0.7	0.0	0.0	10.7	2.7	0.4	0.2	0.0	0.0	0.0		4.7
		平年値(%)	14.9	0.0	0.5	0.2	0.1	3.6	2.1	6.3	12.0	0.2	0.7	0.6		7.9
概評		平年並	少	やや多	少	(少)	やや多	やや多	やや少	やや少	少	少	少	やや少		

※灰色かび病・アザミウマ類・ハスモンヨトウ幼虫葉率調査はH28.6～、すすかび病・ハダニ類・コナジラミ類葉率調査はH26.6～、以前は株率調査のため平年値は参考値。タバコガ類幼虫被害果率調査はH28.6～、以前は幼虫寄生株率調査のため平年値は参考値。シロイチモジトウ調査はH28. 6～のため平年値は昨年値。





## (5) なら

		白斑葉枯病	乾腐病	さび病	株腐細菌病	ネダニ類	アザミウマ類	備考	
1月	発生ほ場数(か所)	0	1	0	1	1	2	6～12日調査 総調査ほ場数：20か所 総調査株数：1,000株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	5.0	0.0	5.0	5.0		10.0
		発生ほ場率平年値(%)	9.1	3.1	0.0	0.0	30.9		1.7
	発生株数(株)		0	1	0	0	1		7
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1		0.7
		平年値(%)	1.1	0.2	0.0	0.0	1.5		0.1
概評		少	平年並	少	(平年並)	少	多		
2月	発生ほ場数(か所)	0	1	0	0	1	4	5～10日調査 総調査ほ場数：20か所 総調査株数：1,000株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	5.0	0.0	0.0	5.0		20.0
		発生ほ場率平年値(%)	8.3	5.0	0.0	0.0	31.1		1.5
	発生株数(株)		0	0	0	0	1		4
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1		0.4
		平年値(%)	2.2	0.1	0.0	0.0	1.4		0.1
概評		少	やや少	少	(少)	少	多		
3月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	2	2	3～8日調査 総調査ほ場数：20か所 総調査株数：1,000株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0		10.0
		発生ほ場率平年値(%)	14.0	4.7	0.0	0.0	20.7		2.3
	発生株数(株)		0	0	0	0	7		5
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7		0.5
		平年値(%)	2.7	0.0	0.0	0.0	0.9		0.2
概評		少	少	少	(少)	やや少	多		
10月	発生ほ場数(か所)	3	0	3	0	1	1	4～11日調査 総調査ほ場数：16か所 総調査株数：800株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	18.8	0.0	18.8	0.0	6.3		6.3
		発生ほ場率平年値(%)	7.7	1.7	7.2	0.0	18.7		15.3
	発生株数(株)		5	0	10	0	1		6
	発生株率	発生株率(%)	0.6	0.0	1.3	0.0	0.1		0.8
		平年値(%)	0.1	0.0	2.9	0.0	0.7		1.5
概評		多	少	やや多	(少)	やや少	やや少		
11月	発生ほ場数(か所)	2	0	0	0	0	2	2～8日調査 総調査ほ場数：19か所 総調査株数：950株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0		10.5
		発生ほ場率平年値(%)	12.0	2.1	1.9	0.0	15.7		13.9
	発生株数(株)		10	0	0	0	0		3
	発生株率	発生株率(%)	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0		0.3
		平年値(%)	1.2	0.0	0.2	0.0	0.3		2.7
概評		平年並	少	少	(少)	少	やや少		
12月	発生ほ場数(か所)	2	0	0	0	0	1	7～10日調査 総調査ほ場数：18か所 総調査株数：900株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0		5.6
		発生ほ場率平年値(%)	12.3	5.6	0.6	0.0	18.4		8.5
	発生株数(株)		2	0	0	0	0		1
	発生株率	発生株率(%)	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0		0.1
		平年値(%)	4.8	0.1	0.0	0.0	0.9		1.4
概評		やや少	少	少	(少)	少	やや少		

※株率調査はH23.9～のため平年値は過去6年の平均値。

(6) ねぎ

		さび病	べと病	黒斑症 状	軟腐病	萎縮病	アブラ ムシ類	アザミ ウマ類	ハモグ リバエ 類幼虫	ハスモ ンヨト ウ幼虫	ネギコ ガ幼虫	備考	
7月	発生ほ場数(か所)	6	2	7	0	0	1	3	0	0	1	2～8日調査 総調査ほ場数：8か所 総調査株数：400株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	75.0	25.0	87.5	0.0	0.0	12.5	37.5	0.0	0.0		12.5
		発生ほ場率平年値(%)	39.1	12.9	68.5	0.0	0.0	0.0	84.1	7.9	0.0		6.6
	発生株数	発生株数(株)	29	6	55	0	0	2	64	0	0		0
		発生株率(%)	7.3	1.5	13.8	0.0	0.0	0.5	16.0	0.0	0.0		0.0
	株率平年値(%)	10.3	0.8	10.8	0.0	0.0	0.0	56.0	0.7	0.0	0.4		
概評		やや多	多	平年並	少	少	(少)	やや少	少	少	やや少		
8月	発生ほ場数(か所)	1	0	8	0	0	0	0	0	0	1	3、4日調査 総調査ほ場数：8か所 総調査株数：400株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	12.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		12.5
		発生ほ場率平年値(%)	16.1	4.1	91.8	0.0	0.0	0.0	81.1	1.3	0.0		1.4
	発生株数	発生株数(株)	2	0	148	0	0	0	0	0	0		1
		発生株率(%)	0.5	0.0	37.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.3
	株率平年値(%)	2.6	0.3	25.8	0.0	0.0	0.0	56.8	0.2	0.0	0.0		
概評		やや少	少	平年並	少	少	少	少	少	少	(やや多)		
9月	発生ほ場数(か所)	1	0	8	0	0	0	3	0	0	0	1～8日調査 総調査ほ場数：8か所 総調査株数：400株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	12.5	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	37.5	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	3.8	2.2	94.2	5.2	0.0	1.1	79.8	17.3	6.6		2.5
	発生株数	発生株数(株)	3	0	163	0	0	0	21	0	0		0
		発生株率(%)	0.8	0.0	40.8	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0		0.0
	株率平年値(%)	0.4	0.3	28.9	0.6	0.0	0.1	40.2	2.7	0.3	0.1		
概評		多	少	やや多	少	少	少	やや少	少	少	少		
10月	発生ほ場数(か所)	4	0	8	0	0	0	2	4	0	1	5日調査 総調査ほ場数：8か所 総調査株数：400株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0		12.5
		発生ほ場率平年値(%)	18.9	0.0	97.1	1.4	0.0	6.0	68.0	12.6	8.8		1.7
	発生株数	発生株数(株)	9	0	98	0	0	0	19	16	0		2
		発生株率(%)	2.3	0.0	24.5	0.0	0.0	0.0	4.8	4.0	0.0		0.5
	株率平年値(%)	0.8	0.0	21.9	0.0	0.0	0.1	31.4	0.2	0.2	0.0		
概評		多	少	平年並	少	少	少	少	多	少	(多)		

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。  
各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。  
－：非評価

(7) たまねぎ

		さび病	べと病	白色疫病	黒斑病	灰色かび病	黒点葉枯病	ポトリチス葉枯病	アブラムシ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	備考	
4月	発生ほ場数(か所)	0	1	0	1	0	1	0	1	6	0	7～13日調査 総調査ほ場数：8か所 総調査株数：400株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	75.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	0.0	27.9	-	2.5	0.0	29.3	0.0	13.1	42.6		0.0
		発生株数(株)	0	1	0	2	0	2	0	1	154		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.3	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.3	38.5		0.0
		平年値(%)	0.0	0.9	-	0.0	0.0	5.6	0.0	0.4	7.7		0.0
	概評		少	平年並	少	多	少	(やや少)	少	やや少	やや多		少
5月	発生ほ場数(か所)	0	3	0	1	0	2	0	0	8	0	10日調査 総調査ほ場数：8か所 総調査株数：400株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	37.5	0.0	12.5	0.0	25.0	0.0	0.0	100.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	0.0	55.6	-	16.3	0.0	11.3	0.0	13.0	90.8		1.4
		発生株数(株)	0	8	0	2	0	4	0	0	223		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	2.0	0.0	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0	55.8		0.0
		平年値(%)	0.0	9.1	-	3.8	0.0	2.0	0.0	1.3	62.1		0.0
	概評		少	平年並	少	やや多	少	(やや多)	少	少	平年並		少

※白色疫病の調査は、H28.4～のため平年値はない。

(8) キャベツ

		黒腐病	菌核病	アブラムシ類	モンシロチョウ幼虫 (アオムシ)	ハスモンヨトウ幼虫	オオタバコガ幼虫	コナガ幼虫	ヨトウムシ (ヨトウガ類幼虫)	備考	
9月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	22日調査 総調査ほ場数：6か所 総調査株数：150株 (調査株数：1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	0.0	0.0	5.3	13.5	15.3	12.0	2.5		3.7
	発生株数(株)	0	0	0	0	0	0	0	0		
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	0.0	0.0	0.1	0.8	0.6	0.5	0.1		0.1
	概評		少	少	少	少	少	(少)	少		少
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	3	0	0	13日調査 総調査ほ場数：4か所 総調査株数：100株 (調査株数：1ほ場25株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	10.0	0.0	14.2	3.3	18.2	22.5	5.0		3.3
	発生株数(株)	0	0	0	0	0	1	0	0		
	発生株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0		0.0
		平年値(%)	0.8	0.0	2.1	0.1	1.4	1.1	0.1		0.1
	概評		少	少	少	少	少	(やや多)	少		少

※株率調査はH23.9～のため、平年値は過去9年の平均値。

(9) レタス

		灰色か び病	菌核病	軟腐病	アブラ ムシ類	オオタ バコガ 幼虫	ヨトウ ムシ (ヨト ウガ類 幼虫)	ハスモ ンヨト ウ幼虫	シロイ チモジ ヨトウ 幼虫	備考	
9月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	22日調査 総調査ほ場数：6か所 総調査株数：150株 (調査株数：1ほ場25株)	
	発生 ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
		発生ほ場率平年値(%)	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	2.5		-
	発生株数(株)		0	0	0	0	0	0	0		0
	発生 株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0		0.2
概評		少	少	少	少	少	少	少	少		
10月	発生ほ場数(か所)	0	0	1	0	0	0	0	0	13日調査 総調査ほ場数：4か所 総調査株数：100株 (調査株数：1ほ場25株)	
	発生 ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	2.5	0.0	2.5	3.3	0.0	0.0	0.0		-
	発生株数(株)		0	0	0	0	0	0	0		0
	発生 株率	発生株率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0		0.0
概評		少	少	やや多	少	少	少	少	少		

※シロイチモジヨトウの調査はH28～のため平年値なし。株率調査はH23.9～のため平年値は過去9年の平均値。

5) 果樹類病虫害調査結果

(1)なし

		黒星病	黒星病 (果実)	黒斑病	赤星病	輪紋病 (果実)	火傷病	ハダニ類	ハマキムシ類 被害枝率	サビダニ類 被害枝率	アブラムシ類 寄生枝率	シンクイムシ類 (果実)	カメムシ類 (果実)	備考
5月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	6~11日調査 総調査ほ場数: 19か所 総調査葉数: 7,600葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝: 1,900枝・果実達観 (調査枝: 1ほ場100枝・果実達観)
	発生ほ場率	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	
	発生ほ場率 発生ほ場率平年値 (%)	5.4	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.6	60.7	0.0	1.1	
	発生葉数(葉)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	
	発生葉率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
	発生葉率 平年値 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	6.9	0.0	0.0	
概 評		少	-	少	平年並	-	-	少	少	(少)	少	-	-	
6月	発生ほ場数(か所)	2	0	0	2	0	0	0	0	5	8	0	0	1~9日調査 総調査ほ場数: 27か所 総調査葉数: 10,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝: 2,700枝・果実達観 (調査枝: 1ほ場100枝・果実達観)
	発生ほ場率	7.4	0.0	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	18.5	29.6	0.0	0.0	
	発生ほ場率 発生ほ場率平年値 (%)	34.4	9.5	0.4	11.9	0.0	0.0	1.5	0.7	36.8	43.3	0.0	1.1	
	発生葉数(葉)	1	0	0	1	0	0	0	0	53	20	0	0	
	発生葉率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.7	0.0	0.0	
	発生葉率 平年値 (%)	0.6	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	5.6	0.0	0.0	
概 評		やや少	-	少	平年並	-	-	少	少	(やや少)	平年並	-	-	
7月	発生ほ場数(か所)	4	3	1	2	0	0	0	0	8	2	0	0	1~7日調査 総調査ほ場数: 27か所 総調査葉数: 10,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝・果実数: 2,700枝・果 (調査枝・果実数: 1ほ場100枝・100果)
	発生ほ場率	14.8	11.1	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0	0.0	29.6	7.4	0.0	0.0	
	発生ほ場率 発生ほ場率平年値 (%)	32.3	15.6	0.4	14.6	0.0	0.0	4.7	2.5	66.5	29.3	2.2	0.0	
	発生葉数(葉)	6	5	3	4	0	0	0	0	167	2	0	0	
	発生葉率	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.2	0.1	0.0	0.0	
	発生葉率 平年値 (%)	0.4	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1	23.7	3.3	0.0	0.0	
概 評		やや少	やや多	やや多	やや多	(少)	(少)	少	少	(やや少)	やや少	(少)	少	
8月	発生ほ場数(か所)	2	5	0	2	0	0	1	0	8	3	0	0	3~11日調査 総調査ほ場数: 27か所 総調査葉数: 10,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査枝・果実数: 2,700枝・果 (調査枝・果実数: 1ほ場100枝・100果)
	発生ほ場率	7.4	18.5	0.0	7.4	0.0	0.0	3.7	0.0	29.6	11.1	0.0	0.0	
	発生ほ場率 発生ほ場率平年値 (%)	27.9	28.0	0.3	12.6	0.0	0.0	22.1	3.6	80.5	15.0	0.3	2.9	
	発生葉数(葉)	3	11	0	1	0	0	1	0	195	6	0	0	
	発生葉率	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.2	0.2	0.0	0.0	
	発生葉率 平年値 (%)	0.2	0.5	0.0	0.1	0.0	0.0	1.0	0.1	29.4	0.4	0.0	0.0	
概 評		やや少	平年並	少	やや少	(少)	(少)	少	少	(やや少)	平年並	(少)	少	

※サビダニ類被害枝率調査はH27.5~のため平年値は過去2年間の平均値。ハマキムシ類被害枝率調査はH26.5~、以前は葉での幼虫調査のため平年値は参考値。

※果実調査は7、8月。(5、6月は達観調査。)

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。  
各月の概評は、病虫害の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

## (2) ぶどう

		べと病 (葉)	べと病 (花穂)	晩腐病 (花穂)	黒とう 病(花 穂)	褐斑病 (葉)	灰色か び病 (葉)	アブラ ムシ類 (葉)	ハダニ 類 (葉)	備考	
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	1～8日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉・花穂数: 1,000葉・花穂 (調査葉・花穂数: 1ほ場100葉・花穂)	
	発生 ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	3.3	1.1	0.0	1.3	0.0	0.0	3.2		0.0
	発生葉・花穂数(葉・花穂)		0	0	0	0	0	0	0		0
	発生 葉・花穂 率	発生葉・花穂率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3		0.0
概評		少	-	少	少	(少)	少	少	少		
7月	発生ほ場数(か所)	1	0	0	0	0	0	0	0	5～7日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査葉・花穂数: 1,000葉・花穂 (調査葉・花穂数: 1ほ場100葉・花穂)	
	発生 ほ場率	発生ほ場率 (%)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	5.4	1.0	1.3	13.7	4.3	0.0	0.0		1.3
	発生葉・花穂数(葉・花穂)		0	0	0	0	0	0	0		0
	発生 葉・花穂 率	発生葉・花穂率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.1	0.0	0.0	1.2	0.3	0.0	0.0		0.0
概評		平年並	-	少	少	(少)	少	少	少		
8月	発生ほ場数(か所)	5	0	0	0	1	0	0	0	5～11日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査葉・花穂数: 900葉・花穂 (調査葉・花穂数: 1ほ場100葉・花穂)	
	発生 ほ場率	発生ほ場率 (%)	55.6	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	41.0	0.0	11.5	5.4	27.4	0.0	0.0		2.2
	発生葉・花穂数(葉・花穂)		7	0	0	0	5	0	0		0
	発生 葉・花穂 率	発生葉・花穂率 (%)	0.8	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	3.5	0.0	1.1	1.2	7.5	0.0	0.0		0.0
概評		平年並	-	少	少	(やや少)	少	少	少		

※8月は花穂調査が可能な圃場は1か所のため、花穂調査の概評なし。

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。  
各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

－：非評価



(3) りんご

		斑点落葉病	赤星病	褐斑病	火傷病	黒星病	輪紋病(果実)	ハダニ類	ハマキムシ類幼虫	アブラムシ類	シンクイムシ類(果)	備考
6月	発生ほ場数(か所)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2～9日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 果実達観調査
	発生ほ場率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(年平均値)	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	8.1	1.4	
	発生葉数(葉)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	発生葉率	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生葉率(年平均値)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
概評		少	少	少	(少)	少	少	少	少	少	少	
7月	発生ほ場数(か所)	4	0	5	0	0	0	0	0	0	0	1、2日調査 総調査ほ場数: 6か所 総調査葉数: 2,400葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 果実達観調査
	発生ほ場率	66.7	0.0	83.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(年平均値)	15.2	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	7.4	0.0	8.3	0.0	
	発生葉数(葉)	20	0	7	0	0	0	0	0	0	0	
	発生葉率	0.8	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生葉率(年平均値)	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	
概評		多	少	多	(少)	少	少	少	少	少	少	
8月	発生ほ場数(か所)	7	0	7	0	0	1	0	0	0	0	3～5日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査果実数: 700果 (調査果数: 1ほ場100果)
	発生ほ場率	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生ほ場率(年平均値)	25.7	1.7	25.0	0.0	0.0	0.0	17.6	2.9	18.3	0.0	
	発生葉数(葉)	75	0	85	0	0	0	0	0	0	0	
	発生葉率	2.7	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	発生葉率(年平均値)	0.4	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	1.9	0.1	0.4	0.0	
概評		多	少	多	(少)	少	(やや多)	少	少	少	少	
9月	発生ほ場数(か所)	7	0	7	0	0	2	1	0	1	0	1～7日調査 総調査ほ場数: 7か所 総調査葉数: 2,800葉 (調査葉数: 1ほ場400葉) 総調査果実数: 700果 (調査果数: 1ほ場100果)
	発生ほ場率	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0	14.3	0.0	
	発生ほ場率(年平均値)	37.0	0.0	55.2	0.0	0.0	0.0	63.4	1.6	12.5	0.0	
	発生葉数(葉)	98	0	188	0	0	2	3	0	2	0	
	発生葉率	3.5	0.0	6.7	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	
	発生葉率(年平均値)	0.3	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	7.6	0.0	0.0	0.0	
概評		多	少	多	(少)	少	(やや多)	やや少	少	平年並	少	

※黒星病調査はH28～のため年平均値はない。9月の調査はH25～のため年平均値は過去4年の平均値。

※果実調査は8、9月。(6、7月は葉周辺部の果実の達観調査。)

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

－：非評価

6) 花き類病害虫調査結果

(1) きく

		白さび病	アブラムシ類	ハダニ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	コナジラミ類	ハスモンヨウ	備考	
1月	発生ほ場数(か所)	0	0	4	0	0	0	0	6、7日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	6.6	7.8	45.2	12.9	0.0	2.0		0.0
	発生株数(株)		0	0	27	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	1.8	0.5	11.0	0.8	0.0	0.0		0.0
概 評		平年並	やや少	平年並	少	(少)	(少)	少		
2月	発生ほ場数(か所)	0	0	5	0	0	0	0	8～10日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	5.9	5.4	36.9	6.1	0.0	0.9		0.0
	発生株数(株)		0	0	86	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.0	17.2	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.3	0.2	8.1	0.5	0.0	0.1		0.0
概 評		少	少	やや多	少	(少)	(少)	少		
3月	発生ほ場数(か所)	0	1	5	0	0	0	0	3～5日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	10.0	50.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	11.8	1.9	41.8	11.5	0.0	0.0		0.0
	発生株数(株)		0	11	67	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	2.2	13.4	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	0.8	0.1	8.6	0.9	0.0	0.0		0.0
概 評		少	多	平年並	少	(少)	(少)	少		
4月	発生ほ場数(か所)	1	0	6	0	0	0	0	8～12日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	10.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	14.2	10.3	49.9	11.7	0.0	1.9		0.0
	発生株数(株)		0	0	35	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	3.0	0.6	11.6	0.8	0.0	0.1		0.0
概 評		平年並	少	平年並	少	(少)	(少)	少		
5月	発生ほ場数(か所)	1	0	3	2	0	0	0	6、7日調査 総調査ほ場数: 9か所 総調査株数: 450株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	11.1	0.0	33.3	22.2	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	16.3	19.7	60.6	22.1	1.0	1.0		0.0
	発生株数(株)		7	0	17	20	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	1.6	0.0	3.8	4.4	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	2.5	2.2	16.3	3.0	0.0	0.0		0.0
概 評		平年並	少	やや少	やや多	(少)	(少)	少		
6月	発生ほ場数(か所)	1	1	6	1	0	0	0	1～9日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	10.0	10.0	60.0	10.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	14.1	5.0	61.2	32.4	4.0	5.1		0.0
	発生株数(株)		1	3	59	2	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.2	0.6	11.8	0.4	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	3.5	0.3	18.1	5.3	0.1	0.8		0.0
概 評		やや少	やや多	平年並	やや少	(少)	(少)	少		
7月	発生ほ場数(か所)	1	2	5	0	0	0	0	2～7日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	10.0	20.0	50.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	11.9	6.3	56.3	23.4	0.0	5.1		1.0
	発生株数(株)		1	10	11	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.2	2.0	2.2	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	2.8	0.8	15.4	5.5	0.0	0.4		0.0
概 評		やや少	多	平年並	少	(少)	(少)	少		
8月	発生ほ場数(か所)	0	2	7	2	0	1	0	3、4日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	20.0	70.0	20.0	0.0	10.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	6.4	7.1	66.4	13.2	0.0	5.0		1.8
	発生株数(株)		0	6	93	7	0	1		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	1.2	18.6	1.4	0.0	0.2		0.0
		平年値 (%)	1.3	0.8	24.9	1.3	0.0	0.3		0.0
概 評		少	多	平年並	やや多	(少)	(やや多)	少		
9月	発生ほ場数(か所)	0	1	5	0	0	2	0	1～3日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	10.0	50.0	0.0	0.0	20.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	4.1	13.0	73.5	13.1	0.0	9.8		6.8
	発生株数(株)		0	1	53	0	0	5		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	0.2	10.6	0.0	0.0	1.0		0.0
		平年値 (%)	0.8	1.4	16.4	0.6	0.0	1.0		0.2
概 評		少	やや少	平年並	少	(少)	(やや多)	少		
10月	発生ほ場数(か所)	0	4	10	0	0	0	0	5～12日調査 総調査ほ場数: 10か所 総調査株数: 500株 (調査株数: 1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率 (%)	0.0	40.0	100.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値 (%)	4.2	7.4	78.6	13.6	0.0	7.7		5.1
	発生株数(株)		0	14	152	0	0	0		0
	発生株率	発生株率 (%)	0.0	2.8	30.4	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値 (%)	1.2	1.0	25.4	1.2	0.0	0.2		0.1
概 評		少	多	平年並	少	(少)	(少)	少		

11月	発生ほ場数(か所)		0	1	8	0	0	0	1～5日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査株数：500株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	0.0	10.0	80.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	6.0	4.9	55.4	10.6	0.0	8.3		1.0
	発生株数(株)		0	5	21	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	0.0	1.0	4.2	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	0.8	0.1	14.8	0.7	0.0	0.3		0.1
	概評		少	やや多	やや多	少	(少)	(少)		少
12月	発生ほ場数(か所)		2	0	7	0	0	0	7～9日調査 総調査ほ場数：10か所 総調査株数：500株 (調査株数：1ほ場50株)	
	発生ほ場率	発生ほ場率(%)	20.0	0.0	70.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		発生ほ場率平年値(%)	9.6	6.3	53.5	6.2	0.0	6.3		0.0
	発生株数(株)		11	0	45	0	0	0		0
	発生株率	発生株率(%)	2.2	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0		0.0
		平年値(%)	1.2	0.3	11.6	0.7	0.0	0.1		0.0
	概評		多	少	平年並	少	(少)	(少)		少

※シロイチモジヨトウの調査はH28.4～のため、1～3月は平年値はなく、4月以降はH28年の値。

発生ほ場率と発生株率の発生程度は、過去10年の平均値と比較して評価しています。

各月の概評は、病害虫の発生ほ場率、発生株率から評価した結果です。

－：非評価

7) その他調査結果

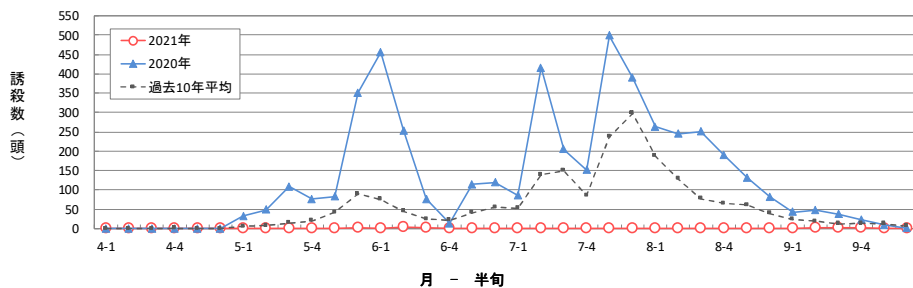
(1) カメムシ類の誘殺数 (斑点米カメムシ類除く)

① チャバネアオカメムシ

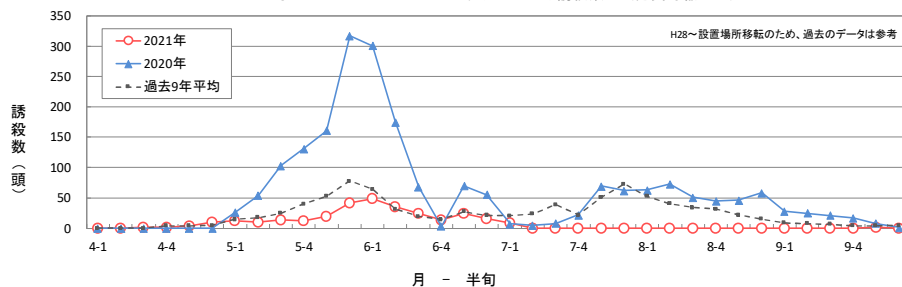
(フェロモントラップ)

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			芳賀町稲毛田		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 9年 平均	R2 (2020)年
4-1	0	0	0	0	0	0
4-2	0	0	0	0	0	0
4-3	0	0	0	1	0	0
4-4	0	1	0	1	4	0
4-5	0	1	0	4	4	0
4-6	0	0	0	10	5	0
5-1	0	7	33	13	15	26
5-2	0	8	49	10	17	54
5-3	0	15	109	14	25	103
5-4	0	21	77	12	40	131
5-5	1	42	83	20	53	161
5-6	2	90	351	42	78	317
6-1	1	76	455	49	64	301
6-2	4	45	254	35	31	175
6-3	3	26	77	24	19	68
6-4	0	22	14	14	15	3
6-5	1	41	115	24	27	70
6-6	0	56	119	16	21	55
7-1	0	53	86	9	20	7
7-2	0	140	415	0	24	5
7-3	0	150	205	0	39	8
7-4	0	86	152	0	22	22
7-5	0	237	498	0	51	69
7-6	0	298	390	0	73	62
8-1	0	188	263	0	53	63
8-2	0	129	245	0	41	73
8-3	0	78	251	0	34	51
8-4	0	65	190	0	32	45
8-5	0	61	132	0	22	46
8-6	1	40	82	0	15	58
9-1	0	25	43	0	9	28
9-2	3	20	48	0	8	25
9-3	3	13	38	0	6	21
9-4	3	13	23	0	4	17
9-5	1	13	10	1	4	8
9-6	0	7	1	0	5	1
4月計	0	2	0	16	13	0
5月計	3	183	702	111	228	792
6月計	9	265	1,034	162	178	672
7月計	0	964	1,746	9	229	173
8月計	1	560	1,163	0	196	336
9月計	10	91	163	1	36	100
合計	23	2,064	4,808	299	881	2,073

チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



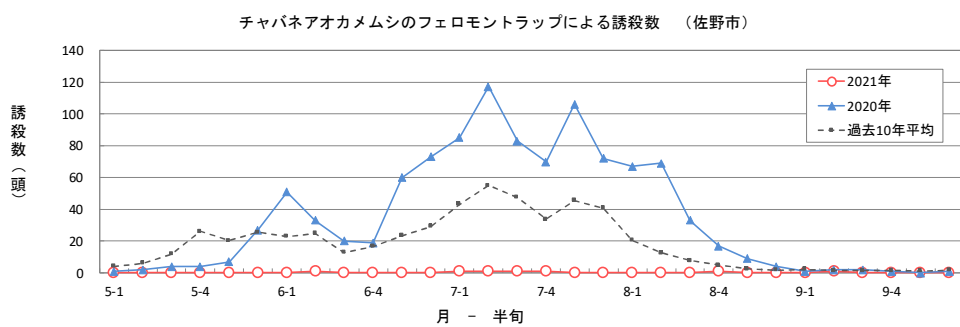
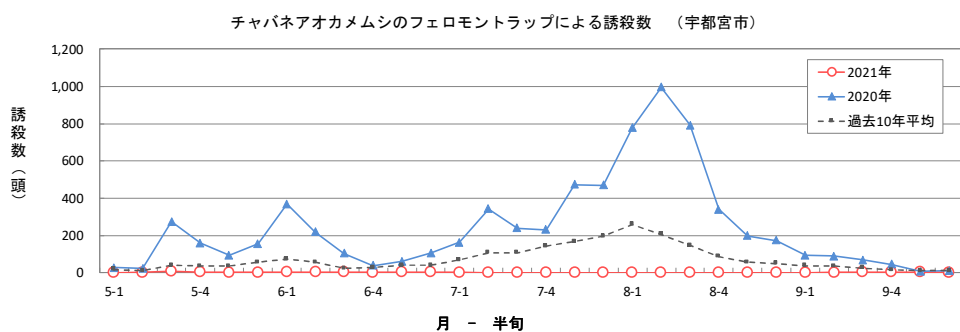
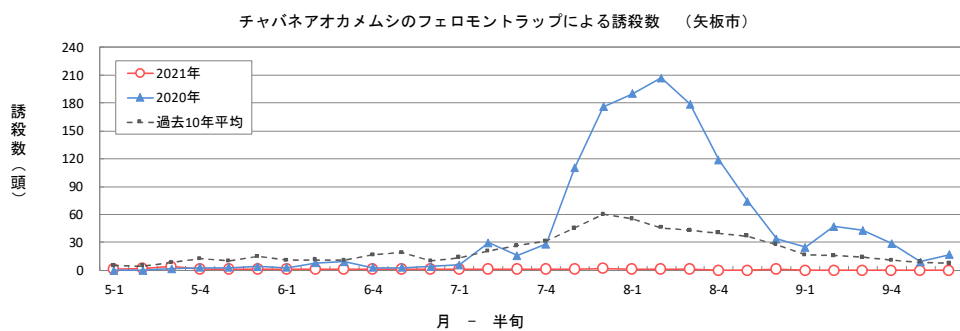
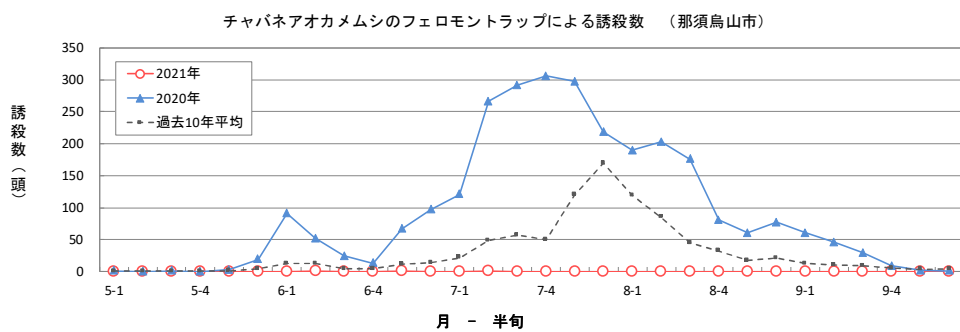
チャバネアオカメムシのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)



(フェロモントラップ※)

月一 半旬	那須烏山市			矢板市			宇都宮市			佐野市		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
4-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5-1	0	0	1	1	5	0	0	17	28	0	4	1
5-2	0	0	0	2	5	0	1	9	22	0	6	2
5-3	0	0	1	4	8	2	6	38	274	0	12	4
5-4	0	1	0	1	13	3	2	35	159	0	26	4
5-5	0	1	3	1	10	3	1	34	92	0	20	7
5-6	0	4	19	1	15	4	1	55	155	0	26	27
6-1	0	13	91	1	11	3	5	72	368	0	23	51
6-2	1	12	52	1	11	8	4	56	218	1	25	33
6-3	0	4	24	1	11	9	2	23	102	0	13	20
6-4	0	4	13	1	17	3	1	26	37	0	17	19
6-5	1	11	67	1	19	3	4	40	60	0	24	60
6-6	0	14	97	1	10	4	2	39	104	0	29	73
7-1	0	21	121	1	14	6	1	68	162	1	43	85
7-2	1	48	267	1	21	30	0	108	341	1	55	117
7-3	0	57	292	1	26	16	0	108	238	1	48	83
7-4	0	49	306	1	32	28	0	142	230	1	34	70
7-5	0	120	298	1	45	110	0	168	472	0	46	106
7-6	0	169	219	2	60	176	0	196	469	0	41	72
8-1	0	119	190	1	55	190	0	259	777	0	21	67
8-2	0	85	203	1	46	207	0	205	994	0	13	69
8-3	0	45	176	1	43	179	0	145	790	0	8	33
8-4	0	32	81	0	40	119	0	87	339	1	5	17
8-5	0	17	60	0	37	74	0	55	197	0	3	9
8-6	0	21	77	1	28	34	0	50	173	0	2	4
9-1	0	12	60	0	16	25	0	37	93	0	2	1
9-2	0	10	46	0	16	47	1	35	88	1	2	2
9-3	0	9	29	0	14	43	2	25	69	0	2	2
9-4	0	5	9	0	11	29	3	16	46	0	2	1
9-5	0	3	2	0	9	9	3	10	6	0	1	0
9-6	0	4	1	0	8	17	1	10	10	0	2	1
5月計	0	6	24	10	56	12	11	189	730	0	94	45
6月計	2	59	344	6	79	30	18	256	889	1	130	256
7月計	1	464	1,503	7	197	366	1	789	1,912	4	266	533
8月計	0	319	787	4	248	803	0	801	3,270	1	50	199
9月計	0	43	147	0	74	170	10	132	312	1	10	7
合計	3	891	2,805	27	654	1,381	40	2,167	7,113	7	551	1,040

※病害虫防除員による調査

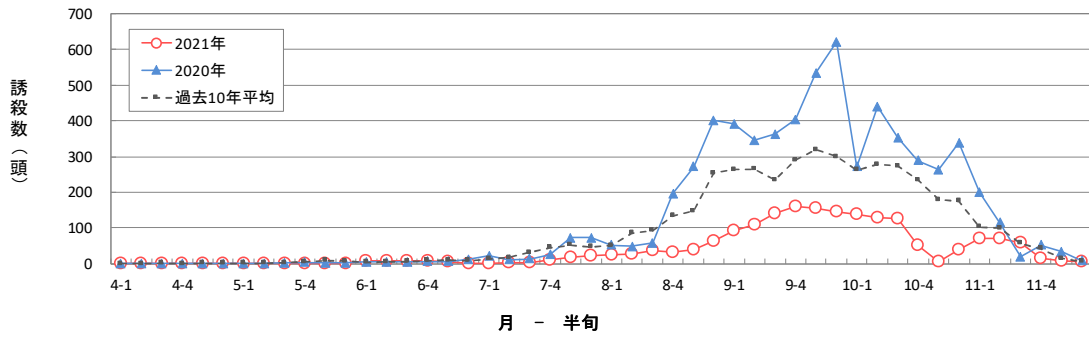


## (2) チョウ類のフェロモントラップによる誘殺数(ニカメイガ除く)

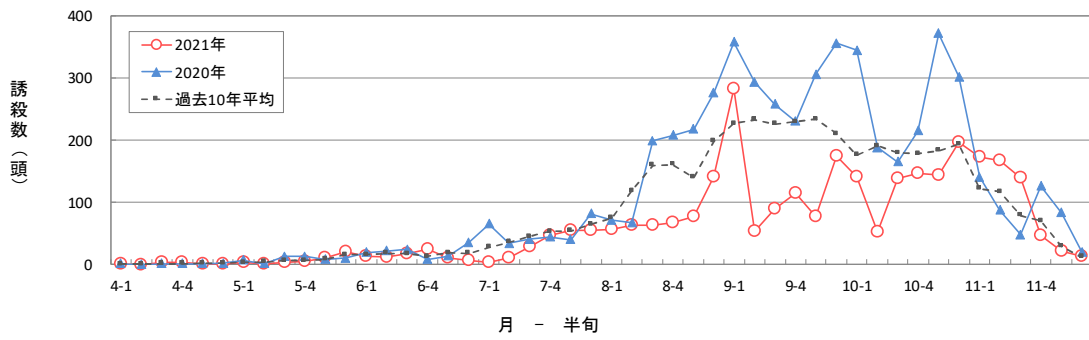
## ①ハスモンヨトウ

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
4-1	0	0	0	1	1	1
4-2	0	0	0	0	1	0
4-3	0	0	0	4	1	1
4-4	0	0	0	4	1	1
4-5	1	1	0	1	2	1
4-6	1	1	0	1	2	2
5-1	1	1	0	3	3	7
5-2	1	1	0	1	4	1
5-3	1	3	2	4	6	13
5-4	1	4	3	5	6	13
5-5	1	8	2	10	8	8
5-6	1	7	2	20	16	10
6-1	7	4	4	13	15	19
6-2	7	5	5	12	18	22
6-3	7	5	5	17	17	24
6-4	7	8	6	24	13	8
6-5	4	9	6	11	19	14
6-6	1	9	12	6	18	35
7-1	0	13	21	4	28	65
7-2	2	17	11	11	36	34
7-3	3	31	13	29	45	41
7-4	10	45	25	47	54	44
7-5	18	51	72	55	54	40
7-6	21	47	72	55	65	82
8-1	25	50	52	56	75	71
8-2	27	86	48	63	119	67
8-3	36	92	58	63	160	199
8-4	31	134	196	67	161	208
8-5	39	147	272	77	140	218
8-6	62	253	401	141	198	276
9-1	92	263	391	283	226	358
9-2	108	264	345	54	233	293
9-3	141	235	362	90	226	258
9-4	161	290	404	114	230	230
9-5	155	319	534	77	233	306
9-6	145	299	621	174	210	356
10-1	137	263	272	141	176	345
10-2	128	277	440	52	190	188
10-3	126	273	353	138	179	165
10-4	51	234	289	147	178	215
10-5	6	178	263	144	183	372
10-6	38	174	338	197	193	302
11-1	70	102	199	173	122	141
11-2	70	98	114	167	117	87
11-3	58	57	19	140	79	48
11-4	14	41	51	47	70	126
11-5	7	14	34	21	29	83
11-6	6	6	8	14	12	20
4月計	2	3	0	11	8	6
5月計	6	24	9	43	43	52
6月計	33	39	38	83	100	122
7月計	54	203	214	201	281	306
8月計	220	763	1,027	467	852	1,039
9月計	802	1,670	2,657	792	1,358	1,801
10月計	486	1,399	1,955	819	1,100	1,587
11月計	225	318	425	562	429	505
合計	1,828	4,418	6,325	2,978	4,170	5,418

ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市大塚町)





ハスモンヨトウ※

月一 半旬	大田原市			芳賀町			鹿沼市			小山市		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
6-1	1	3	3	1	4	6	1	4	13	9	12	24
6-2	2	4	3	6	7	10	3	7	29	12	15	31
6-3	7	7	3	10	9	15	4	10	38	14	17	35
6-4	6	6	2	12	12	23	4	11	28	17	19	28
6-5	1	4	3	10	15	25	5	15	43	15	26	29
6-6	2	3	4	10	15	19	6	21	61	22	29	31
7-1	3	4	4	8	18	9	6	24	82	26	33	33
7-2	2	5	8	3	24	14	4	29	58	21	37	68
7-3	8	7	7	6	33	16	4	40	83	24	49	68
7-4	14	17	6	25	43	16	4	52	97	24	55	60
7-5	21	18	6	51	40	7	4	59	90	22	61	49
7-6	17	15	9	84	49	21	22	90	182	22	83	50
8-1	21	15	12	60	46	27	21	74	159	28	91	35
8-2	36	41	18	75	64	41	35	106	156	32	100	32
8-3	89	34	33	101	78	79	54	132	156	28	102	68
8-4	24	42	62	30	96	159	36	161	306	23	111	59
8-5	59	58	65	53	110	193	38	157	323	24	106	52
8-6	103	90	82	115	152	251	147	293	388	28	132	58
9-1	104	94	207	151	117	186	289	326	478	19	135	63
9-2	14	96	287	96	118	123	109	417	537	15	156	67
9-3	26	118	258	66	113	90	141	396	545	15	166	66
9-4	35	141	183	57	111	64	158	448	535	15	177	62
9-5	120	149	216	104	114	50	144	452	382	24	168	83
9-6	144	168	198	96	86	41	143	385	322	17	128	106
10-1	134	176	160	73	74	34	172	353	286	14	110	114
10-2	69	168	250	42	72	29	215	332	302	14	102	86
10-3	133	150	152	59	74	29	256	315	260	10	99	63
10-4	63	117	109	36	69	29	181	312	340	8	108	68
10-5	20	69	81	31	51	29	137	258	476	7	83	108
10-6	46	89	99	89	42	26	197	255	587	17	68	73
6月計	19	27	18	49	61	98	23	69	212	89	118	178
7月計	65	66	40	177	209	83	44	293	592	139	319	328
8月計	332	280	272	434	545	750	331	923	1,488	163	641	304
9月計	443	765	1,349	570	660	554	984	2,424	2,799	105	930	447
10月計	465	770	851	330	382	176	1,158	1,824	2,251	70	569	512
合計	1,324	1,907	2,530	1,560	1,857	1,661	2,540	5,532	7,342	566	2,577	1,769

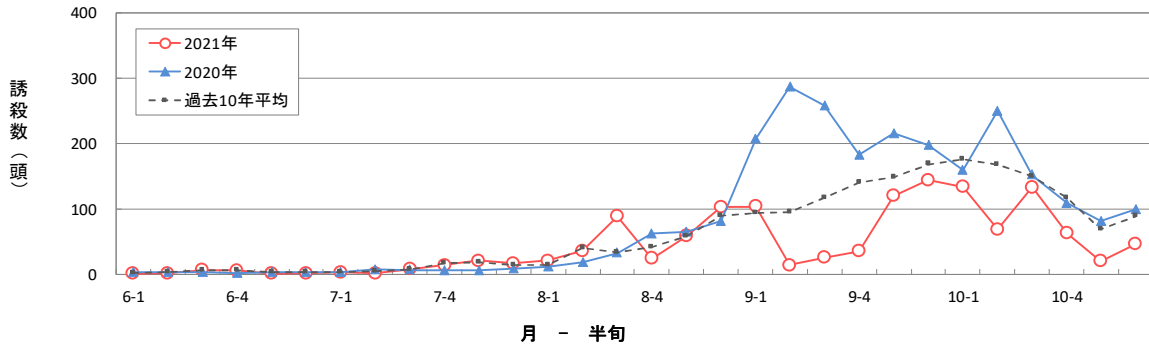
※病害虫防除員による調査

ハスモンヨトウ※

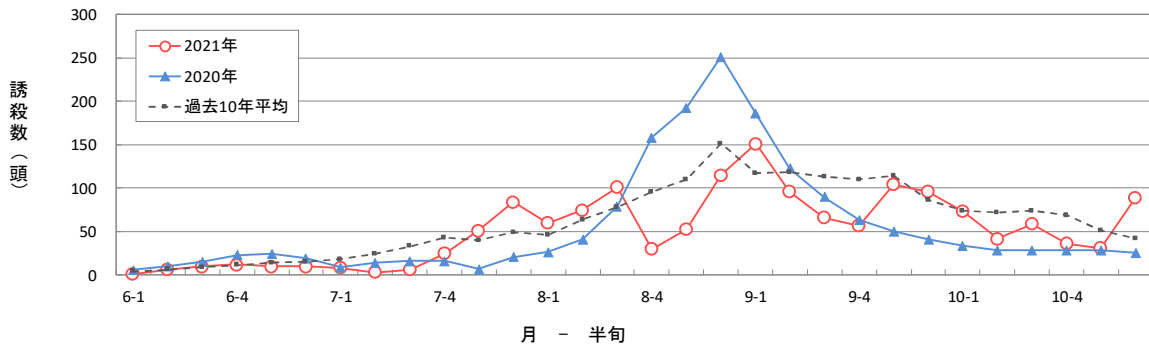
月一 半旬	栃木市			野木町			塩谷町			足利市		
	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 4年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年
6-1	6	9	13	6	7	18	1	2	0	10	10	14
6-2	9	11	18	9	9	24	0	1	1	7	19	17
6-3	11	17	21	9	10	30	0	1	1	8	19	19
6-4	18	20	23	7	9	19	1	3	0	11	19	14
6-5	12	20	20	11	10	14	2	3	0	5	26	12
6-6	23	21	26	18	10	10	2	5	11	17	25	15
7-1	30	26	37	20	8	6	2	11	25	28	33	25
7-2	29	28	46	11	13	28	3	10	21	35	38	17
7-3	25	34	55	14	19	29	5	13	25	16	59	23
7-4	29	49	58	21	25	27	5	14	24	38	67	29
7-5	41	57	46	30	26	14	4	19	11	78	68	39
7-6	55	72	74	74	36	31	18	23	16	219	88	28
8-1	64	77	61	65	31	21	11	28	16	218	76	38
8-2	96	107	61	75	39	17	21	78	33	236	164	86
8-3	125	137	71	90	56	34	38	84	93	251	221	229
8-4	125	136	100	61	53	44	44	84	72	164	228	205
8-5	91	117	91	58	66	51	51	89	78	90	158	170
8-6	117	228	102	91	140	74	78	177	133	367	227	269
9-1	156	191	179	117	86	61	84	160	192	835	272	706
9-2	165	179	50	94	139	97	59	160	214	274	358	1,142
9-3	152	190	82	97	132	116	47	198	199	302	404	962
9-4	150	190	179	93	124	131	50	196	176	284	277	528
9-5	179	220	214	57	137	86	94	172	114	137	292	764
9-6	121	185	171	74	119	77	85	131	81	111	233	544
10-1	99	146	164	79	113	84	74	114	56	147	202	395
10-2	86	199	250	69	140	140	60	95	44	209	240	391
10-3	107	186	193	66	134	133	65	90	50	456	248	479
10-4	129	190	193	55	152	124	44	95	36	451	299	635
10-5	143	149	214	49	150	114	27	64	14	521	330	836
10-6	171	171	343	67	171	113	18	59	17	976	399	1,201
6月計	79	99	121	60	55	115	6	15	13	58	118	91
7月計	209	266	316	170	128	135	37	88	122	414	353	161
8月計	618	801	486	440	386	241	243	539	425	1,326	1,074	997
9月計	923	1,156	875	532	737	568	419	1,017	976	1,943	1,836	4,646
10月計	735	1,042	1,357	385	860	708	288	516	217	2,760	1,719	3,937
合計	2,564	3,364	3,155	1,587	2,167	1,767	993	2,174	1,753	6,501	5,100	9,832

※病害虫防除員による調査

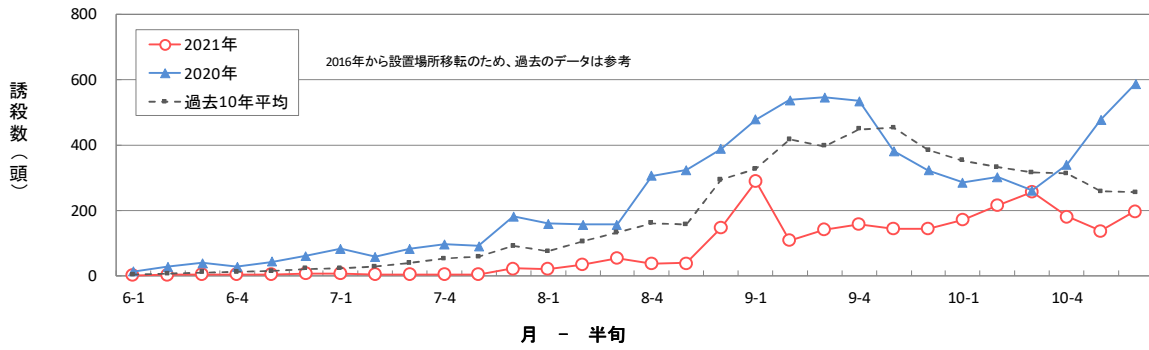
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (大田原市)



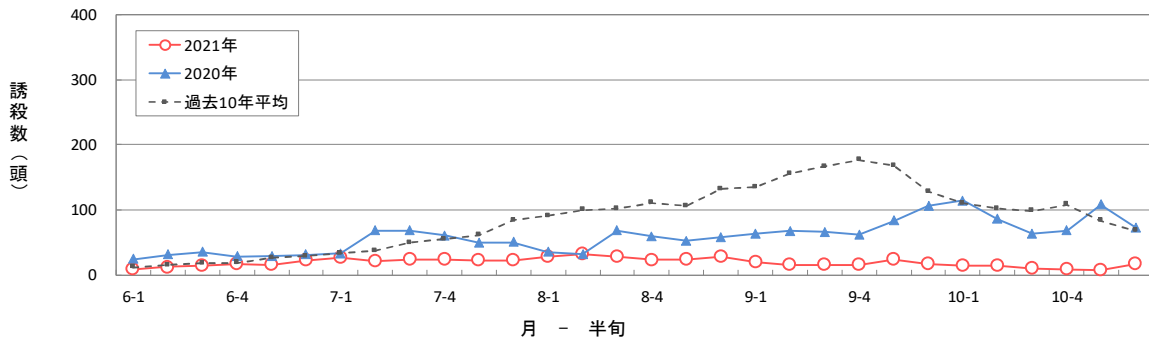
ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町)

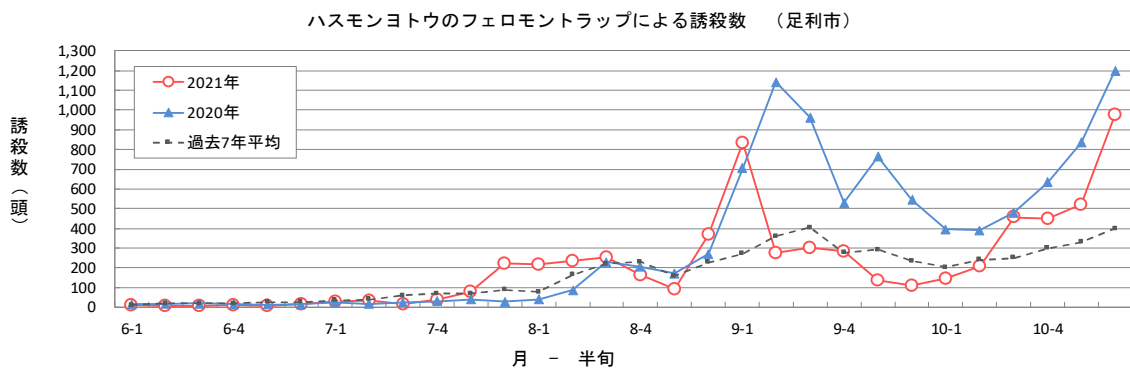
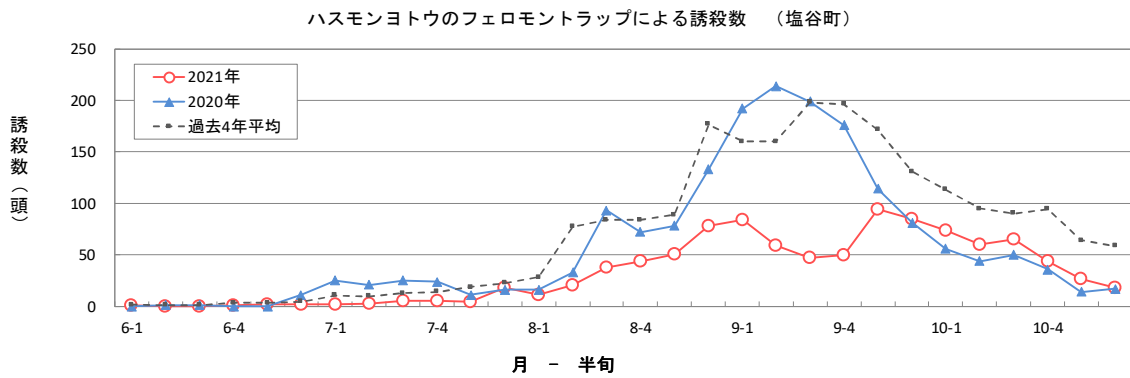
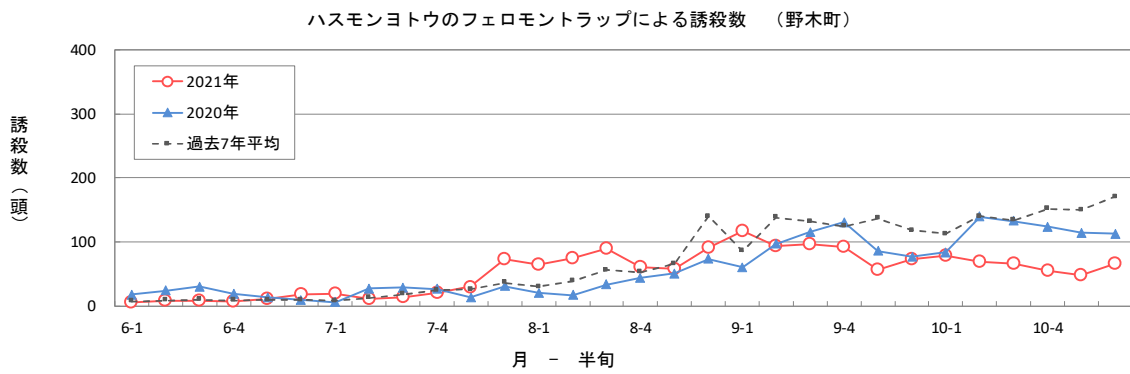
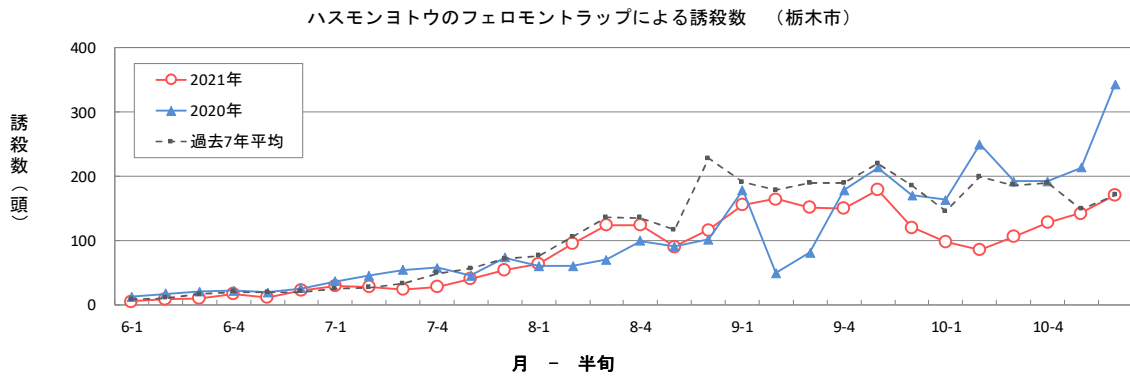


ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (鹿沼市)



ハスモンヨトウのフェロモントラップによる誘殺数 (小山市)

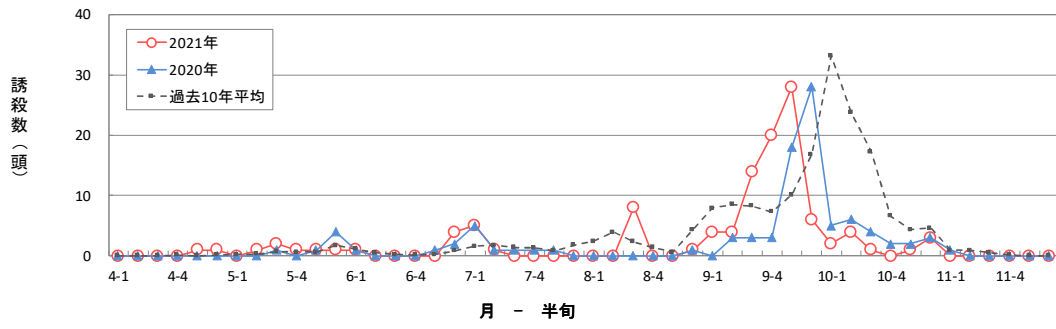




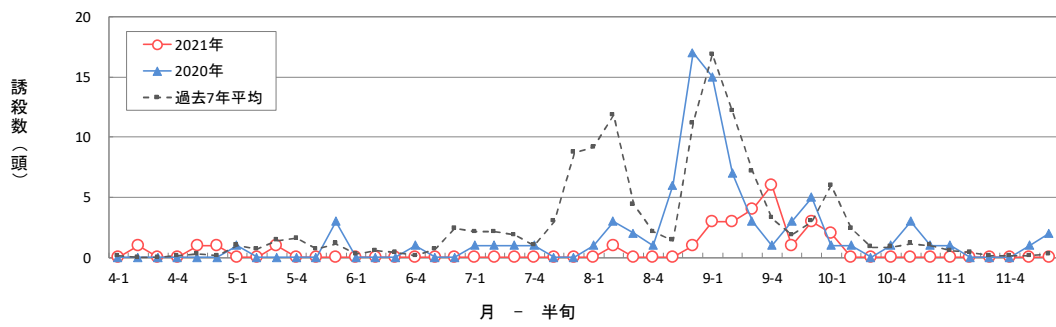
② オオタバコガ

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年
4-1	0	0	0	0	0	0
4-2	0	0	0	1	0	0
4-3	0	0	0	0	0	0
4-4	0	0	0	0	0	0
4-5	1	0	0	1	0	0
4-6	1	0	0	1	0	0
5-1	0	0	0	0	1	1
5-2	1	0	0	0	1	0
5-3	2	1	1	1	1	0
5-4	1	1	0	0	2	0
5-5	1	1	1	0	1	0
5-6	1	2	4	0	1	3
6-1	1	1	1	0	0	0
6-2	0	1	0	0	1	0
6-3	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	1
6-5	0	0	1	0	1	0
6-6	4	1	2	0	2	0
7-1	5	2	5	0	2	1
7-2	1	2	1	0	2	1
7-3	0	1	1	0	2	1
7-4	0	1	1	0	1	1
7-5	0	1	1	0	3	0
7-6	0	2	0	0	9	0
8-1	0	2	0	0	9	1
8-2	0	4	0	1	12	3
8-3	8	2	0	0	4	2
8-4	0	1	0	0	2	1
8-5	0	1	0	0	1	6
8-6	1	4	1	1	11	17
9-1	4	8	0	3	17	15
9-2	4	9	3	3	12	7
9-3	14	8	3	4	7	3
9-4	20	7	3	6	3	1
9-5	28	10	18	1	2	3
9-6	6	17	28	3	3	5
10-1	2	33	5	2	6	1
10-2	4	24	6	0	2	1
10-3	1	17	4	0	1	0
10-4	0	7	2	0	1	1
10-5	1	4	2	0	1	3
10-6	3	5	3	0	1	1
11-1	0	1	1	0	1	1
11-2	0	1	0	0	0	0
11-3	0	1	0	0	0	0
11-4	0	0	0	0	0	0
11-5	0	0	0	0	0	1
11-6	0	0	0	0	0	2
4月計	2	0	0	3	1	0
5月計	6	4	6	1	7	4
6月計	5	3	4	0	5	1
7月計	6	9	9	0	19	4
8月計	9	15	1	2	40	30
9月計	76	59	55	20	44	34
10月計	11	90	22	2	12	7
11月計	0	2	1	0	2	4
合計	115	181	98	28	129	84

オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市大塚町)

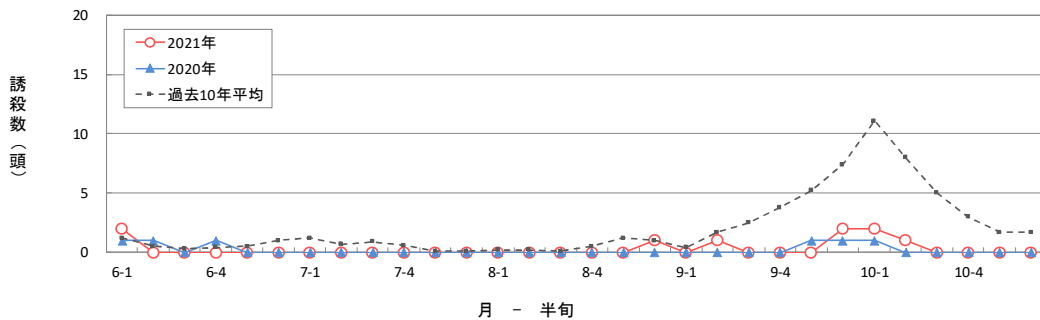


## オオタバコガ\*

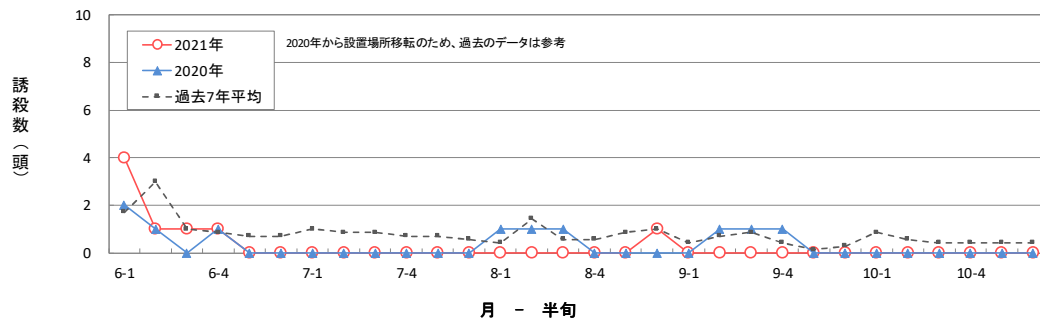
月一 半旬	那須町			上三川町			那珂川町			真岡市			壬生町		
	R3 (2021) 年	過去 10年 平均	R2 (2020) 年	R3 (2021) 年	過去 10年 平均	R2 (2020) 年	R3 (2021) 年	過去 7年 平均	R2 (2020) 年	R3 (2021) 年	過去 10年 平均	R2 (2020) 年	R3 (2021) 年	過去 5年 平均	R2 (2020) 年
6-1	0	1	0	2	1	1	4	2	2	3	3	0	0	1	0
6-2	0	1	0	0	1	1	1	3	1	1	1	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0
6-4	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	4	0	0
6-5	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	6	0	0
6-6	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	2	0	4	1	1
7-1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	1	2	2	2
7-2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3	0	4	1	2
7-3	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	3	0	1	1	1
7-4	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3	0	1	1	1
7-5	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	1	0
7-6	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	2	0
8-1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	35	1	1
8-2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	1	3	1	29	3	2
8-3	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	2	0	20	3	2
8-4	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	3	1	4	3	2
8-5	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	6	1	4	3	1
8-6	1	1	1	1	1	0	1	1	0	1	6	1	12	3	3
9-1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	5	4	21	7	14
9-2	0	1	1	1	2	0	0	1	1	0	8	21	14	8	5
9-3	0	2	1	0	3	0	0	1	1	0	19	27	29	9	2
9-4	1	1	1	0	4	0	0	0	1	0	29	3	36	6	1
9-5	1	1	0	0	5	1	0	0	0	3	32	28	26	4	0
9-6	1	0	0	2	7	1	0	0	0	1	31	30	12	4	2
10-1	0	1	1	2	11	1	0	1	0	0	29	5	7	3	3
10-2	0	0	0	1	8	0	0	1	0	0	22	0	6	3	1
10-3	0	1	1	0	5	0	0	0	0	1	20	1	2	2	2
10-4	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1	12	1	1	2	1
10-5	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	8	1	0	1	0
10-6	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	8	3	0	1	0
6月計	0	2	0	2	4	3	7	8	4	4	7	0	16	3	1
7月計	3	1	2	0	4	0	0	5	0	1	16	2	9	8	6
8月計	4	3	4	1	3	0	1	5	3	3	21	4	104	16	11
9月計	3	5	3	3	21	2	0	3	3	5	124	113	138	38	24
10月計	0	2	2	3	31	1	0	3	0	3	99	11	16	13	7
合計	10	13	11	9	62	6	8	24	10	16	267	130	283	78	49

※病害虫防除員による調査

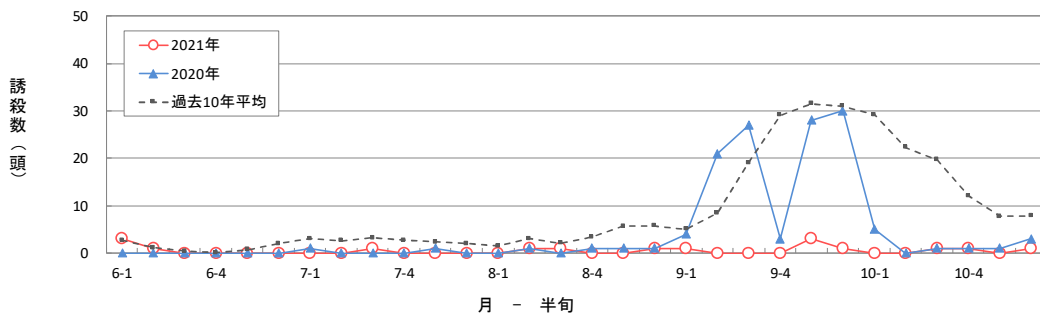
オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (上三川町)



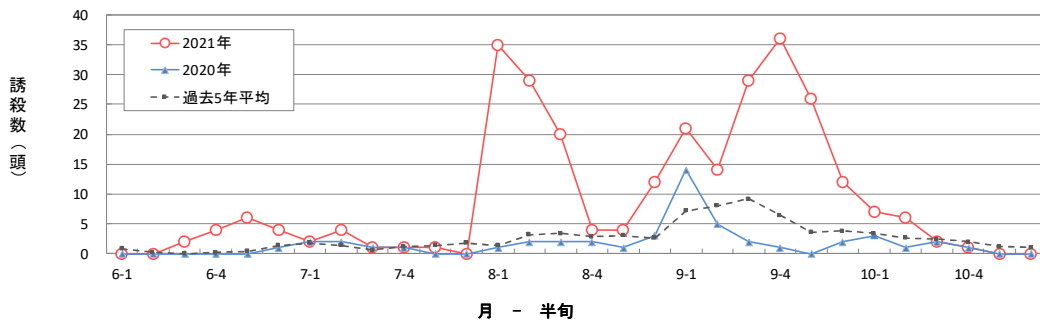
オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (那珂川町)



オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (真岡市)



オオタバコガのフェロモントラップによる誘殺数 (壬生町)



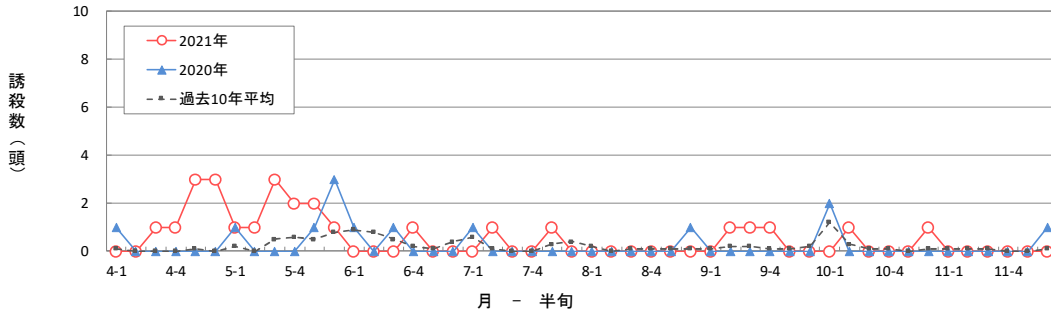
③ コナガ

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町			野木町※		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 6年 平均	R2 (2020)年
4-1	0	0	1	3	0	1	-	-	-
4-2	0	0	0	1	0	1	-	-	-
4-3	1	0	0	1	0	1	-	-	-
4-4	1	0	0	1	1	1	-	-	-
4-5	3	0	0	0	1	1	-	-	-
4-6	3	0	0	0	0	0	-	-	-
5-1	1	0	1	2	1	2	1	15	1
5-2	1	0	0	6	1	2	1	16	2
5-3	3	1	0	3	1	2	0	16	1
5-4	2	1	0	5	0	0	0	32	3
5-5	2	1	1	11	0	1	0	53	5
5-6	1	1	3	24	3	3	4	90	1
6-1	0	1	1	18	5	3	15	93	0
6-2	0	1	0	6	5	3	14	21	0
6-3	0	1	1	4	5	4	11	14	0
6-4	1	0	0	5	3	5	7	12	2
6-5	0	0	0	1	2	3	9	17	3
6-6	0	0	0	1	1	2	8	16	2
7-1	0	1	1	1	2	1	7	25	1
7-2	1	0	0	3	1	0	4	40	6
7-3	0	0	0	1	1	0	7	70	4
7-4	0	0	0	1	1	0	8	37	3
7-5	1	0	0	2	1	0	9	27	2
7-6	0	0	0	0	0	0	8	40	5
8-1	0	0	0	0	0	0	2	74	6
8-2	0	0	0	0	0	0	1	30	7
8-3	0	0	0	0	0	1	1	30	12
8-4	0	0	0	0	0	0	1	29	13
8-5	0	0	0	1	0	0	10	19	15
8-6	0	0	1	1	2	0	15	13	27
9-1	0	0	0	0	0	0	6	8	14
9-2	1	0	0	0	0	1	20	10	10
9-3	1	0	0	0	0	1	19	9	7
9-4	1	0	0	0	0	0	15	9	4
9-5	0	0	0	1	0	0	8	8	3
9-6	0	0	0	0	0	0	4	7	1
10-1	0	1	2	0	0	1	1	7	0
10-2	1	0	0	0	0	0	1	5	0
10-3	0	0	0	0	0	0	1	3	0
10-4	0	0	0	0	0	0	0	3	1
10-5	0	0	0	0	0	0	0	2	1
10-6	1	0	0	0	0	0	2	1	0
11-1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
11-2	0	0	0	0	0	0	0	1	0
11-3	0	0	0	0	0	0	0	1	0
11-4	0	0	0	0	0	0	0	1	0
11-5	0	0	0	0	0	0	0	1	0
11-6	0	0	1	0	0	1	0	1	0
4月計	8	0	1	6	2	5	-	-	-
5月計	10	3	5	51	7	10	6	222	13
6月計	1	3	2	35	22	20	64	173	7
7月計	2	1	1	8	6	1	43	239	21
8月計	0	1	1	2	3	1	30	195	80
9月計	3	1	0	1	1	2	72	51	39
10月計	2	2	2	0	1	1	5	20	2
11月計	0	0	1	0	0	1	0	4	0
合計	26	11	13	103	42	41	220	904	162

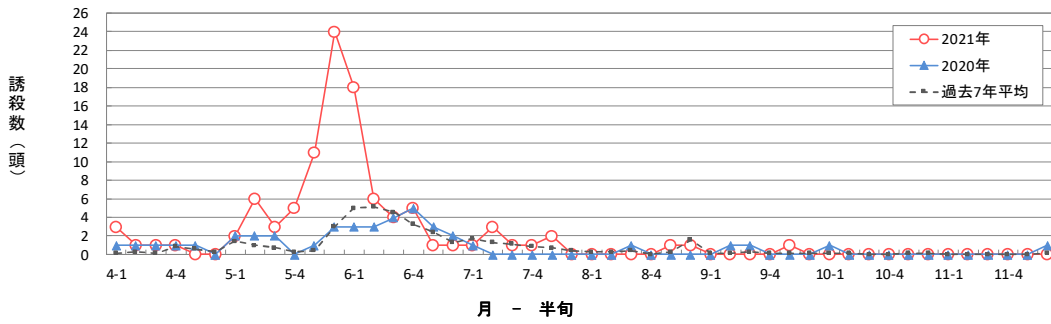
※病害虫防除員による調査



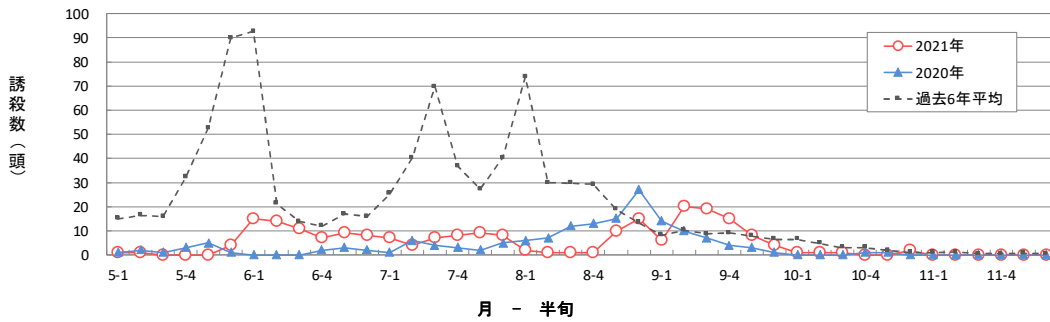
コナガのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



コナガのフェロモントラップによる誘殺数 (栃木市大塚町)



コナガのフェロモントラップによる誘殺数 (野木町)

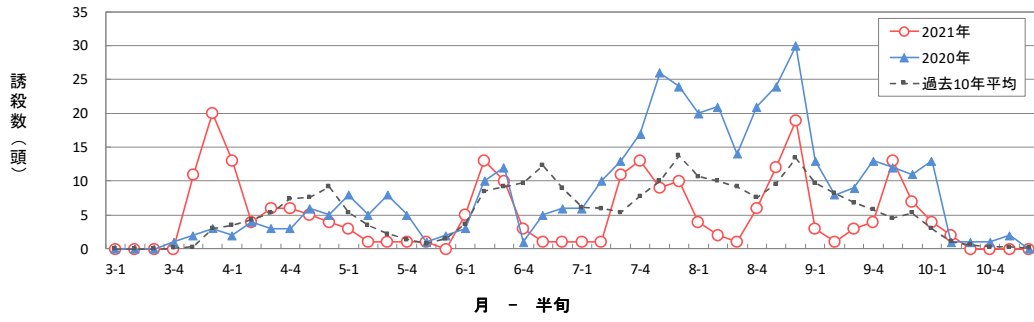


④ ナシヒメシンクイ

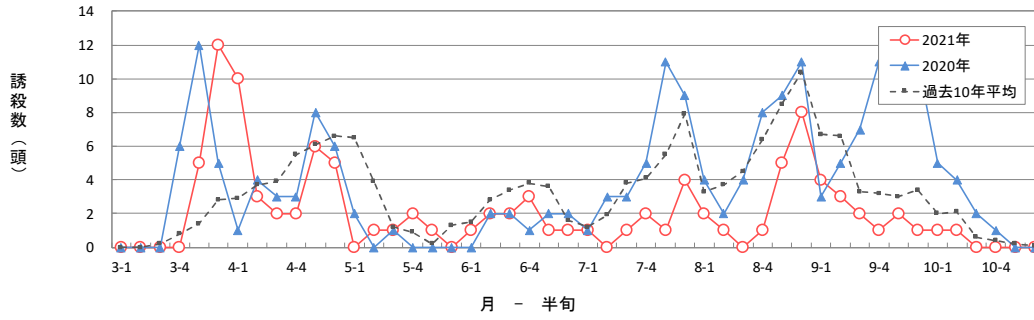
月一 半旬	那須烏山市			宇都宮市			芳賀町			高根沢町※		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 8年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 7年 平均	R2 (2020)年
3-1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-
3-4	0	0	1	0	1	6	0	0	0	-	-	-
3-5	11	0	2	5	1	12	2	0	0	-	-	-
3-6	20	3	3	12	3	5	5	0	0	-	-	-
4-1	13	4	2	10	3	1	5	1	0	5	4	3
4-2	4	4	4	3	4	4	1	1	0	3	4	3
4-3	6	5	3	2	4	3	2	2	0	4	6	2
4-4	6	7	3	2	6	3	3	3	0	11	7	1
4-5	5	8	6	6	6	8	1	5	1	21	7	3
4-6	4	9	5	5	7	6	1	5	1	3	5	5
5-1	3	5	8	0	7	2	1	3	1	2	3	5
5-2	1	4	5	1	4	0	2	2	2	1	2	4
5-3	1	2	8	1	1	1	1	1	2	1	2	3
5-4	1	1	5	2	1	0	1	1	1	0	1	2
5-5	1	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	1
5-6	0	2	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0
6-1	5	4	3	1	2	0	1	2	0	0	3	1
6-2	13	9	10	2	3	2	0	3	2	7	6	2
6-3	10	9	12	2	3	2	2	3	3	6	3	2
6-4	3	10	1	3	4	1	5	4	4	2	5	1
6-5	1	12	5	1	4	2	2	3	1	1	5	1
6-6	1	9	6	1	2	2	2	5	1	2	4	1
7-1	1	6	6	1	1	1	1	2	3	2	3	1
7-2	1	6	10	0	2	3	1	1	1	0	4	0
7-3	11	5	13	1	4	3	2	2	2	2	6	1
7-4	13	8	17	2	4	5	8	8	5	7	8	4
7-5	9	10	26	1	6	11	15	6	9	14	13	14
7-6	10	14	24	4	8	9	4	6	10	3	17	4
8-1	4	11	20	2	3	4	1	6	5	6	11	1
8-2	2	10	21	1	4	2	0	4	2	4	6	4
8-3	1	9	14	0	5	4	1	5	4	0	8	15
8-4	6	8	21	1	6	8	3	5	2	11	9	9
8-5	12	10	24	5	9	9	2	7	2	15	15	5
8-6	19	13	30	8	10	11	1	7	2	16	21	5
9-1	3	10	13	4	7	3	2	10	3	5	16	12
9-2	1	8	8	3	7	5	4	7	6	9	11	13
9-3	3	7	9	2	3	7	3	6	5	7	7	13
9-4	4	6	13	1	3	11	3	4	2	6	7	14
9-5	13	5	12	2	3	11	1	3	2	9	5	8
9-6	7	5	11	1	3	11	0	2	2	3	5	6
10-1	4	3	13	1	2	5	0	1	1	2	1	4
10-2	2	1	1	1	2	4	0	1	0	2	0	1
10-3	0	1	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0
10-4	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
10-5	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10-6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月計	31	3	6	17	5	23	7	0	0	-	-	-
4月計	38	37	23	28	29	25	13	16	2	47	32	17
5月計	7	15	29	5	14	3	5	9	7	4	10	15
6月計	33	52	37	10	17	9	12	19	11	18	25	8
7月計	45	49	96	9	24	32	31	24	30	28	52	24
8月計	44	61	130	17	37	38	8	34	17	52	69	39
9月計	31	40	66	13	26	48	13	32	20	39	52	66
10月計	6	5	18	2	5	12	0	2	3	4	2	5
合計	235	263	405	101	157	190	89	136	90	192	242	174

※病害虫防除員による調査

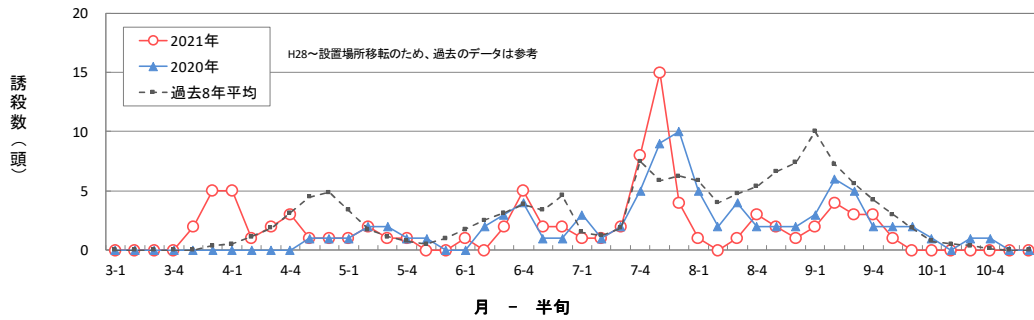
ナシヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)



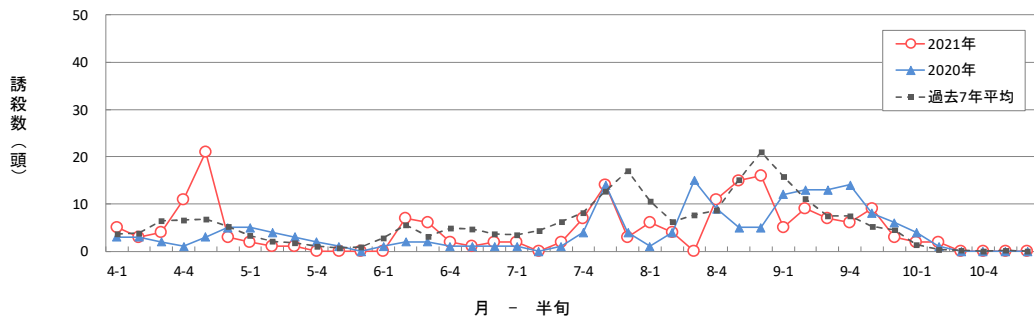
ナシヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市)



ナシヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺数 (芳賀町稲毛田)



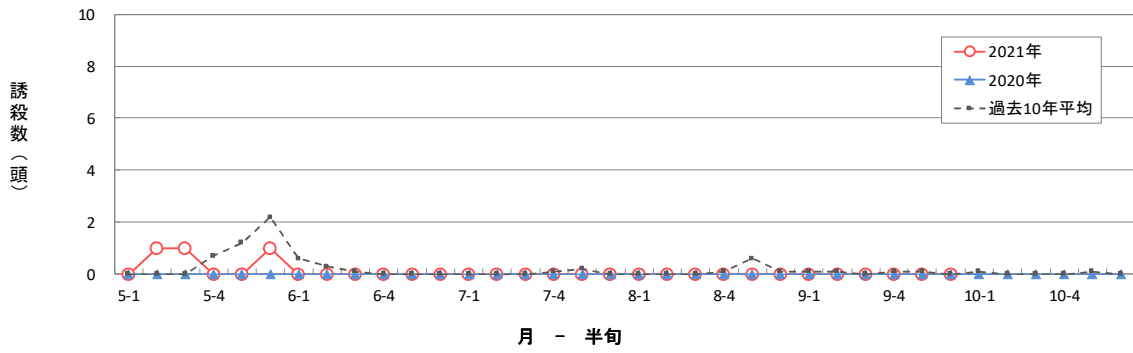
ナシヒメシンクイのフェロモントラップによる誘殺数 (高根沢町)



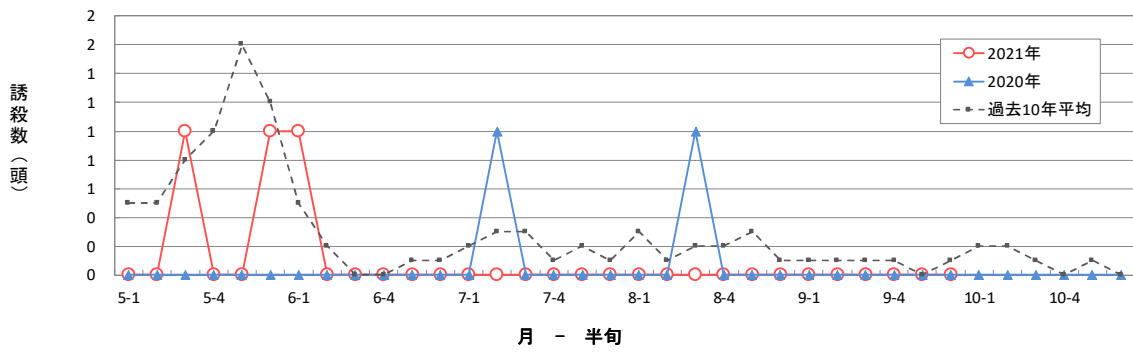
⑤ リンゴコカクモンハマキ

月一 半旬	那須烏山市			宇都宮市		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
5-1	0	0	0	0	1	0
5-2	1	0	0	0	1	0
5-3	1	0	0	1	1	0
5-4	0	1	0	0	1	0
5-5	0	1	0	0	2	0
5-6	1	2	0	1	1	0
6-1	0	1	0	1	1	0
6-2	0	0	0	0	0	0
6-3	0	0	0	0	0	0
6-4	0	0	0	0	0	0
6-5	0	0	0	0	0	0
6-6	0	0	0	0	0	0
7-1	0	0	0	0	0	0
7-2	0	0	0	0	0	1
7-3	0	0	0	0	0	0
7-4	0	0	0	0	0	0
7-5	0	0	0	0	0	0
7-6	0	0	0	0	0	0
8-1	0	0	0	0	0	0
8-2	0	0	0	0	0	0
8-3	0	0	0	0	0	1
8-4	0	0	0	0	0	0
8-5	0	1	0	0	0	0
8-6	0	0	0	0	0	0
9-1	0	0	0	0	0	0
9-2	0	0	0	0	0	0
9-3	0	0	0	0	0	0
9-4	0	0	0	0	0	0
9-5	0	0	0	0	0	0
9-6	0	0	0	0	0	0
10-1	0	0	0	0	0	0
10-2	0	0	0	0	0	0
10-3	0	0	0	0	0	0
10-4	0	0	0	0	0	0
10-5	0	0	0	0	0	0
10-6	0	0	0	0	0	0
5月計	3	4	0	2	6	0
6月計	0	1	0	1	1	0
7月計	0	0	0	0	1	1
8月計	0	1	0	0	1	1
9月計	0	0	0	0	1	0
10月計	0	0	0	0	1	0
合計	3	7	0	3	10	2

リンゴコカモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数 (那須烏山市)



リンゴコカモンハマキのフェロモントラップによる誘殺数 (宇都宮市)

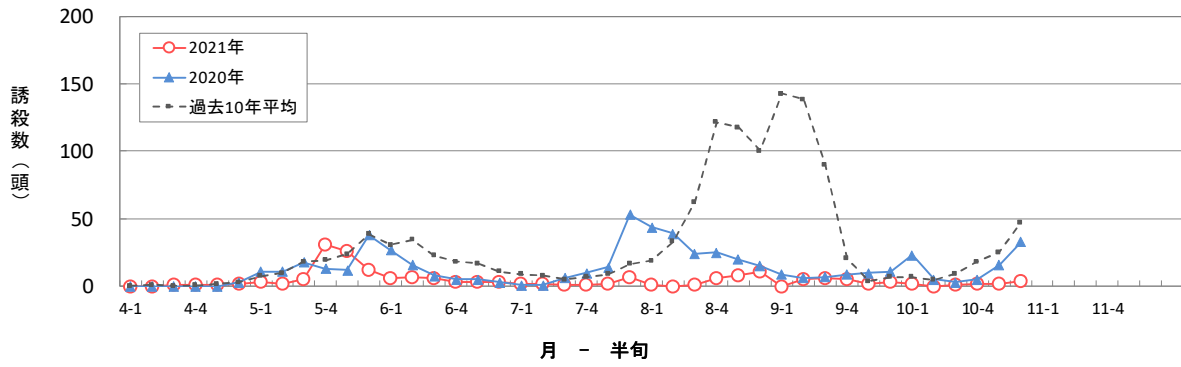


(3) 有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数

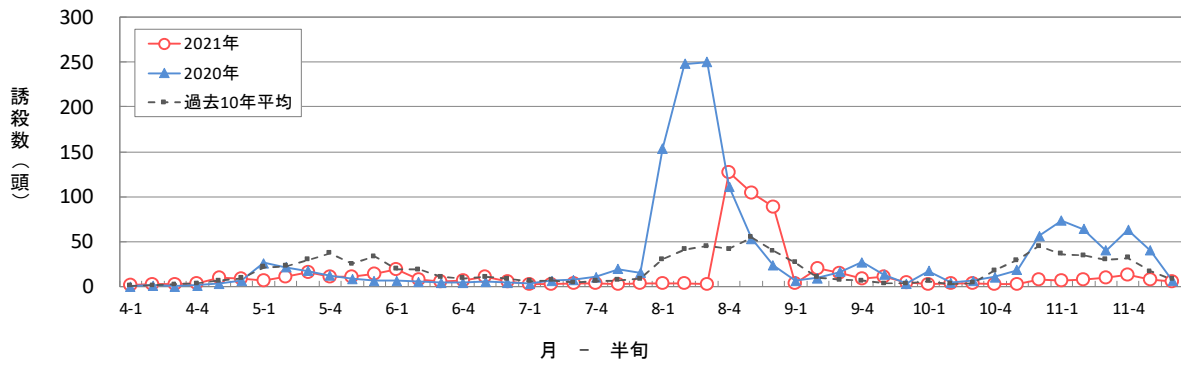
月一 半旬	大田原市※			宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
4-1	0	0	0	1	0	0	1	5	0
4-2	0	1	0	2	1	1	0	6	1
4-3	1	0	0	2	2	0	1	9	0
4-4	1	1	0	3	3	1	2	12	1
4-5	1	2	0	9	6	3	2	18	4
4-6	2	3	3	8	9	6	2	25	19
5-1	3	8	11	6	21	26	3	32	43
5-2	2	10	11	11	22	21	15	62	116
5-3	5	18	18	16	29	17	26	78	87
5-4	31	19	13	11	37	12	43	41	30
5-5	26	24	12	10	25	8	36	36	11
5-6	12	39	38	14	33	6	21	54	10
6-1	6	31	27	19	19	6	33	45	11
6-2	7	35	16	7	19	5	29	47	8
6-3	6	23	8	5	10	4	19	31	6
6-4	3	18	5	6	9	4	6	20	1
6-5	3	17	5	10	10	5	6	14	4
6-6	3	11	3	5	8	4	4	13	3
7-1	2	9	1	2	5	3	3	5	0
7-2	2	8	1	2	7	6	5	4	4
7-3	1	5	6	3	4	7	3	3	6
7-4	1	7	10	3	6	10	2	6	14
7-5	2	9	14	2	7	19	1	11	39
7-6	7	17	53	3	8	15	5	20	52
8-1	1	19	44	3	30	154	19	30	78
8-2	0	33	39	3	41	248	25	51	129
8-3	1	62	24	2	44	250	9	67	63
8-4	6	122	25	127	42	111	66	68	16
8-5	8	118	20	104	55	53	62	60	8
8-6	11	101	15	89	39	23	60	51	17
9-1	0	143	9	3	26	6	4	37	9
9-2	5	138	6	20	10	9	12	16	7
9-3	6	90	7	15	7	16	11	8	16
9-4	5	21	9	8	6	27	11	10	28
9-5	2	4	10	11	3	13	3	10	28
9-6	3	7	11	4	3	3	3	9	28
10-1	2	7	23	2	6	17	9	20	118
10-2	0	5	5	3	3	4	19	8	32
10-3	1	9	3	3	3	6	8	9	7
10-4	2	18	5	2	17	10	4	9	10
10-5	2	25	16	2	29	18	5	14	28
10-6	4	47	33	7	45	56	10	23	52
11-1	-	-	-	6	36	73	15	30	48
11-2	-	-	-	7	34	64	9	32	46
11-3	-	-	-	9	30	40	7	29	40
11-4	-	-	-	13	32	63	14	38	75
11-5	-	-	-	7	17	40	5	33	55
11-6	-	-	-	5	7	6	3	19	24
4月計	5	7	3	25	21	11	8	76	25
5月計	79	118	103	68	167	90	144	304	297
6月計	28	134	64	52	75	28	97	169	33
7月計	15	54	85	15	37	60	19	48	115
8月計	27	454	167	328	251	839	241	326	311
9月計	21	402	52	61	55	74	44	90	116
10月計	11	112	85	19	103	111	55	82	247
11月計	-	-	-	47	155	286	53	180	288
合計	186	1,281	559	615	863	1,499	661	1,274	1,432

※生産者ほ場設置（設置期間4月～10月）

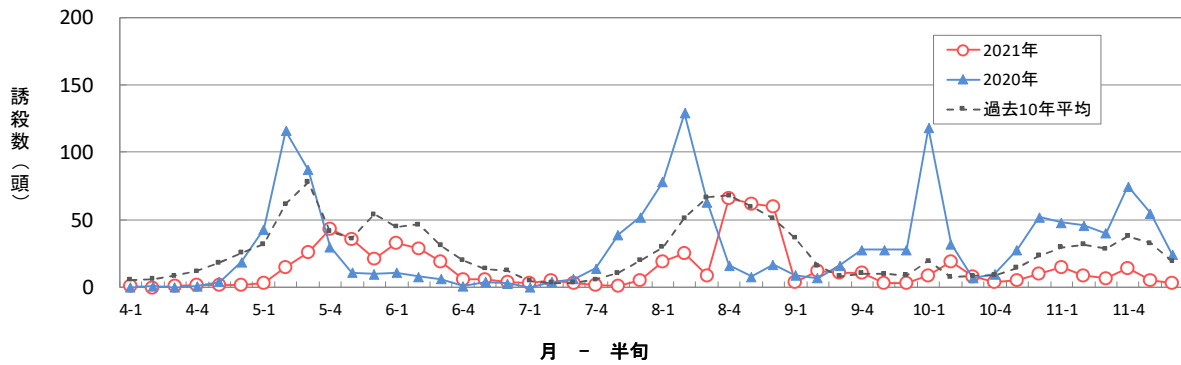
有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数 (大田原市)



有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数 (宇都宮市瓦谷町)



有翅アブラムシ類の黄色粘着板による誘殺数 (栃木市大塚町)



(4) アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数

月一 半旬	宇都宮市瓦谷町			栃木市大塚町		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
4-1	2	2	1	0	2	0
4-2	1	2	0	1	1	0
4-3	1	2	0	1	2	1
4-4	1	6	1	2	2	2
4-5	1	8	7	6	4	0
4-6	1	8	7	5	5	1
5-1	1	17	13	3	7	2
5-2	21	22	44	38	17	9
5-3	44	48	76	42	39	16
5-4	226	84	66	101	48	11
5-5	267	148	59	89	55	10
5-6	321	325	119	59	83	30
6-1	224	286	114	31	72	52
6-2	240	318	130	44	122	60
6-3	220	295	145	39	161	65
6-4	183	304	171	28	111	40
6-5	240	415	145	16	83	46
6-6	207	562	180	28	82	42
7-1	174	354	242	37	77	32
7-2	131	342	300	39	62	38
7-3	142	330	174	20	52	18
7-4	131	263	92	6	29	8
7-5	104	205	103	4	29	18
7-6	93	232	107	2	47	14
8-1	75	164	104	5	31	15
8-2	75	162	116	9	47	21
8-3	113	153	109	14	94	86
8-4	95	156	127	16	169	61
8-5	179	142	129	52	224	68
8-6	272	180	150	79	74	107
9-1	190	192	145	16	55	38
9-2	85	189	141	26	32	15
9-3	65	207	118	24	31	14
9-4	69	274	85	22	24	16
9-5	62	228	201	18	17	17
9-6	74	192	279	31	14	18
10-1	63	106	54	22	12	6
10-2	41	84	36	4	18	11
10-3	29	66	21	6	18	8
10-4	14	41	10	5	12	5
10-5	6	25	7	4	9	5
10-6	17	20	8	7	9	3
11-1	3	11	14	2	6	2
11-2	3	6	10	1	3	2
11-3	3	3	1	0	2	1
11-4	0	2	2	0	1	2
11-5	0	1	1	0	1	1
11-6	1	1	0	0	1	0
4月計	7	27	16	15	17	4
5月計	880	644	377	332	249	78
6月計	1,314	2,179	885	186	632	305
7月計	775	1,726	1,018	108	297	128
8月計	809	956	735	175	638	358
9月計	545	1,284	969	137	172	118
10月計	170	342	136	48	79	38
11月計	10	23	28	3	14	8
合計	4,510	7,181	4,164	1,004	2,097	1,037



アザミウマ類の青色粘着板による誘殺数※

月一 半旬	大田原市			真岡市			下野市		
	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年	R3 (2021)年	過去 10年 平均	R2 (2020)年
4-1	1	0	0	6	1	1	1	1	1
4-2	0	1	0	2	1	1	0	1	0
4-3	0	1	0	5	2	0	0	1	0
4-4	0	2	0	6	2	1	0	2	0
4-5	1	2	0	9	6	6	8	3	1
4-6	6	2	1	22	10	11	9	3	1
5-1	9	6	1	32	22	29	12	11	14
5-2	4	7	9	23	33	17	19	12	17
5-3	3	16	34	95	47	52	36	19	39
5-4	10	18	27	379	56	55	73	25	35
5-5	14	26	14	305	92	56	54	31	29
5-6	19	33	27	129	123	154	19	50	60
6-1	1	31	34	178	130	139	18	73	79
6-2	13	51	84	135	167	232	28	139	267
6-3	15	63	103	105	191	292	36	231	392
6-4	12	54	48	76	150	68	45	247	372
6-5	18	86	42	49	165	150	49	259	276
6-6	12	87	40	54	194	161	43	274	206
7-1	10	110	44	58	193	147	43	222	136
7-2	16	126	39	64	173	94	59	205	294
7-3	20	140	23	59	176	64	54	184	139
7-4	19	91	17	40	90	56	34	127	34
7-5	14	77	35	14	95	104	9	126	23
7-6	6	102	21	24	114	60	6	160	17
8-1	1	29	12	9	61	28	8	142	13
8-2	1	43	11	8	86	20	9	123	13
8-3	3	65	36	16	92	19	12	72	13
8-4	18	72	33	59	55	11	19	58	67
8-5	27	63	28	63	42	15	28	46	57
8-6	39	54	25	79	39	29	35	36	25
9-1	3	54	39	4	26	25	3	33	29
9-2	5	46	27	9	22	32	31	30	16
9-3	5	36	24	11	18	32	20	28	13
9-4	4	25	24	13	17	29	13	29	13
9-5	7	23	18	13	12	18	7	33	8
9-6	6	15	14	23	8	11	16	40	5
10-1	6	15	10	22	15	23	20	33	23
10-2	5	15	13	17	14	7	23	29	13
10-3	8	12	10	16	13	2	23	26	9
10-4	6	10	8	10	13	4	12	26	6
10-5	4	7	6	7	11	9	7	23	3
10-6	4	7	8	9	8	5	14	33	1
11-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11-6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4月計	8	6	1	50	21	20	18	9	3
5月計	59	105	112	963	374	363	213	148	194
6月計	71	372	351	597	997	1,042	219	1,222	1,592
7月計	85	644	179	259	841	525	205	1,023	643
8月計	89	325	145	234	376	122	111	476	188
9月計	30	199	146	73	103	147	90	192	84
10月計	33	66	55	81	73	50	99	169	55
11月計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	375	1,718	989	2,257	2,783	2,269	955	3,240	2,759

※生産者ほ場設置（設置期間4月～10月）

